

川西町第2次総合計画（後期策定計画）策定に係る
アンケート調査結果の報告書

平成24年3月

川西町

川西町第2次総合計画（後期策定計画）策定に係る
アンケート調査結果の報告書 目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	2
2	調査の方法	2
3	回収状況	2
II	調査の結果	3
1	基本事項	4
	（1）性別	4
	（2）年齢	5
	（3）職業	6
	（4）居住地区	7
2	住みごちについて	8
	（1）居住性	8
	（2）住みやすいと思う理由	10
	（3）住みにくいと思う理由	13
3	まちづくりについて	16
4	分野別のまちづくりについて	25
	（1）まちの基盤整備で必要なこと	25
	（2）安心や安全に関わる施策で必要なこと	28
	（3）健康とまちづくりのために充実すべきこと	30
	（4）教育や生涯学習に関わる施策で充実すべきこと	32
	（5）人権尊重のまちづくりで充実すべきこと	35
	（6）産業振興やまちの活性化で必要なこと	37
	（7）行財政改革の推進で必要なこと	39
5	住民参加について	42
	（1）住みよいまちにするためにできること	42
	（2）参加できること	45
6	地域公共交通のあり方について	48
	（1）一週間のうち何日外出するか	48
	（2）外出時に利用できる自家用の交通手段	49

(3) 外出の目的	50
(4) 外出の目的地	53
(5) 外出の交通手段	55
(6) 川西町内の公共交通のあり方について	57
(7) コミュニティバスなどの利用	59
(8) 個人負担について	61
7 自由意見	65

※ 表記上小数点2位以下を端数処理しているため、グラフ並びに表においてパーセントの合計が100%にならない場合がある。

I 調査の概要

1 調査の目的

川西町では平成18年度に「川西町第2次総合計画」を策定し、住みよいまちづくりを目指してさまざまな事業や活動に取り組んで参りました。この中の基本計画につきましては5年毎に見直す事となっています。

私たちを取り巻く社会情勢は厳しく、少子高齢化への対応、地域経済の活性化とともに安心や安全に対する万全の備えなどが、より一層求められています。このような課題を前に、川西町のまちづくりについて、あなたの忌憚のないご意見をお聞きし、後期基本計画の策定に活かしたいと存じますので、調査の趣旨をご理解のうえ、ご協力下さいますようお願い申し上げます。

2 調査の方法

(1) 調査地域

川西町内全域

(2) 調査対象

18歳以上の住民から1600人を無作為抽出

(3) 調査方法

郵送による配布・回収

(4) 調査基準日

平成23年(2011年)11月1日

(5) 調査期間

平成23年(2011年)11月10日～平成23年11月30日

3 回収状況

配布数	1600件
有効回収数	700件
有効回収率	43.8%

Ⅱ 調査の結果

1 基本事項

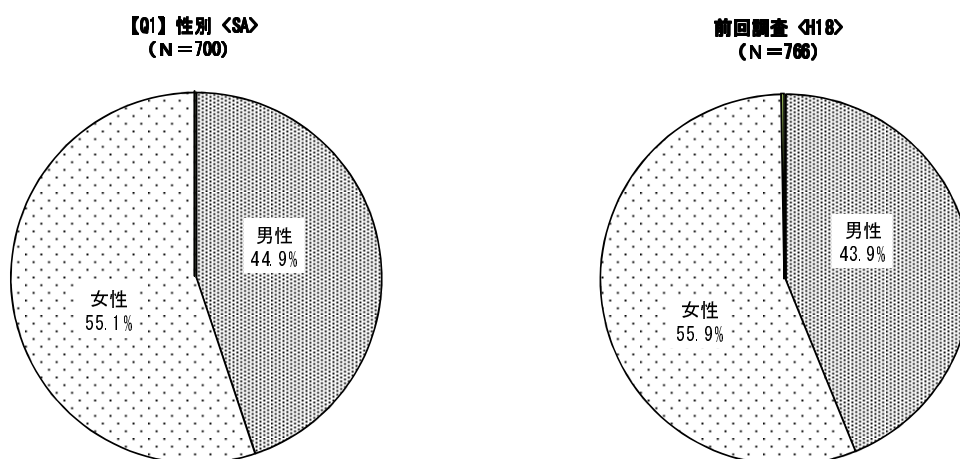
(1) 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「男性」が44.9%、「女性」が55.1%となっています。前回調査と比較すると、ほぼ同様の比率となっています。



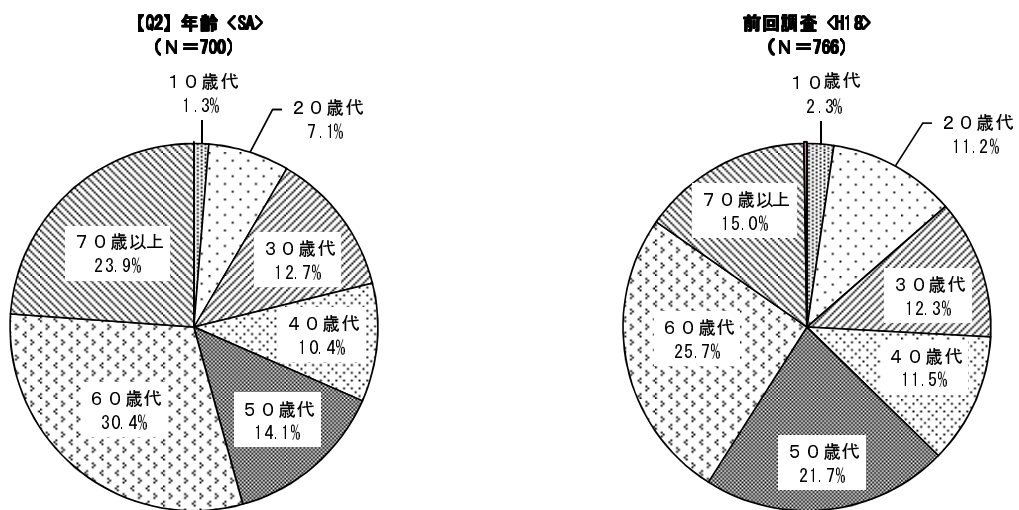
(2) 年齢

問2 あなたの年齢は次のうちどれにあたりますか。下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「60歳代」が最も多く30.4%、次いで「70歳以上」23.9%、「50歳代」14.1%、「30歳代」12.7%などの順となっています。前回調査と比較すると、「10歳代」、「20歳代」、「40歳代」、「50歳代」で少なくなっている一方で、「60歳代」、「70歳代」で増加が見られました。



(3) 職業

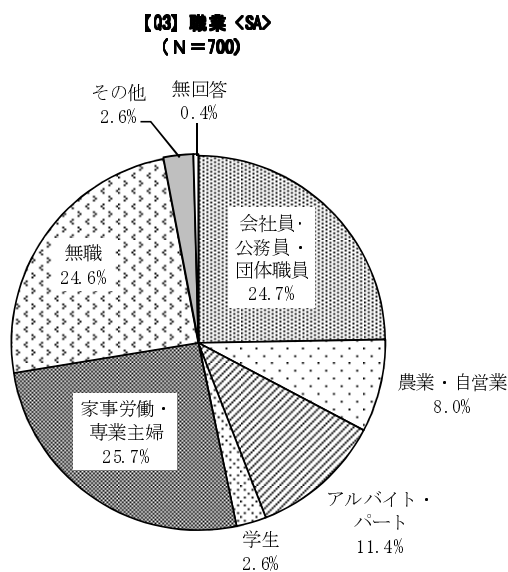
問3 あなたの職業は次のうちどれにあたりますか。下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「家事労働・専業主婦」が最も多く25.7%、次いで「会社員・公務員・団体職員」24.7%、「アルバイト・パート」11.4%などの順となっています。

一方、「無職」は24.6%となっています。



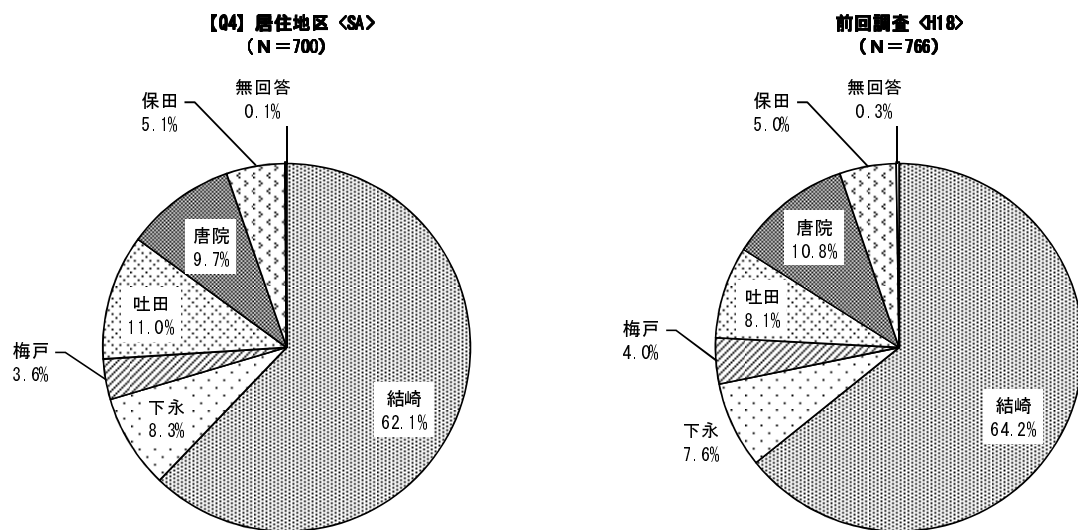
(4) 居住地区

問4 あなたの住まいはどちらですか。下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「結崎」が最も多く62.1%、次いで「吐田」11.0%などの順となっています。前回調査と比較すると、「吐田」の増加率が高く前回より2.9ポイント多くなっています。



2 住みごちについて

(1) 居住性

問5 川西町は住みやすいとお考えですか。

下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

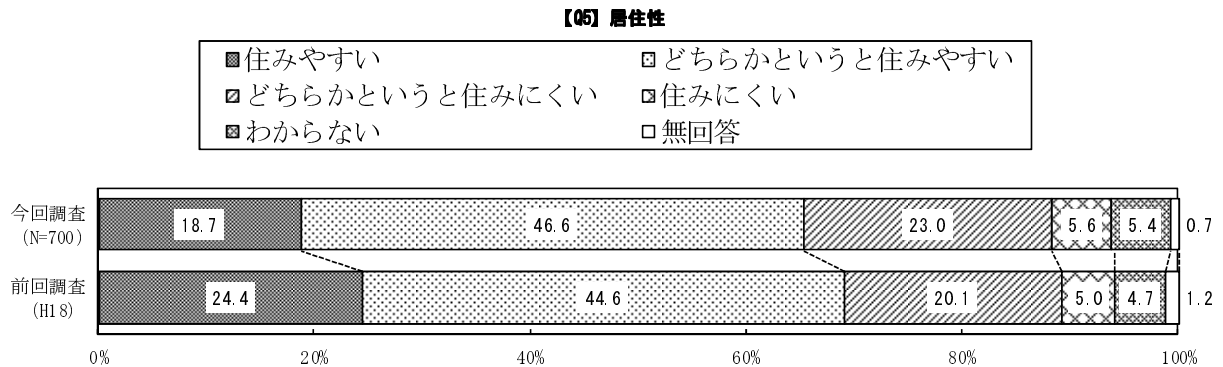
全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「住みやすい」が18.7%、「どちらかという住みやすい」が46.6%で、合わせて65.3%の人が住みやすいと回答しています。

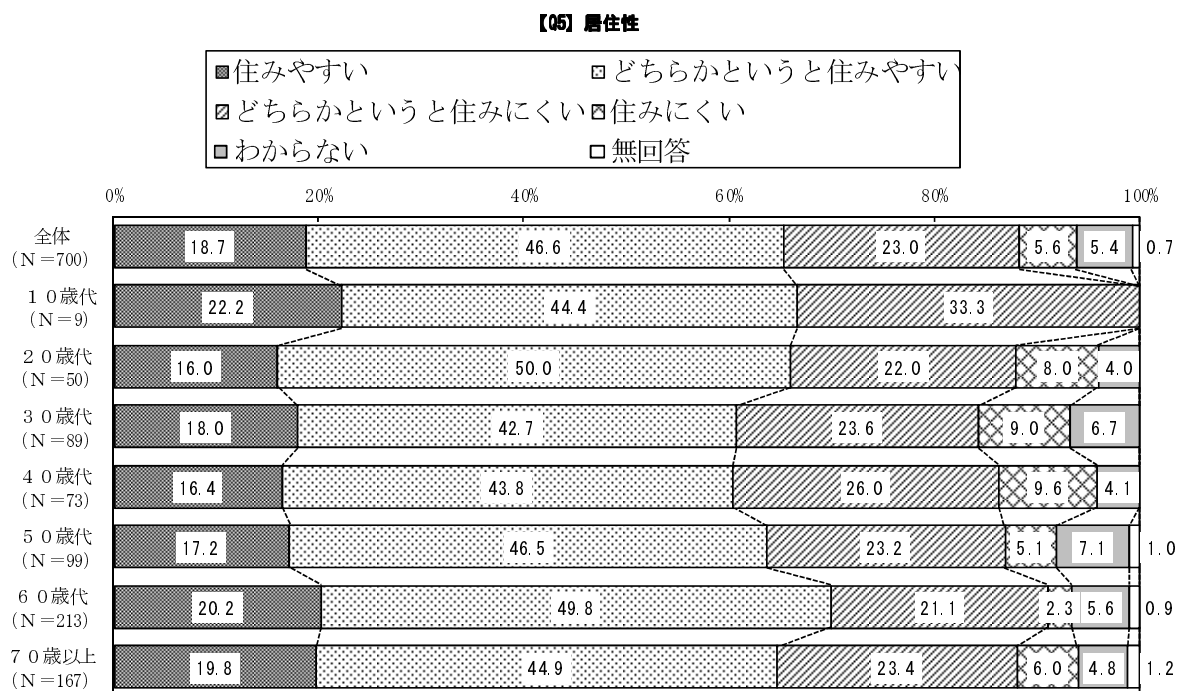
一方、「どちらかという住みにくい」は23.0%、「住みにくい」は5.6%で、合わせて28.6%の人が住みにくいと回答しています。

前回調査と比較すると、「住みやすい」が前回より5.7ポイント少なくなり、「どちらかという住みやすい」が2.0ポイント増加しています。



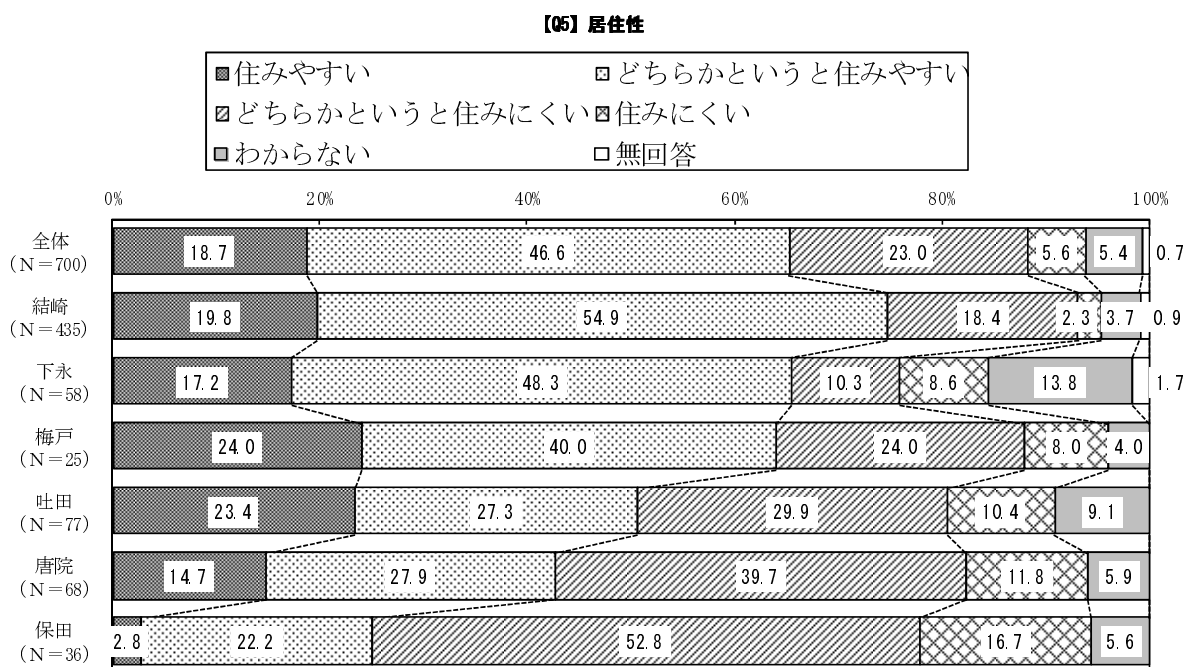
【年齢別】

年齢別にみると「住みやすい」と「どちらかという住みやすい」の合計は、60歳代で約70%をしめているのに対し、30歳代～40歳代では約60%とやや低くなっています。



【居住地区別】

居住地区別では、「住みやすい」と「どちらかという住みやすい」の合計が全体平均を上回っているのは結崎、梅戸、吐田となっています。逆に下回っているのは下永、唐院、保田となっています。



(2) 住みやすいと思う理由

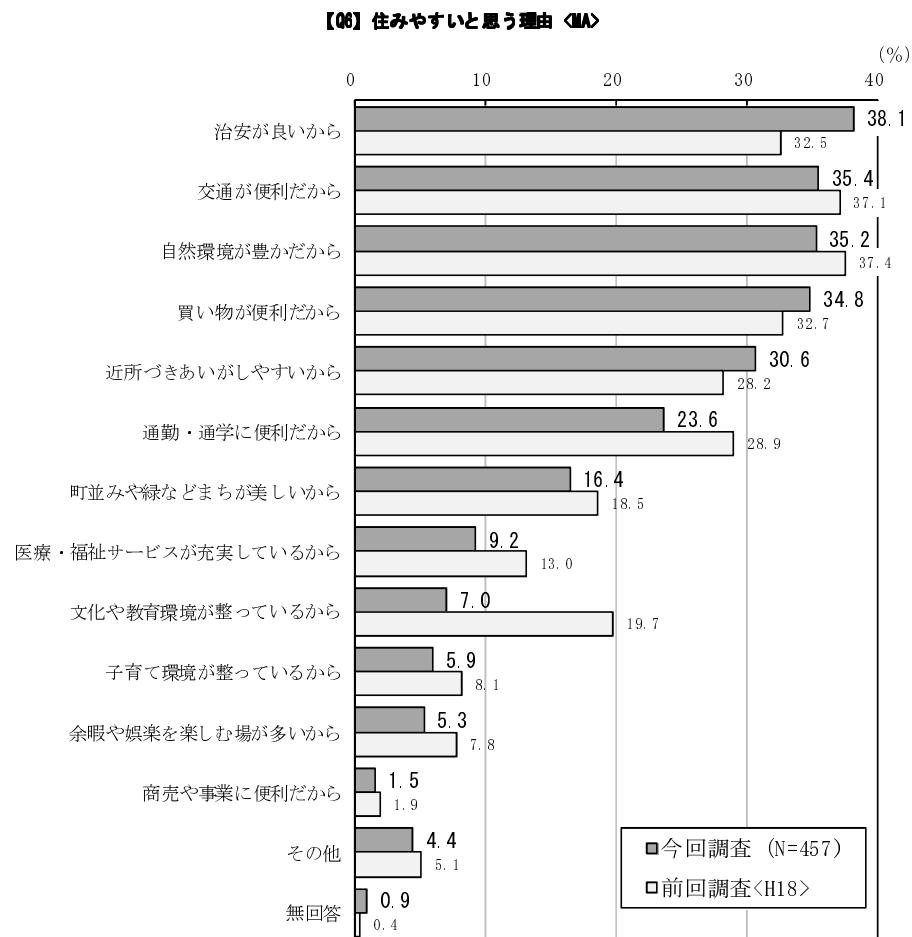
問6 問5で「1. 住みやすい」「2. どちらかというに住みやすい」を選んだ方にお聞きします。
住みやすいと思う主な理由は何ですか。《3つまで選んでください》

全体数=457

【全体・前回調査との比較】

「治安が良いから」が最も多く 38.1%、次いで「交通が便利だから」35.4%、「自然環境が豊かだから」35.2%、「買い物が便利だから」34.8%、「近所づきあいがしやすいから」30.6%などの順となっています。

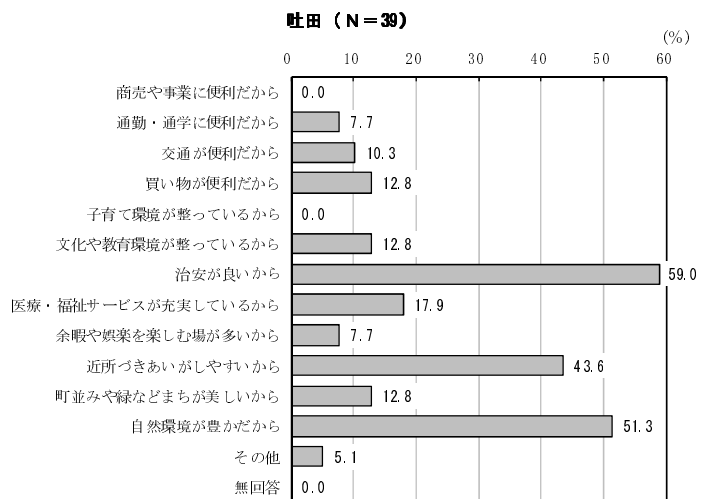
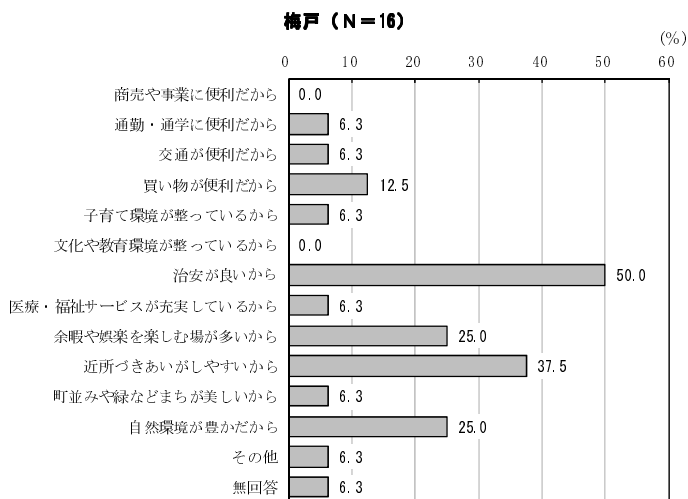
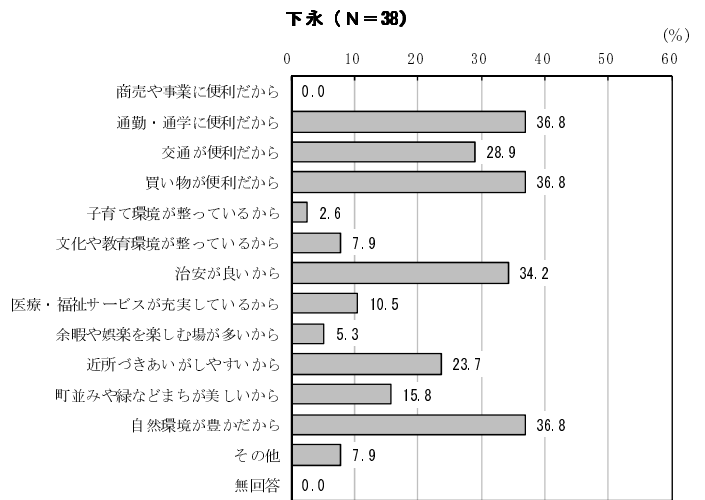
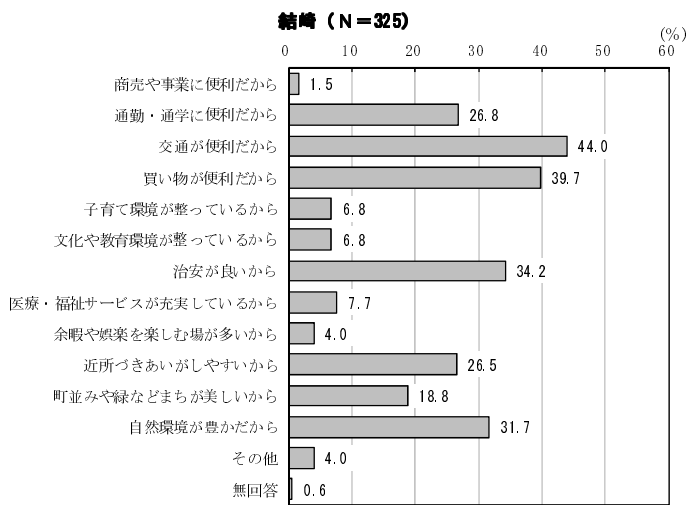
前回調査と比較すると、上位3項目の順位が異なり、前回では「自然環境が豊かだから」「交通が便利だから」「治安が良いから」の順でした。

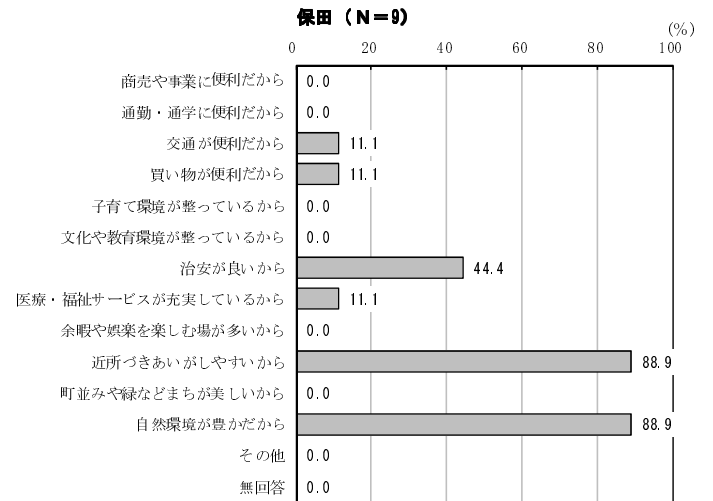
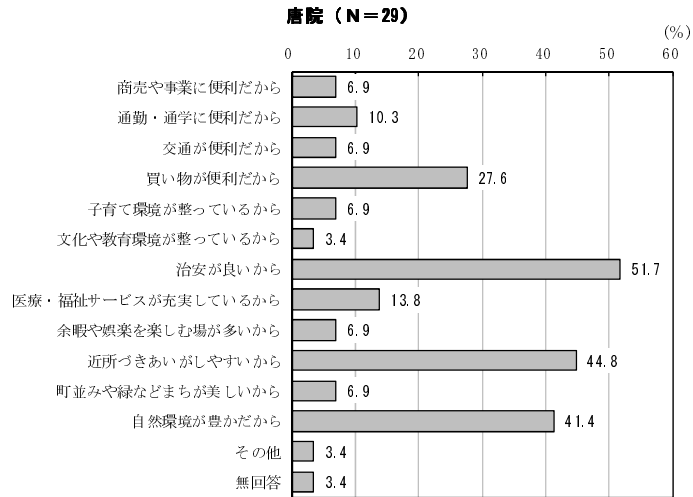


【居住地区別】

居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
治安が良いから	梅戸、吐田、唐院	—
交通が便利	—	梅戸、吐田、唐院、保田
自然環境が豊か	吐田、保田	梅戸
買い物が便利	—	梅戸、吐田、保田
近所づきあいがしやすい	吐田、唐院、保田	—





(3) 住みにくいと思う理由

問7 問5で「3. どちらかというに住みにくい」「4. 住みにくい」を選んだ方にお聞きします。
住みにくいと思う主な理由は何ですか。《3つまで選んでください》

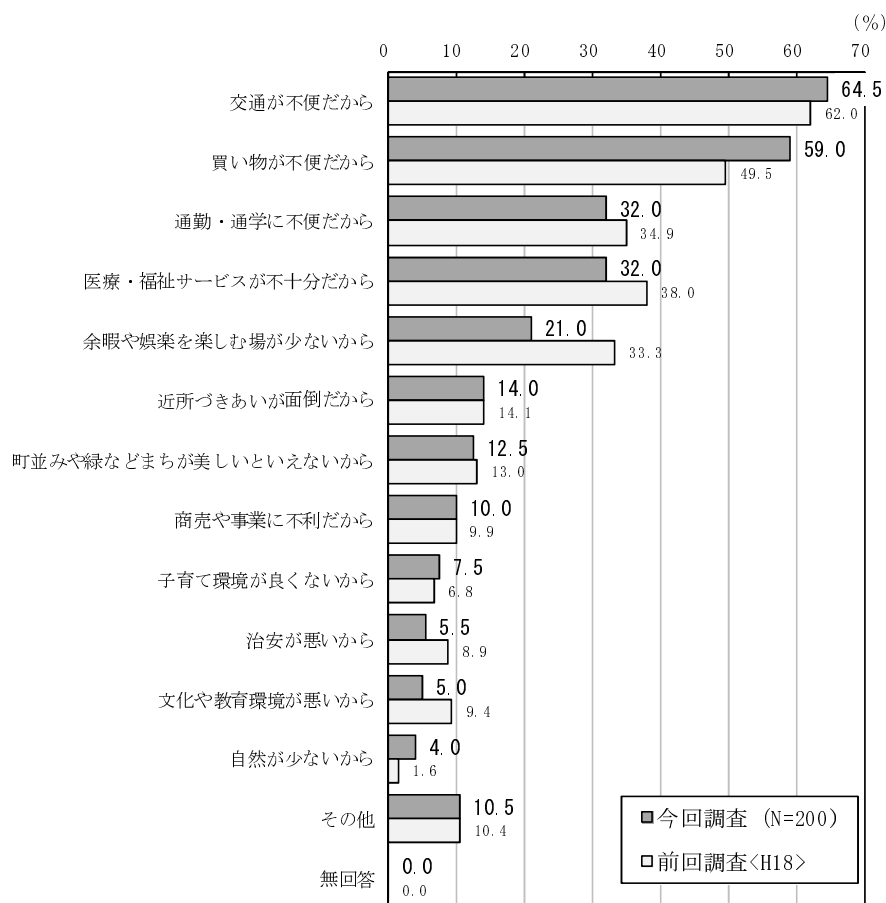
全体数=200

【全体・前回調査との比較】

「交通が不便だから」が最も多く 64.5%、次いで「買い物が不便だから」59.0%、「通勤・通学に不便だから」と「医療・福祉サービスが不十分だから」が32.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、上位項目の順位は同じですが「交通が不便だから」「買い物が不便だから」の回答率が前回より高くなっており、「買い物が不便だから」は9.5ポイント増加しています。一方、「医療・福祉サービスが不十分だから」は6.0ポイント少なくなっています。

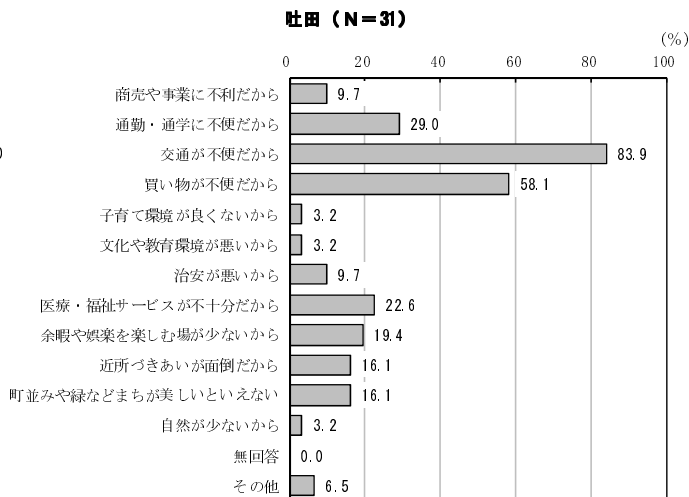
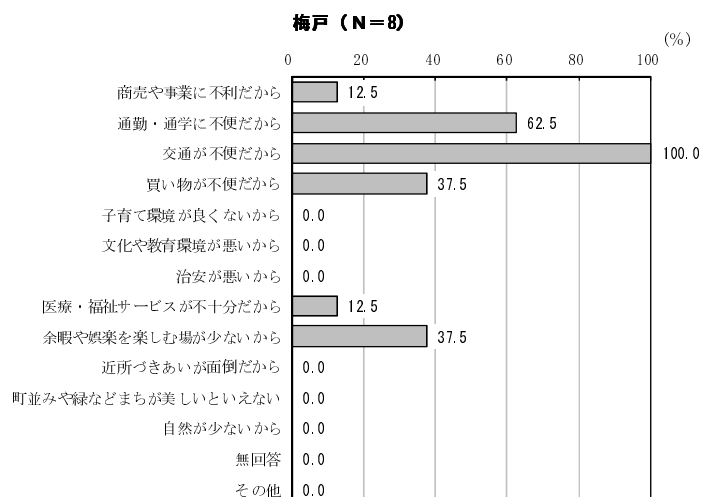
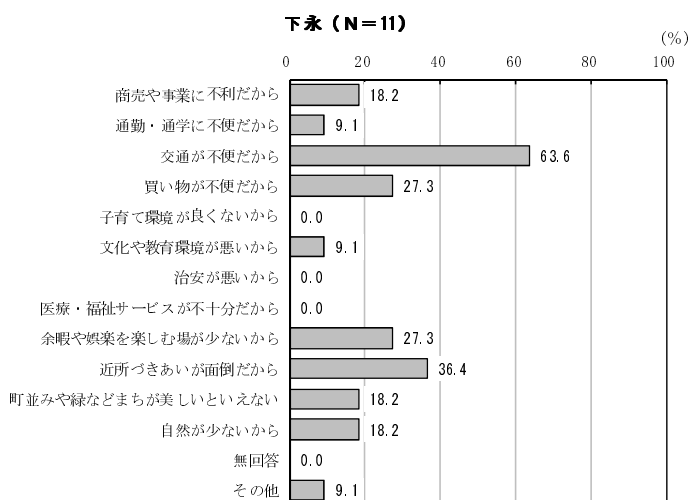
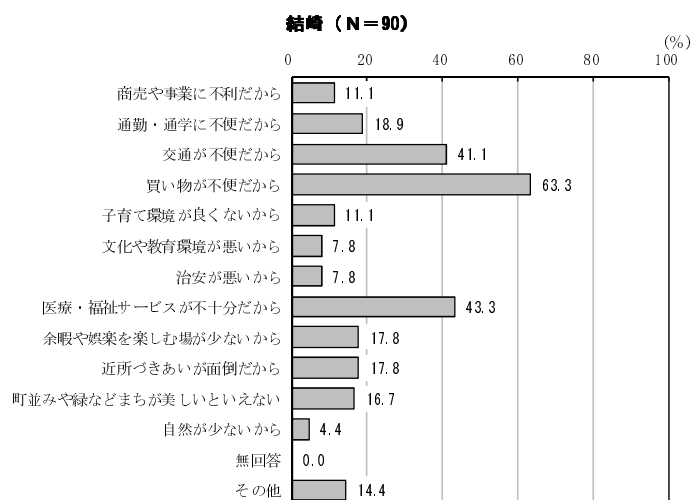
【Q7】住みにくいと思う理由 <MA>



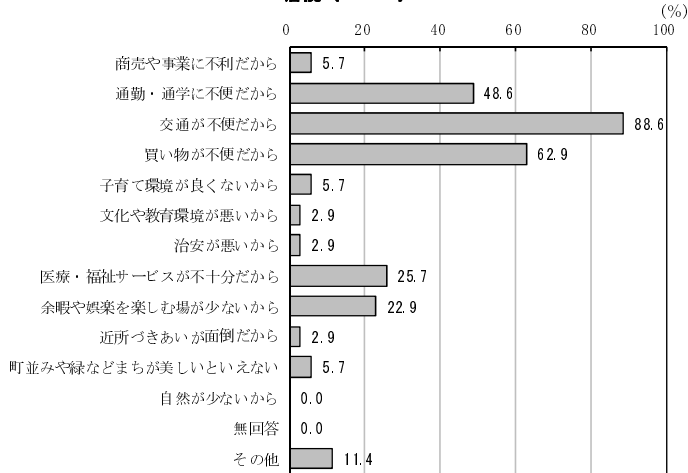
【居住地区別】

居住地区別にみると次のような違いがあります。

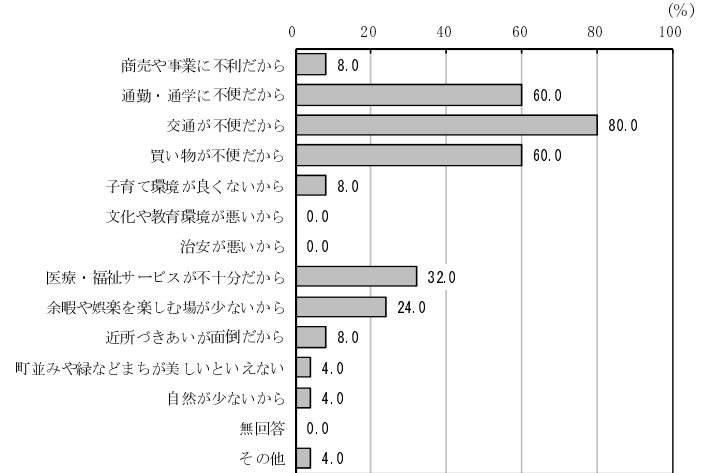
項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
交通が不便	梅戸、吐田、唐院、保田	結崎
買い物が不便	—	下永、梅戸
通勤・通学に不便	梅戸、唐院、保田	結崎、下永
医療・福祉サービスが不十分	結崎	下永、梅戸



唐院 (N=35)



保田 (N=25)



3 まちづくりについて

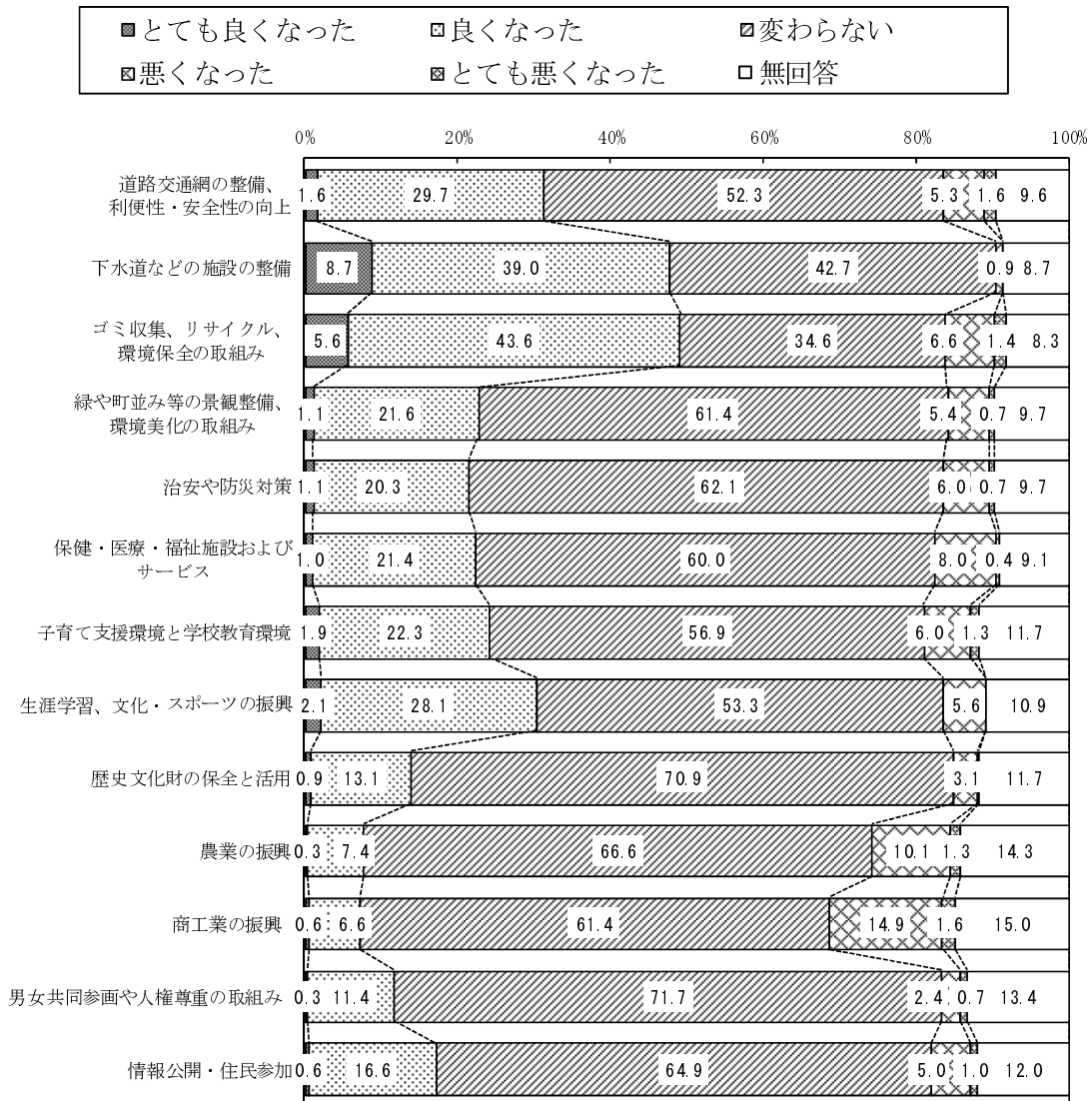
問8 川西町のこれまでのまちづくりについてお聞きします。それぞれの項目について、1つだけ番号を選んで、○をつけてください。

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

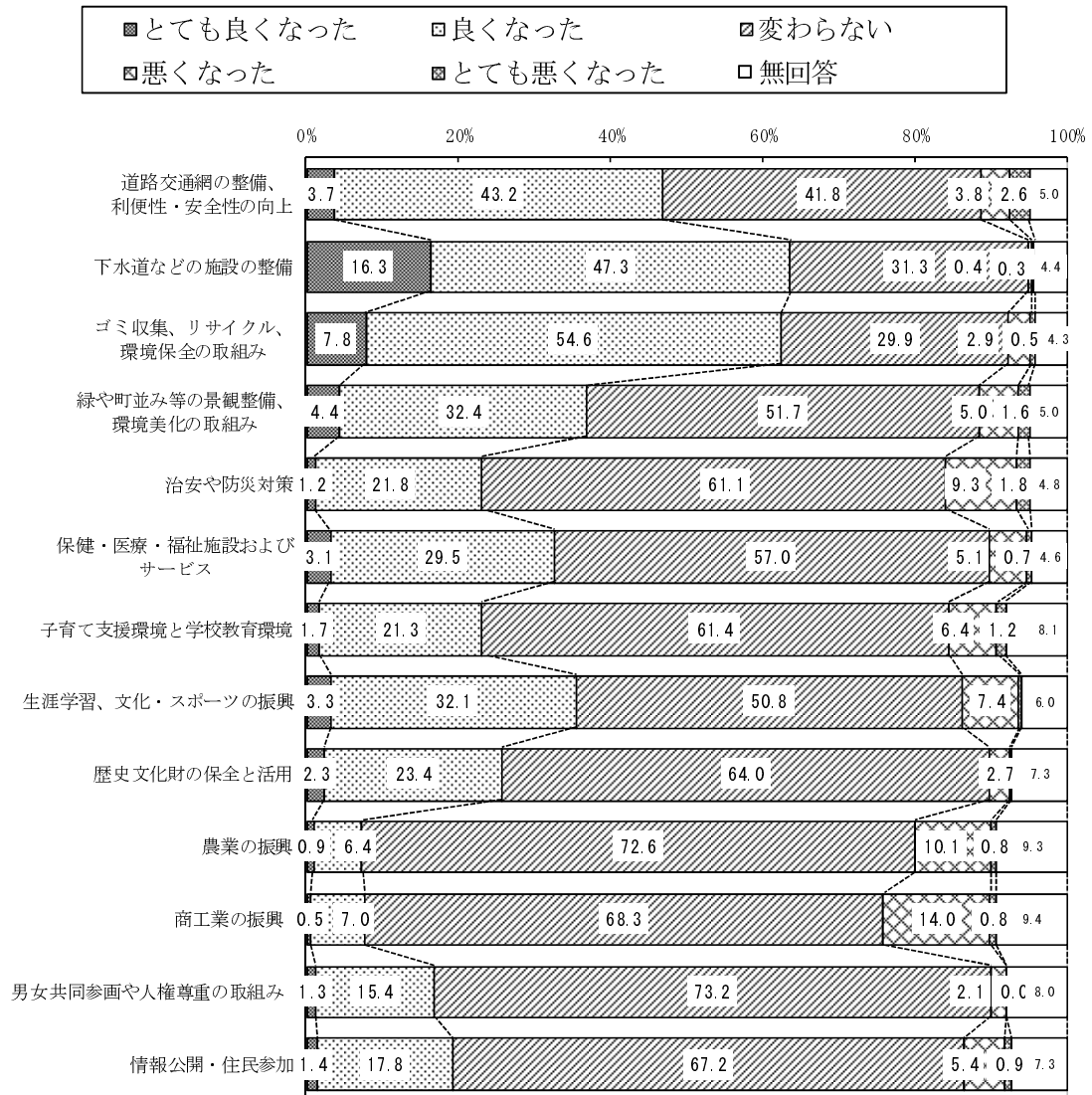
「とても良くなった」「良くなった」は「下水道などの施設の整備」「ゴミ収集、リサイクル、環境保全の取り組み」が約5割となっています。

【Q8】まちづくりについて (N=700)



前回調査と比較すると、今回は「下水道などの施設の整備」への評価が最も高い結果でしたが、今回は「ゴミ収集、リサイクル、環境保全の取り組み」が最も高くなっています。

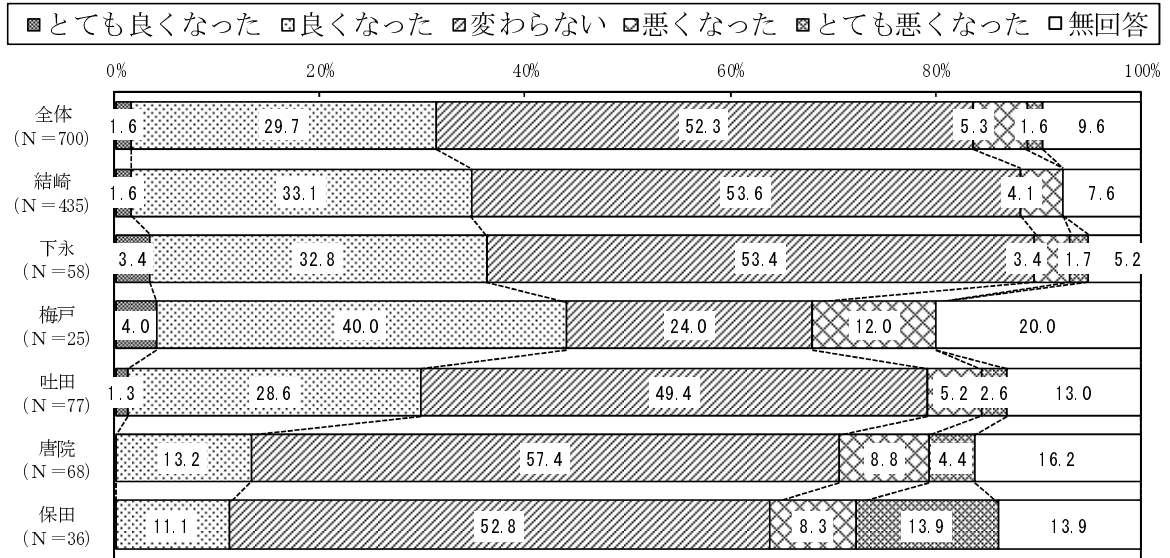
前回調査 <H10> (N=766)



【居住地区別】

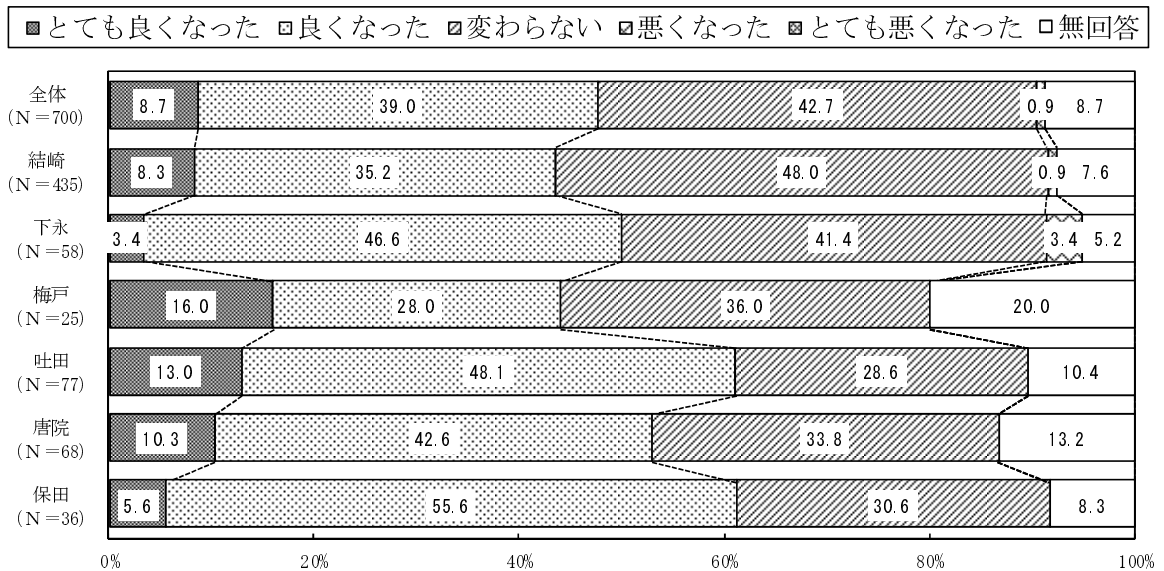
『道路交通網の整備、利便性・安全の向上』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、梅戸で40%以上をしめているのに対し、唐院と保田では10%台にとどまっています。

道路交通網の整備、利便性・安全性の向上



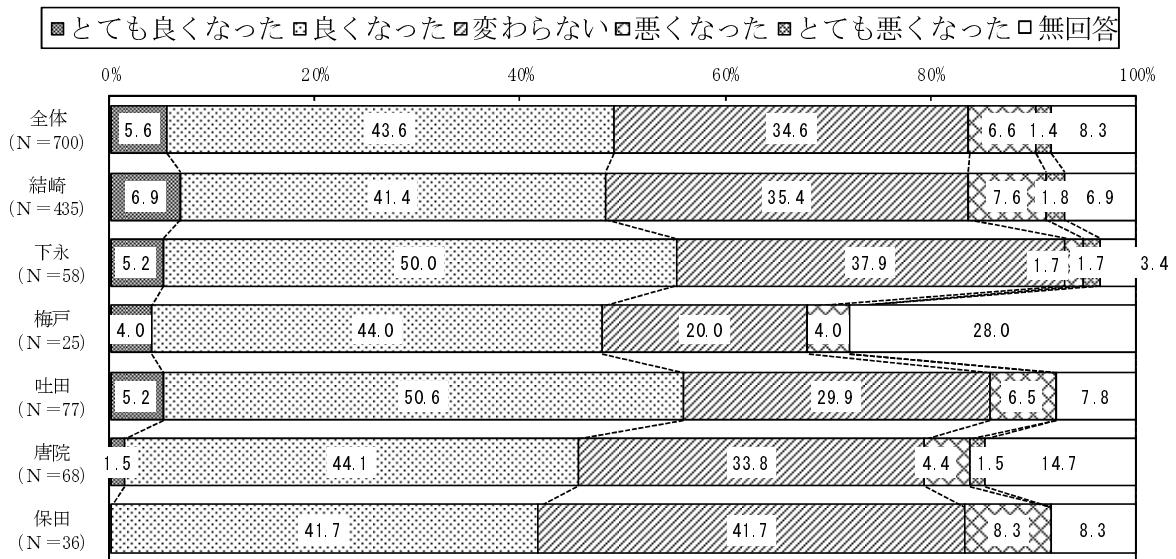
『下水道などの施設の整備』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、吐田と保田で60%以上をしめています。

下水道などの施設の整備



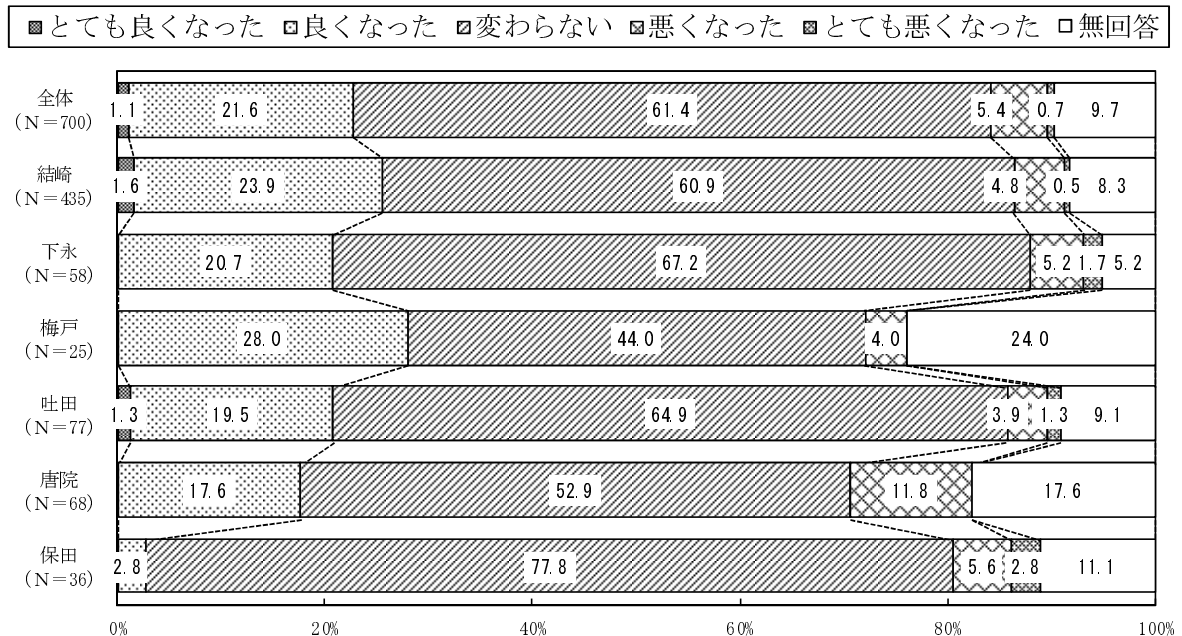
『ゴミ収集、リサイクル、環境保全の取組み』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、下永と吐田で50%以上をしめています。

ゴミ収集、リサイクル、環境保全の取組み



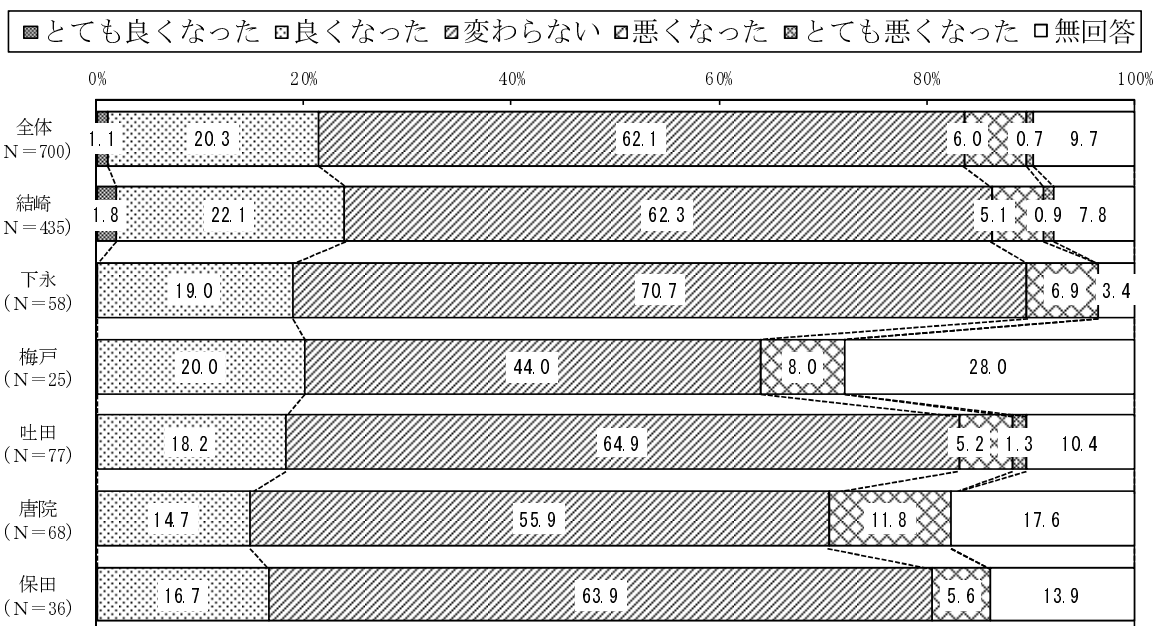
『緑や町並み等の景観整備、環境美化の取組み』を居住地区別にみると、「変わらない」が保田で80%近くをしめています。

緑や町並み等の景観整備、環境美化の取組み



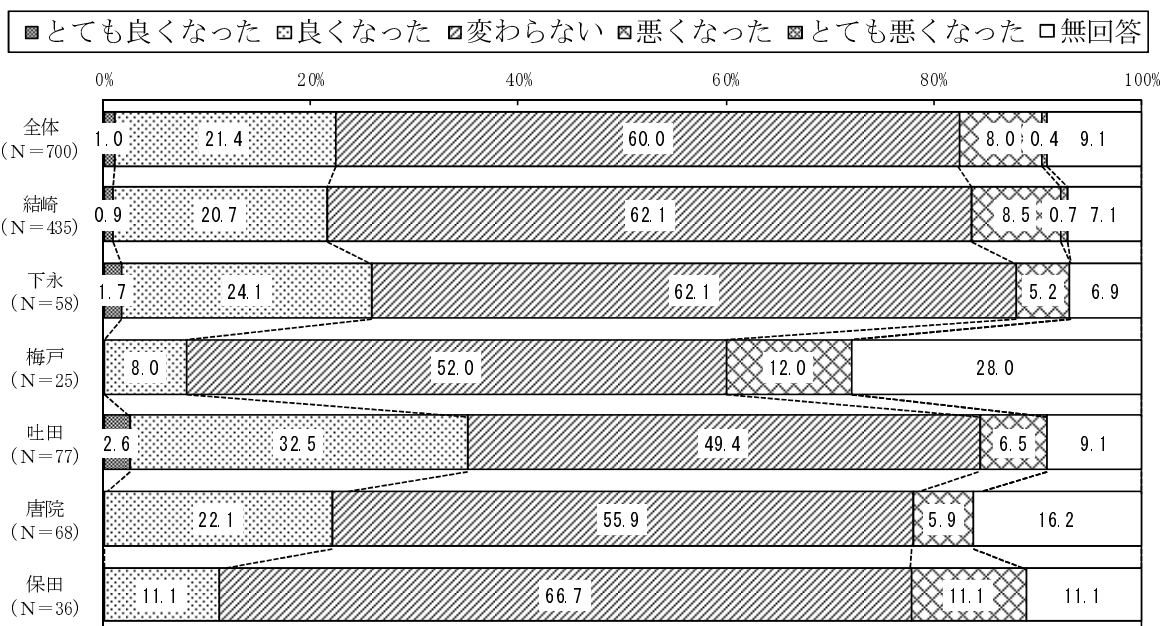
『治安や防災対策』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、結崎で20%以上と平均を上回り、唐院と保田は15%前後で平均より低い結果となっています。

治安や防災対策



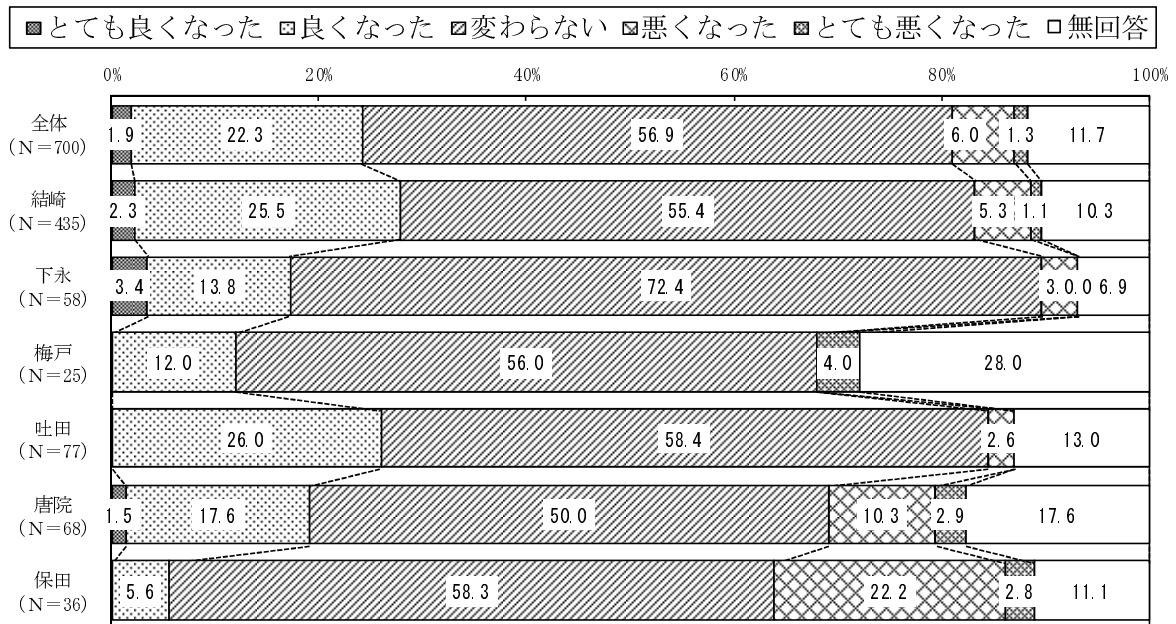
『保健・医療・福祉施設およびサービス』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、吐田で約40%近くをしめているのに対し、梅戸と保田では10%台にとどまっています。

保健・医療・福祉施設およびサービス



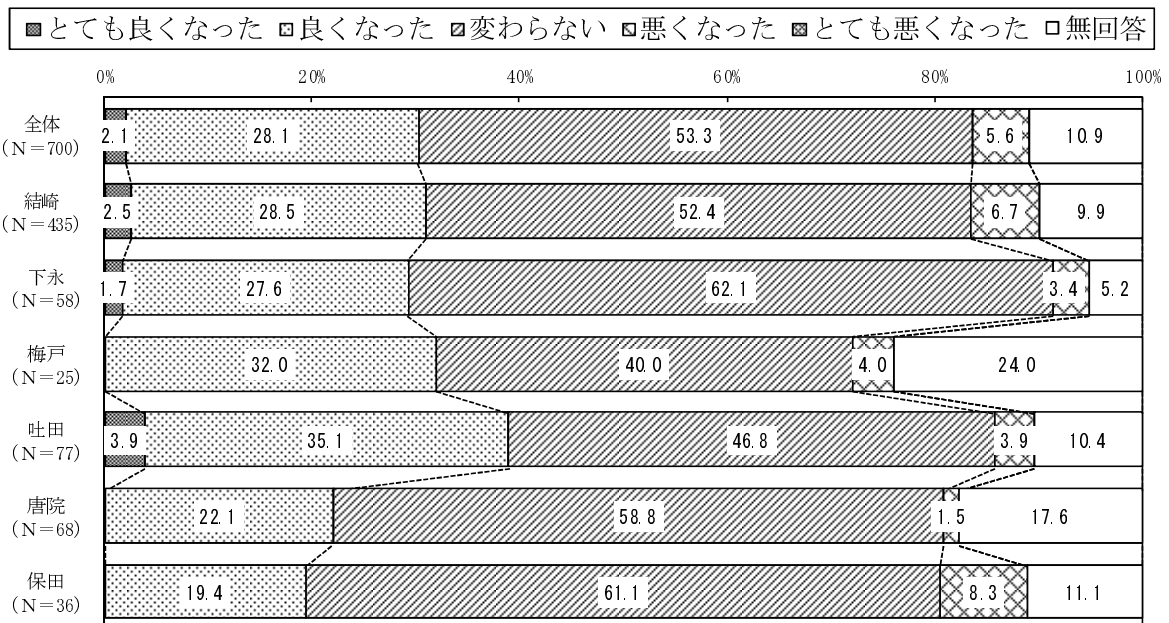
『子育て支援環境と学校教育環境』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、梅戸と吐田で10%前後にとどまっています。

子育て支援環境と学校教育環境



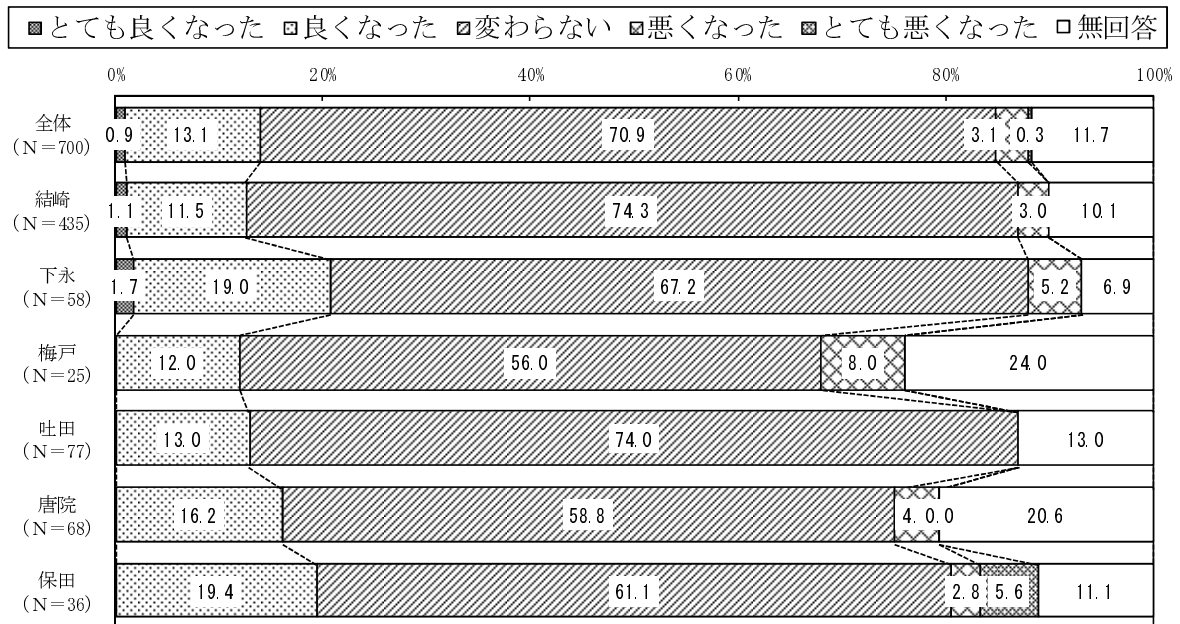
『生涯学習、文化・スポーツの振興』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、吐田で40%近くをしめているのに対し、唐院と保田では20%前後にとどまっています。

生涯学習、文化・スポーツの振興



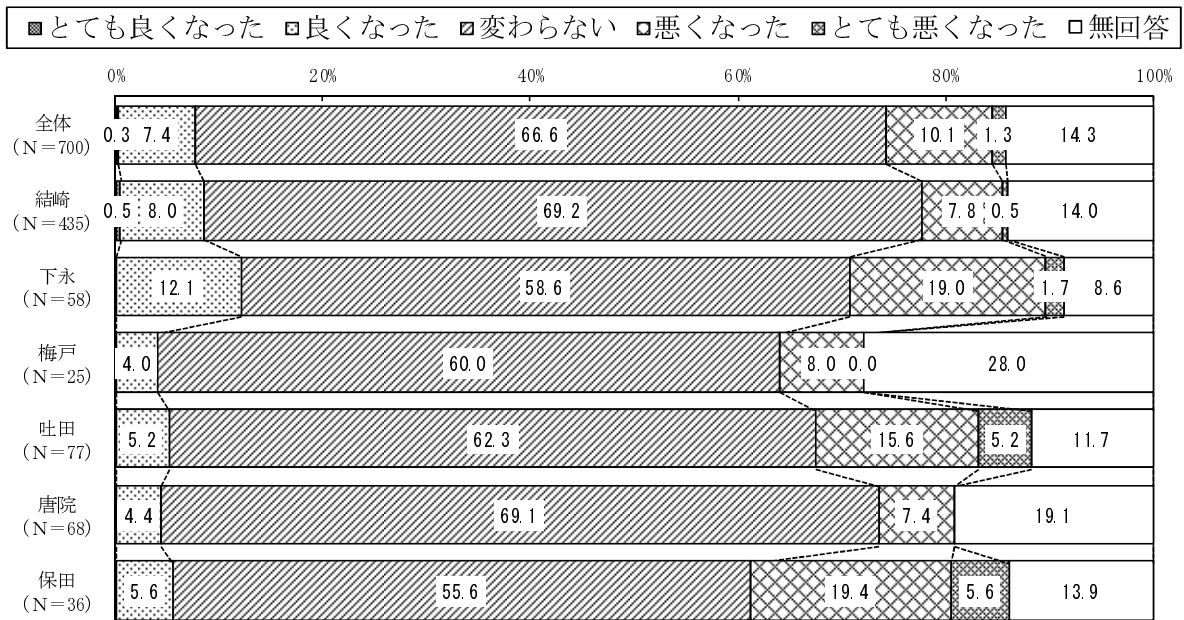
『歴史文化財の保全と活用』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、下永と保田で20%近くをしめています。

歴史文化財の保全と活用



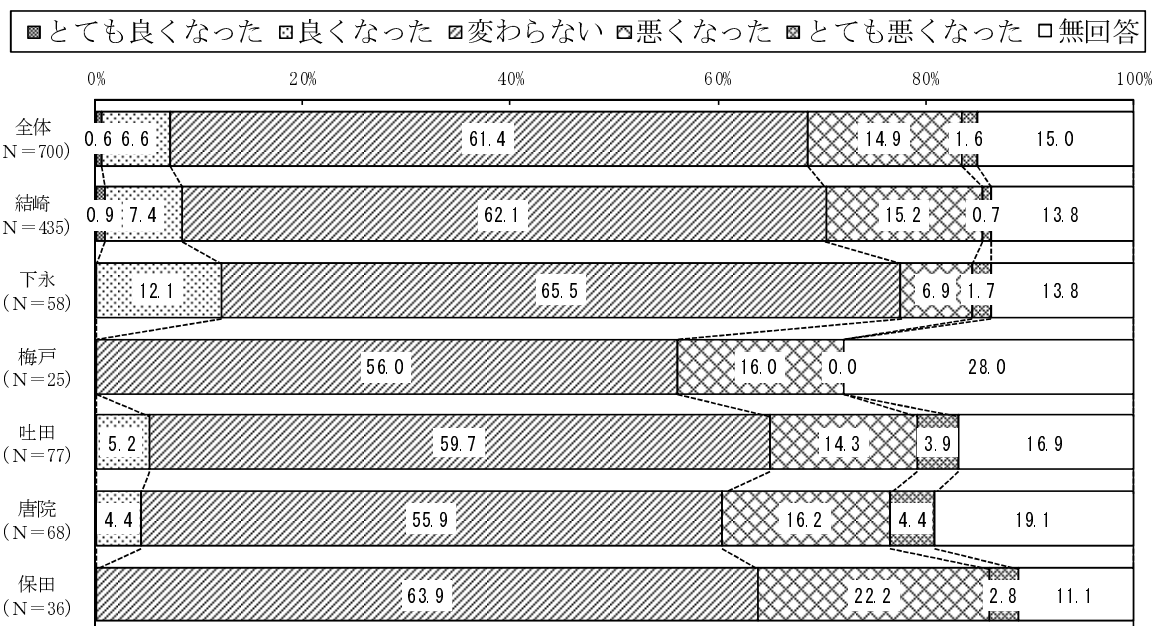
『農業の振興』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、下永で10%以上をしめています。

農業の振興



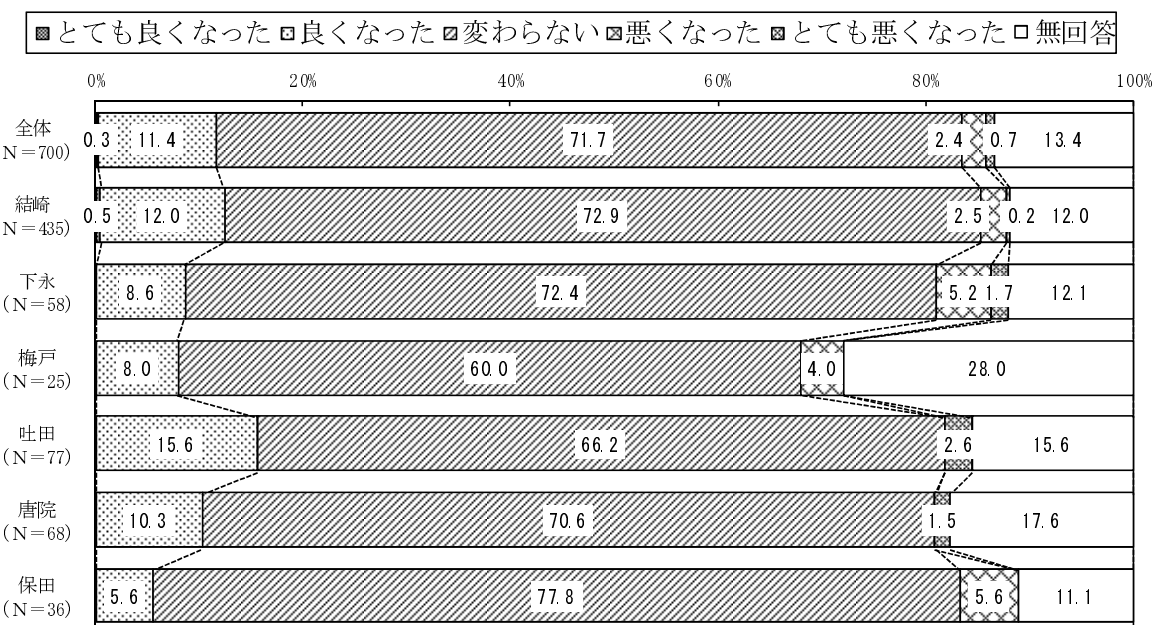
『商工業の振興』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、下永で10%以上をしめています。

商工業の振興



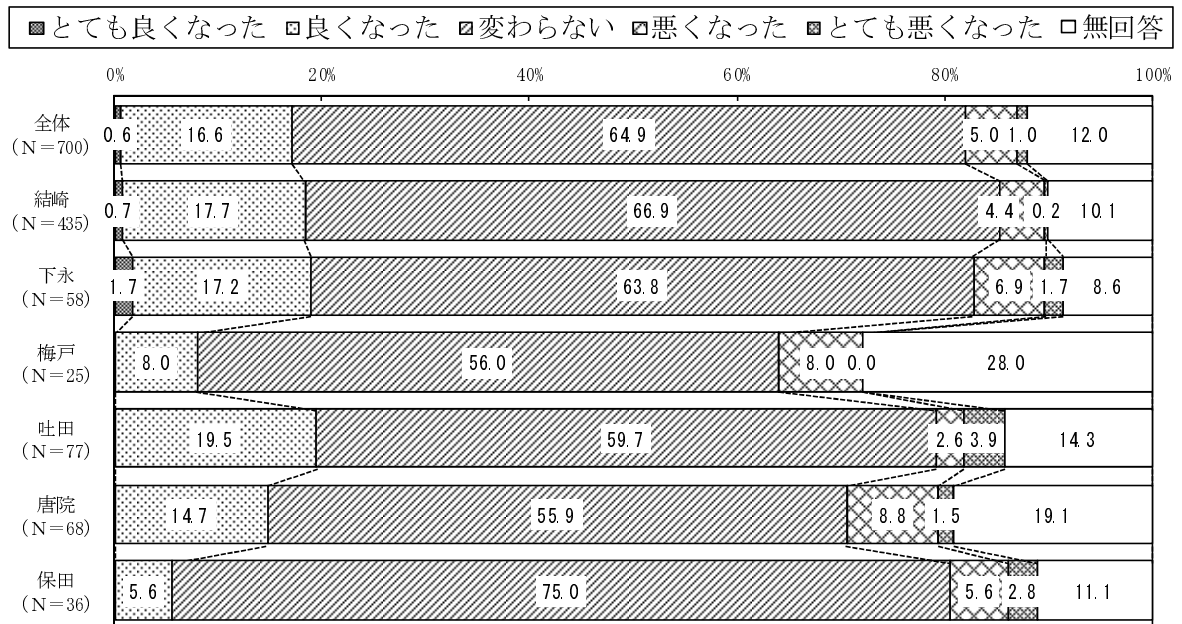
『男女共同参画や人権尊重の取組み』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、吐田で15%以上をしめています。

男女共同参画や人権尊重の取組み



『情報公開・住民参加』を居住地区別にみると、「とても良くなった」と「良くなった」の合計は、保田で5%台にとどまっています。

情報公開・住民参加



4 分野別まちづくりについて

(1) まちの基盤整備で必要なこと

問9 まちの基盤整備として必要と思われることは次のうちどれですか。《3つまで選んでください》

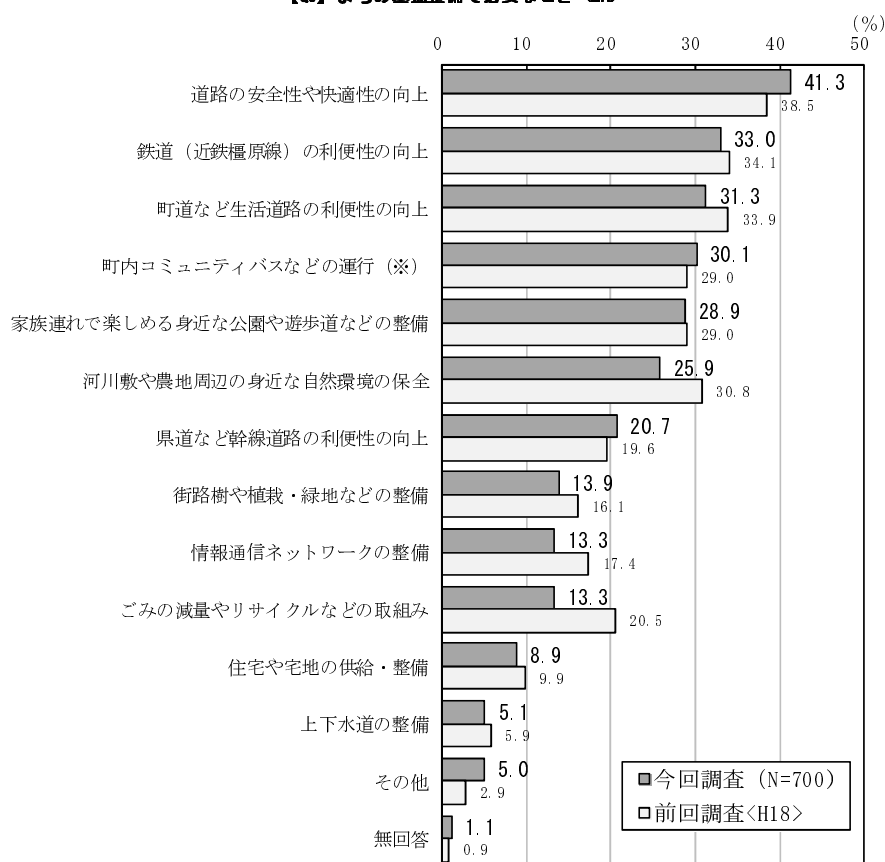
全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「道路の安全性や快適性の向上」が最も多く 41.3%、次いで「鉄道（近鉄橿原線）の利便性の向上」33.0%、「町道など生活道路の利便性の向上」31.3%、「町内コミュニティバスなどの運行」30.1%、「家族連れで楽しめる身近な公園や遊歩道などの整備」28.9%などの順となっています。

前回調査と比較すると、上位3項目は同じですが、前回4位の「河川敷や農地周辺の身近な自然環境の保全」に代わって、今回は「町内コミュニティバスなどの運行（※）」が4位となっています。

【09】 まちの基盤整備で必要なこと <MA>



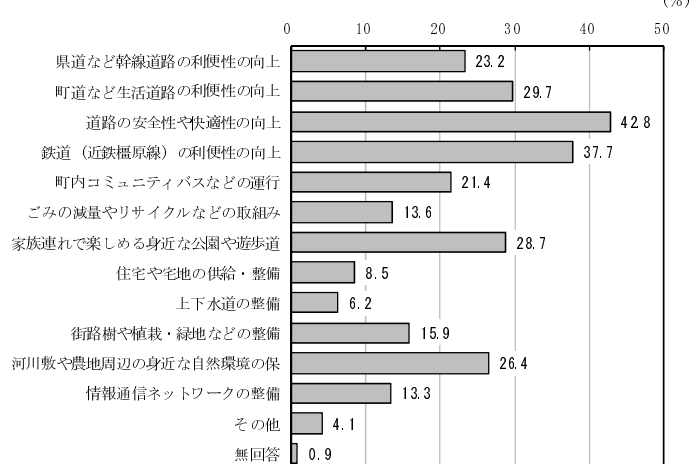
※注：前回調査では「バス（奈良交通）の利便性の向上」

【居住地区別】

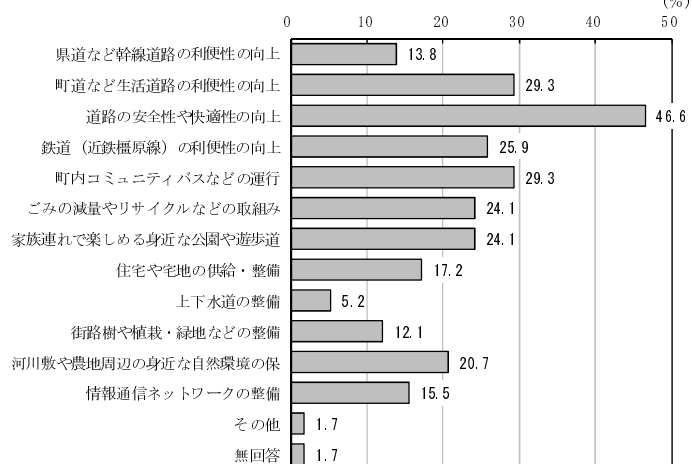
居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
道路の安全性や快適性	—	梅戸
鉄道（近鉄橿原線）の利便性	—	保田
町道など生活道路の利便性	保田	—
町内コミュニティバスなどの運行	吐田、唐院、保田	—
家族連れで楽しめる身近な公園や遊歩道	保田	—

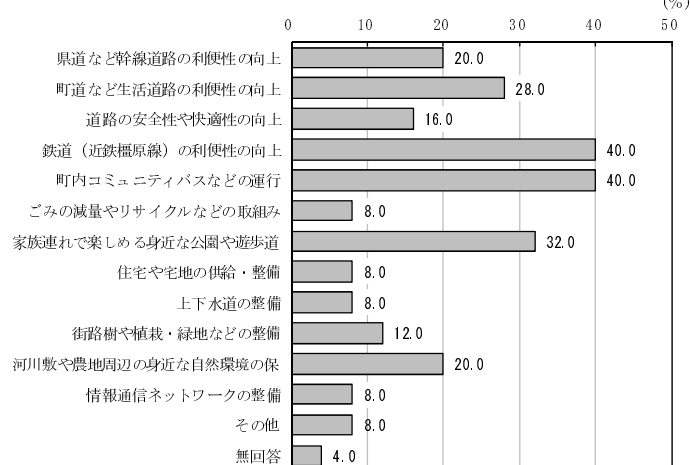
結崎（N=435）



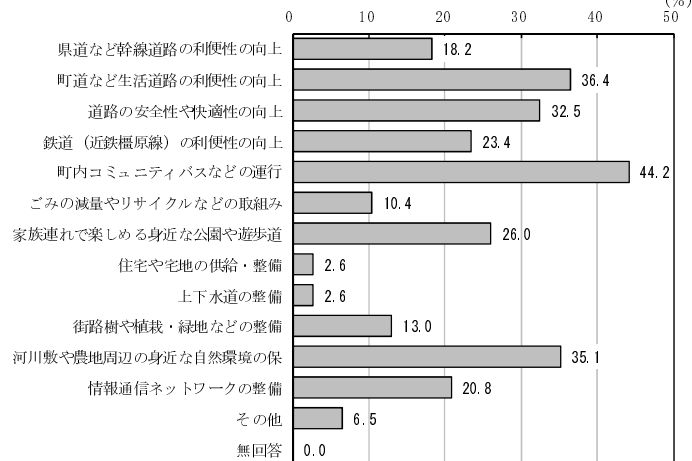
下永（N=58）

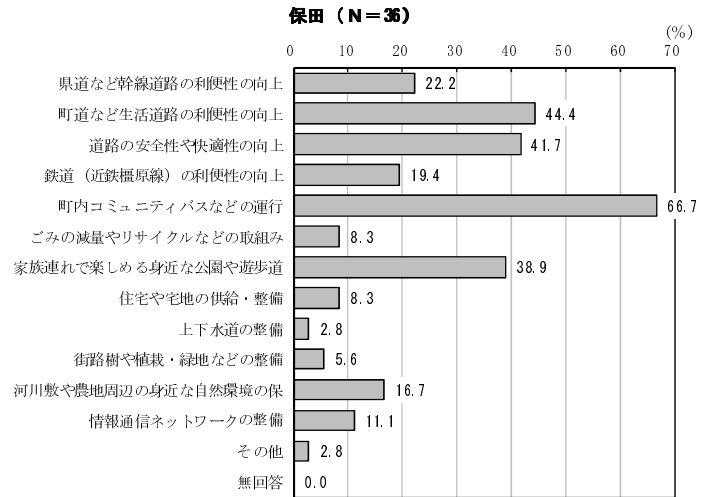
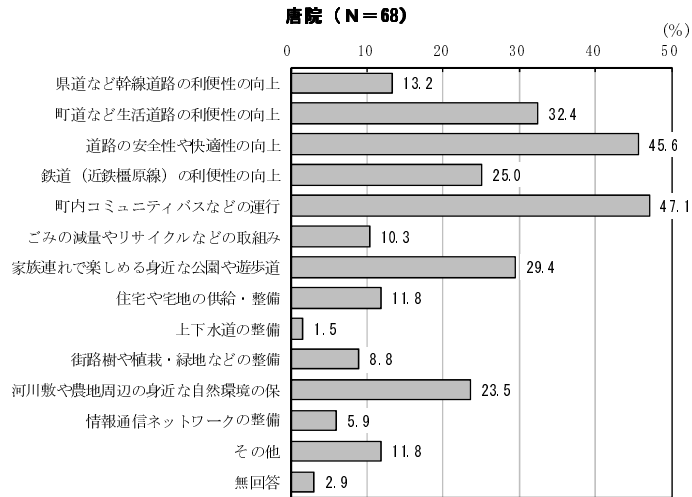


梅戸（N=25）



吐田（N=77）





(2) 安心や安全に関わる施策で必要なこと

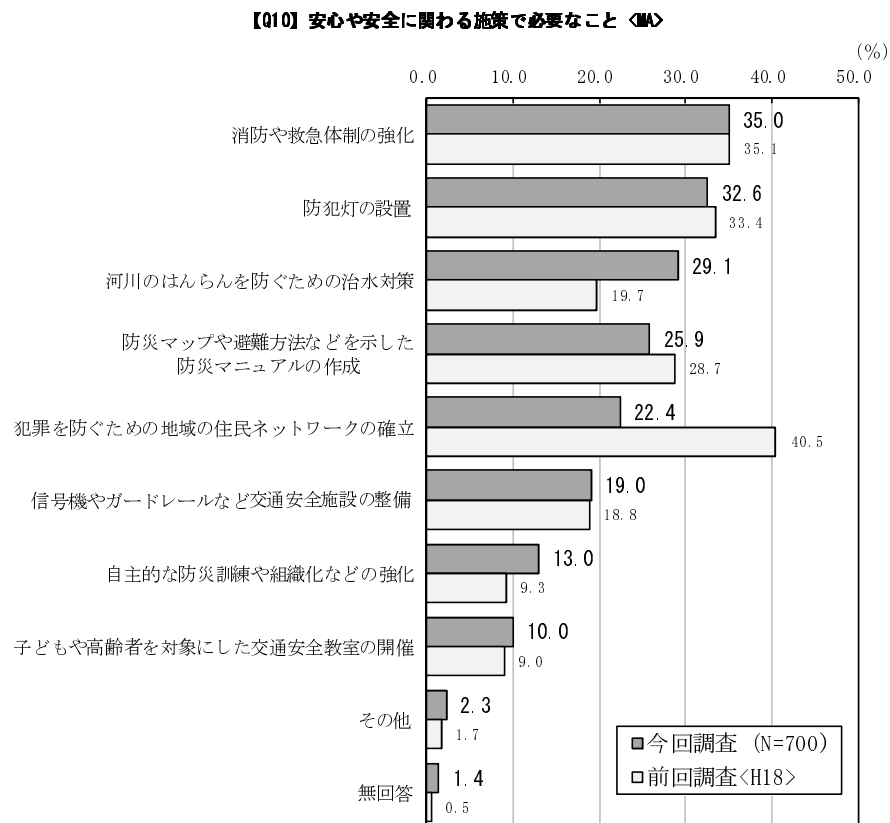
問 10 安心や安全に関わる施策として、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。《2 つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「消防や救急体制の強化」が最も多く 35.0%、次いで「防犯灯の設置」32.6%、「河川のはんらんを防ぐための治水対策」29.1%、「防災マップや避難方法などを示した防災マニュアルの作成」25.9%などの順となっています。

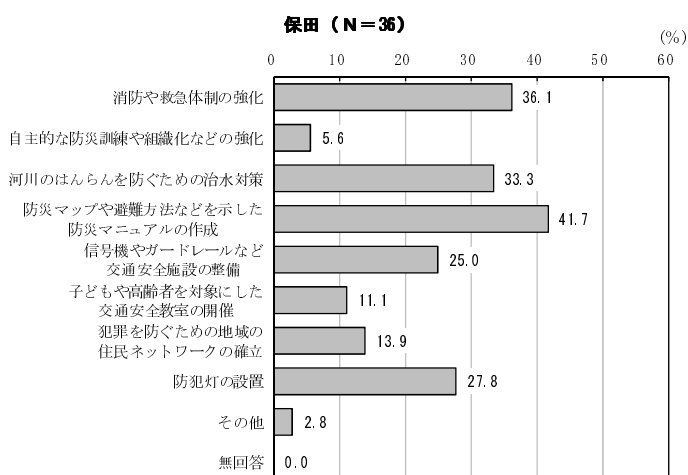
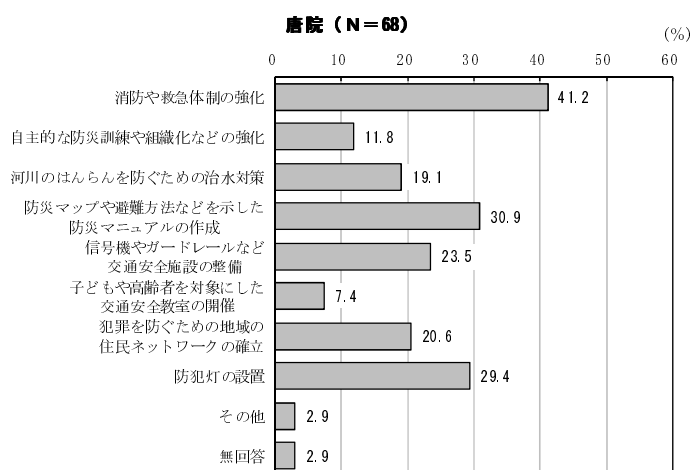
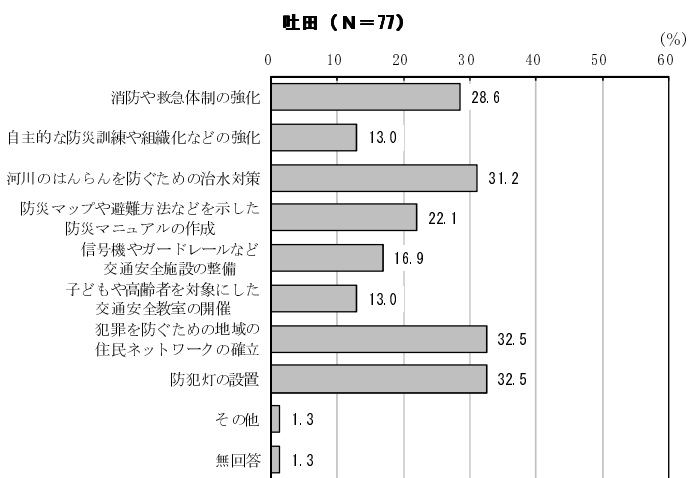
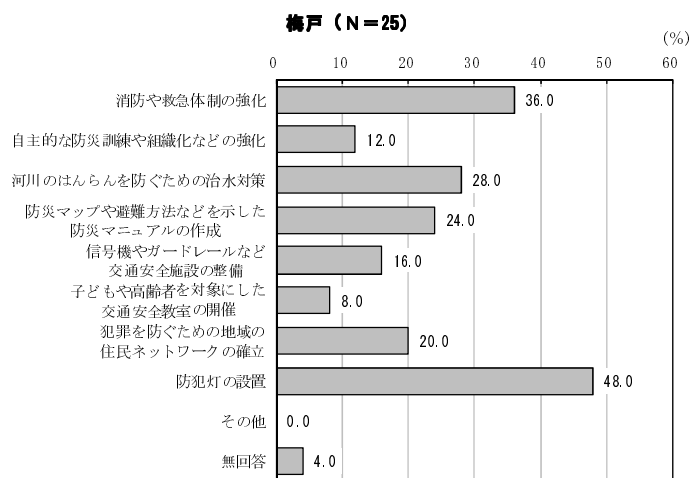
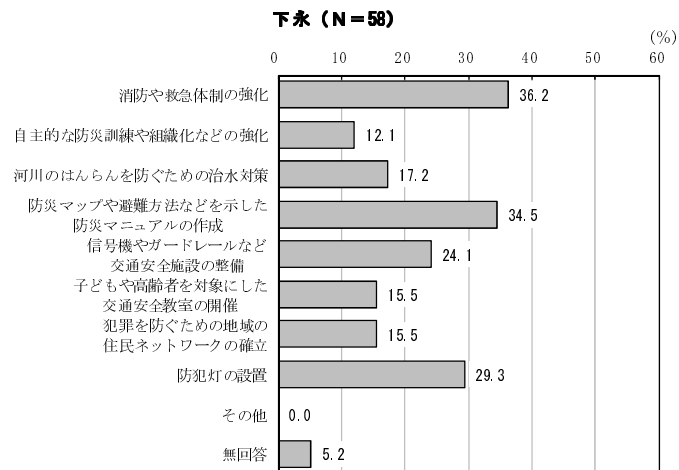
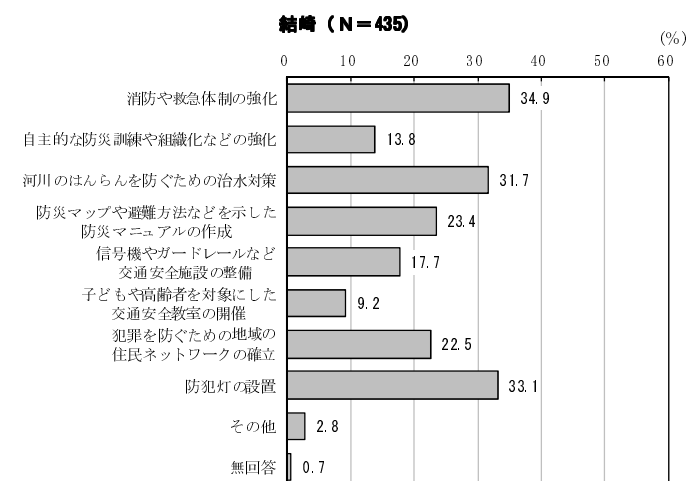
前回調査と比較すると、順位が大きく異なり前回は「犯罪を防ぐための住民ネットワークの確立」が最も多くなっていました。



【居住地区別】

居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
防犯灯の設置	梅戸	—
治水対策	—	下永、唐院
防災マニュアルの作成	下永、保田	—



(3) 健康とまちづくりのために充実すべきこと

問 11 健康と福祉のまちづくりのために、とくに充実するべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

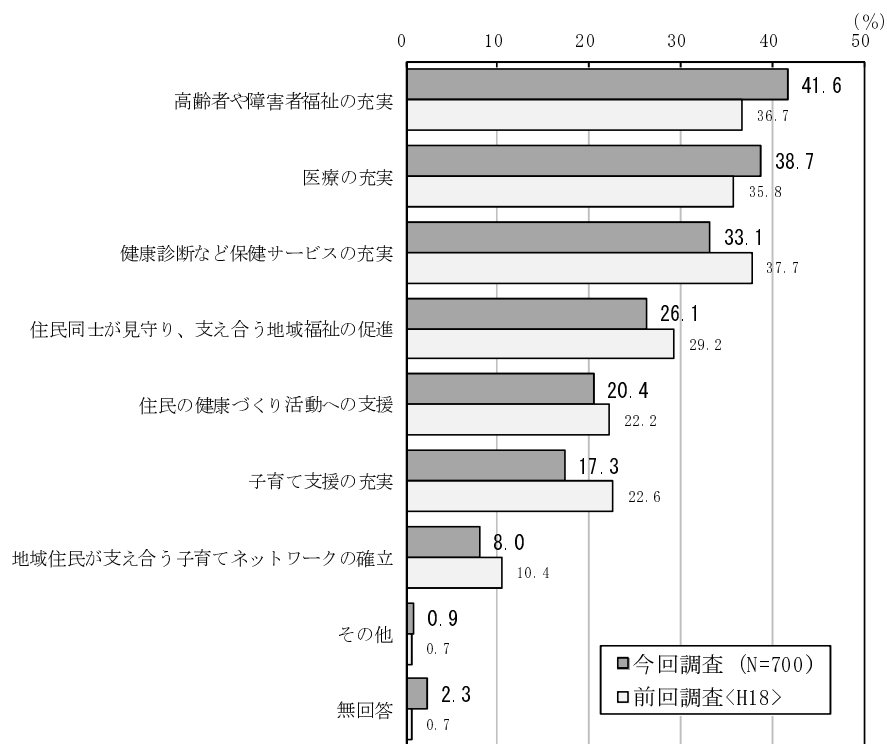
全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「高齢者や障害者福祉の充実」が最も多く 41.6%、次いで「医療の充実」38.7%、「健康診断など保険サービスの充実」33.1%などの順となっています。

前回調査と比較すると、「高齢者や障害者福祉の充実」が前回の2位から1位に上昇しています。

【011】健康とまちづくりのために充実すべきこと <NA>

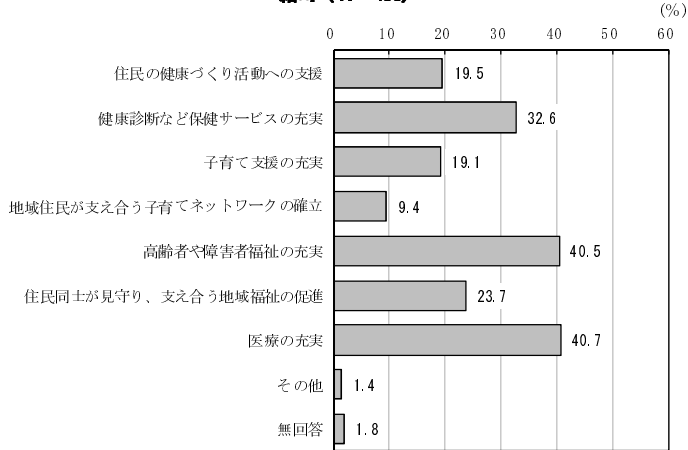


【居住地区別】

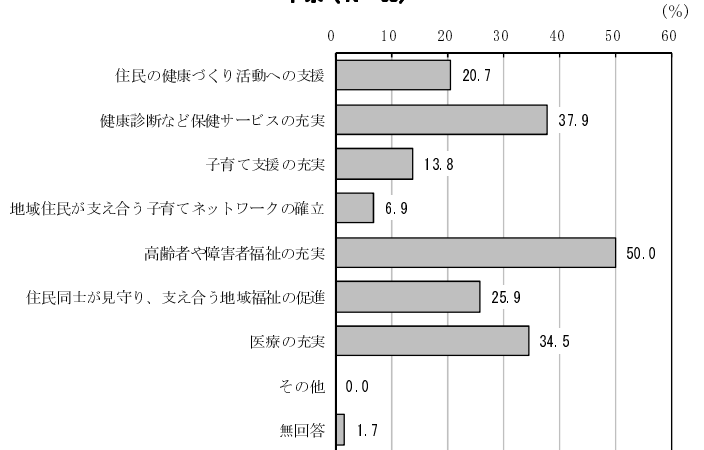
居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
高齢者や障害福祉の充実	保田	—

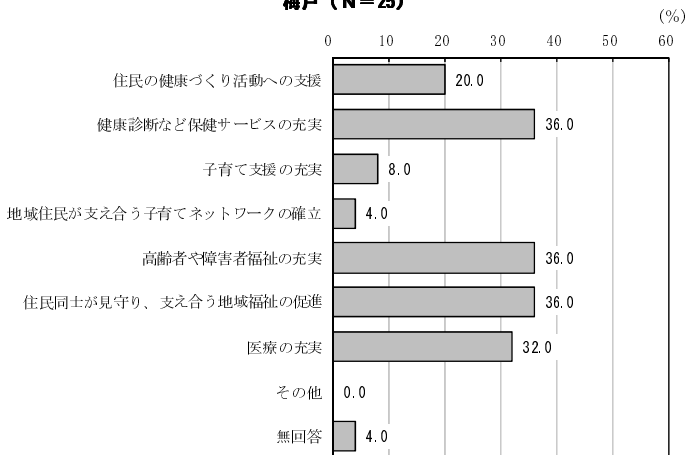
結峰 (N=435)



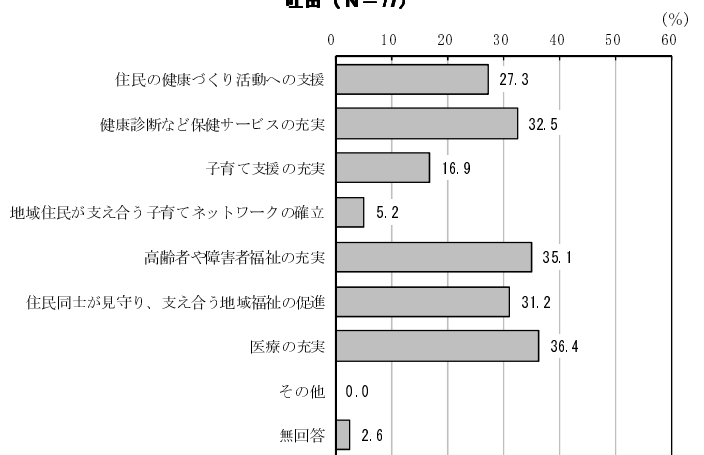
下永 (N=58)



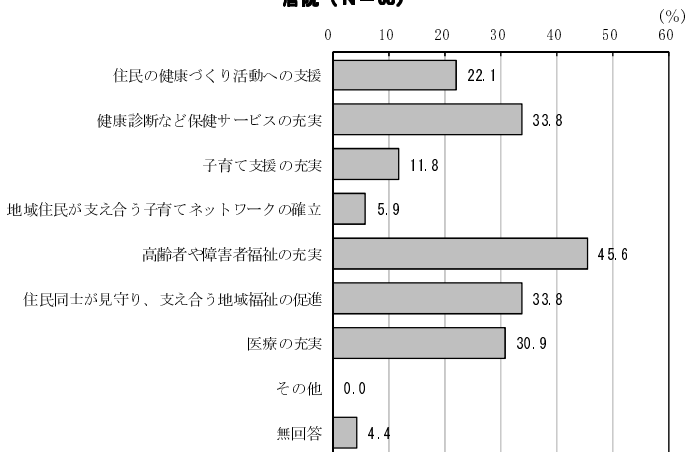
梅戸 (N=25)



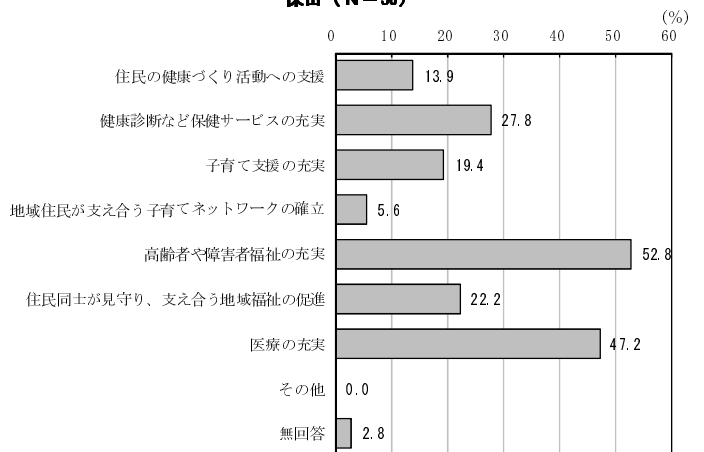
吐田 (N=77)



唐院 (N=68)



保田 (N=36)



(4) 教育や生涯学習に関わる施策で充実すべきこと

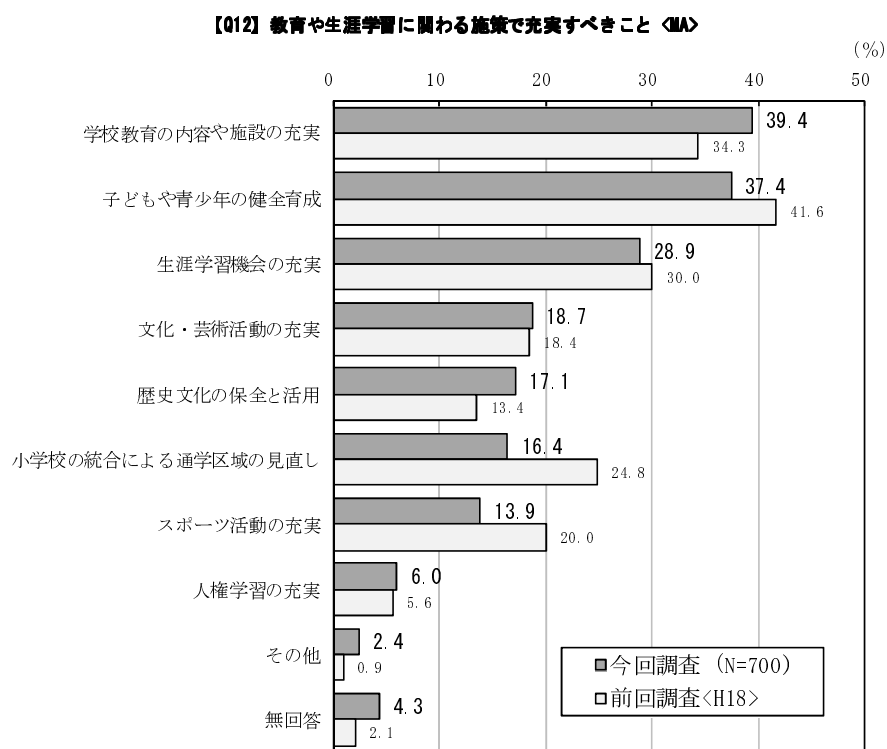
問 12 教育や生涯学習に関わる施策として、とくに充実するべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「学校教育の内容や施設の充実」が最も多く 39.4%、次いで「子どもや青少年の健全育成」37.4%、「生涯学習機会の充実」28.9%などの順となっています。

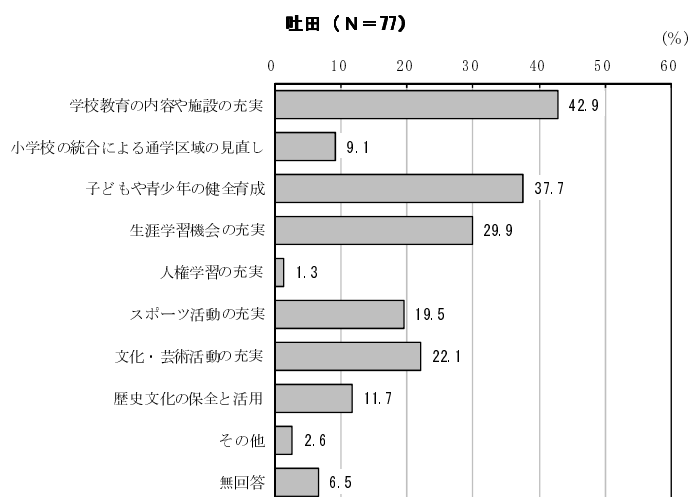
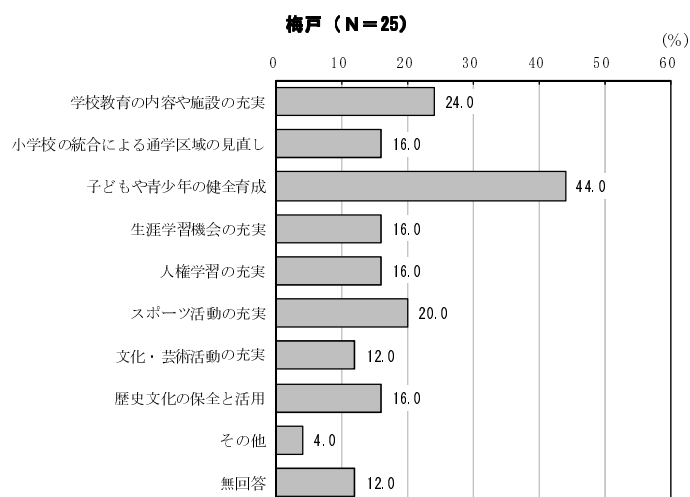
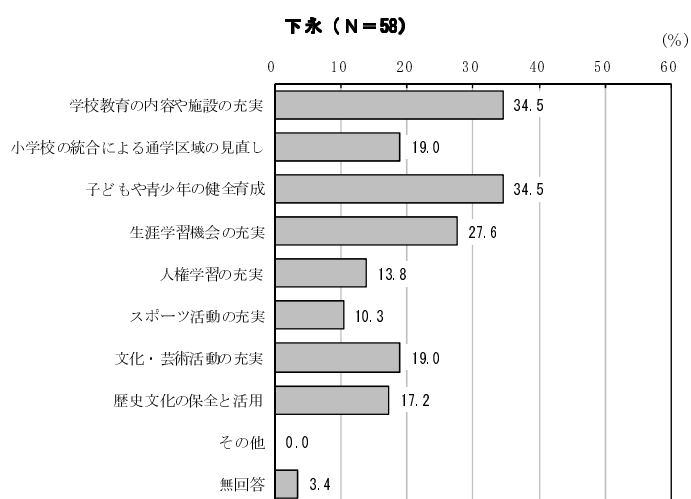
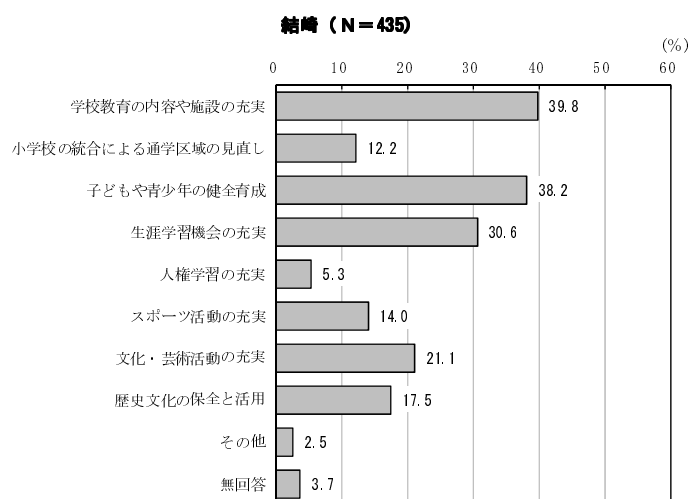
前回調査と比較すると、前回1位の「子どもや青少年の健全育成」に代わって、今回は「学校教育の内容や施設の充実」が1位となっています。

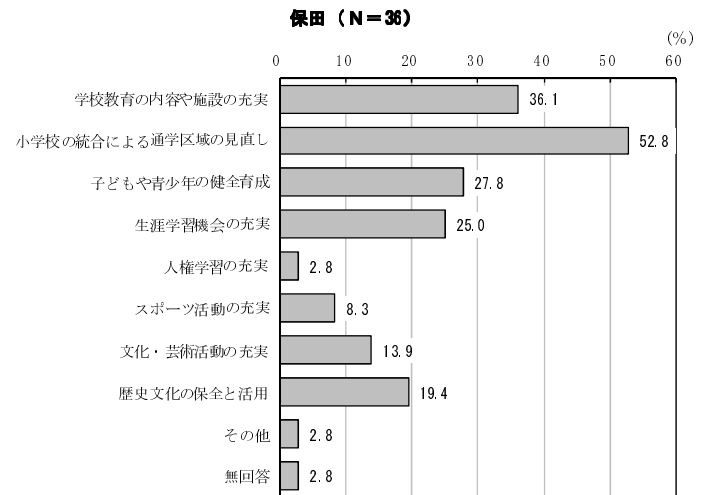
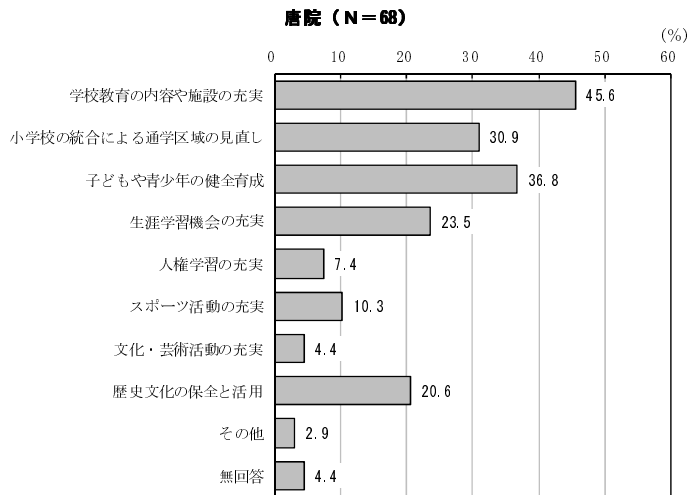


【居住地区別】

居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
学校教育の内容や施設	—	梅戸
生涯学習機会	—	梅戸
通学区域の見直し	唐院、保田	—





(5) 人権尊重のまちづくりで充実すべきこと

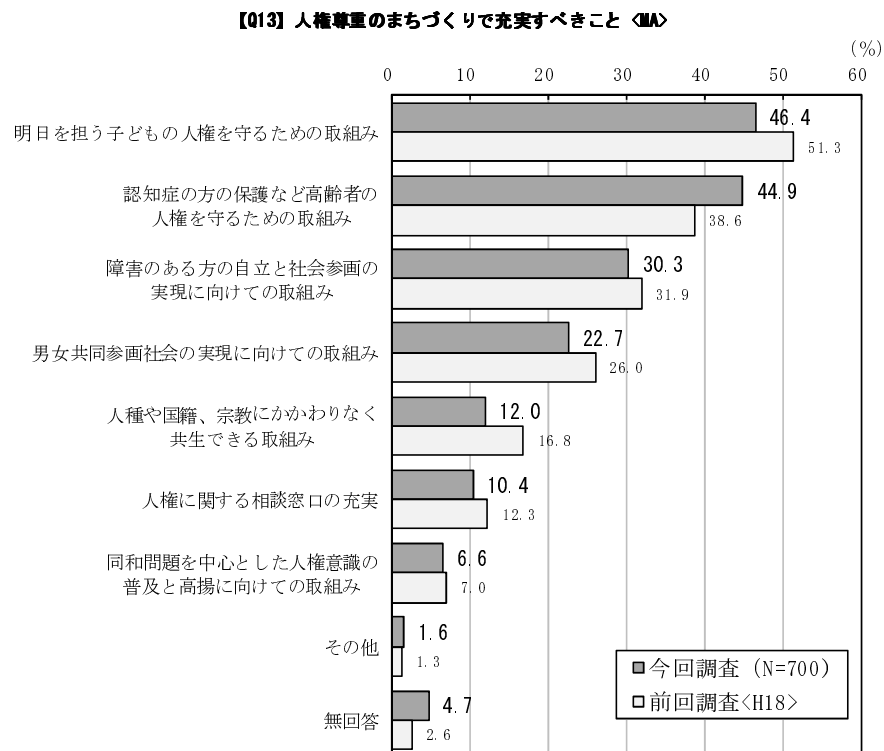
問 13 人権尊重のまちづくりのために、とくに充実するべきと思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「明日を担う子どもの人権を守るための取組み」が最も多く 46.4%、次いで「認知症の方の保護など高齢者の人権を守るための取組み」44.9%、「障害のある方の自立と社会参画の実現に向けての取組み」30.3%、「男女共同参画社会の実現に向けての取組み」22.7%などの順となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向でした。

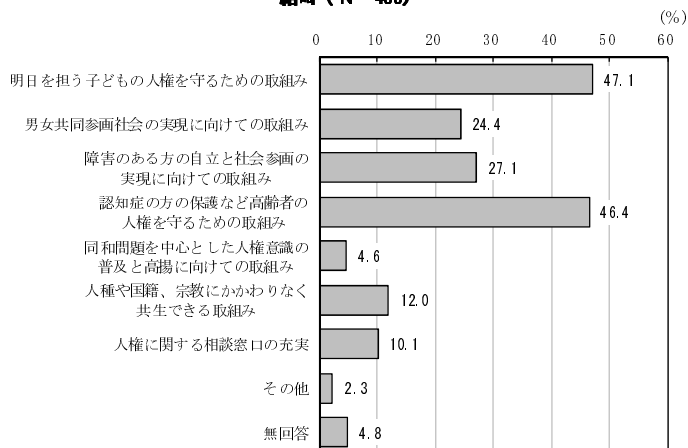


【居住地区別】

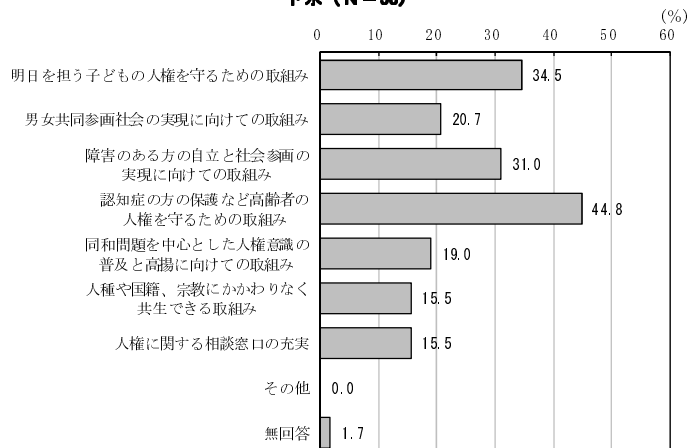
居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
子どもの人権を守るための取組み	—	下永、梅戸

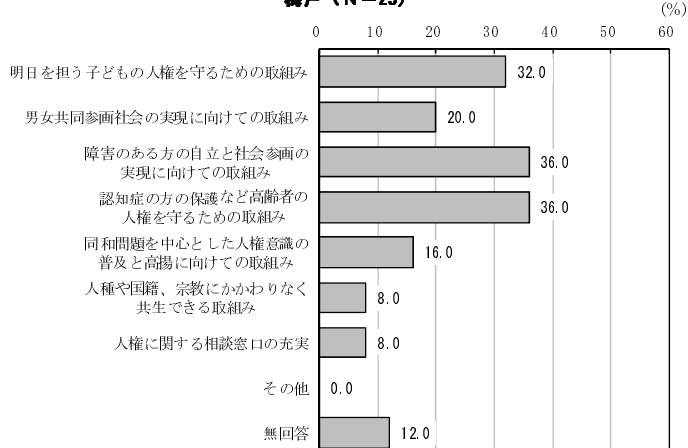
結崎 (N=435)



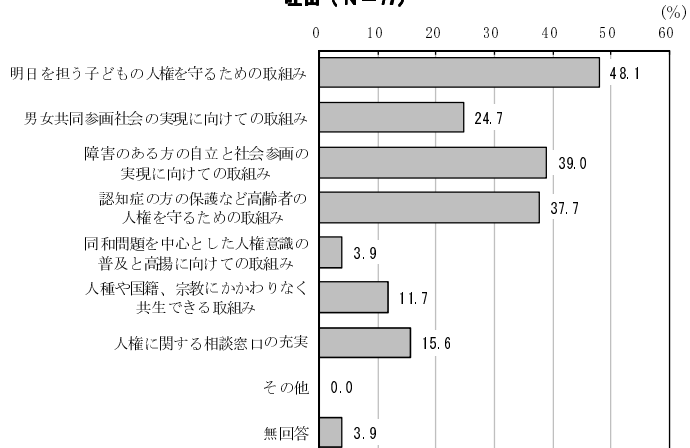
下永 (N=58)



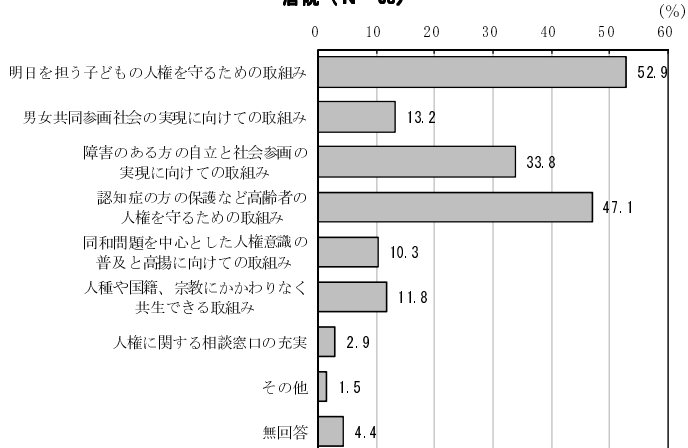
梅戸 (N=25)



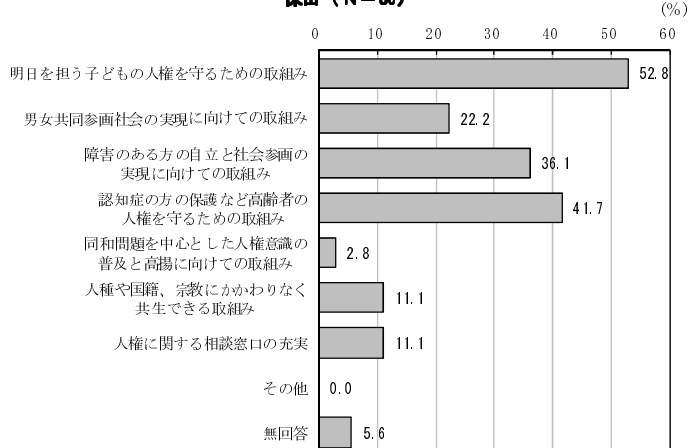
吐田 (N=77)



唐院 (N=68)



保田 (N=36)



(6) 産業振興やまちの活性化に必要なこと

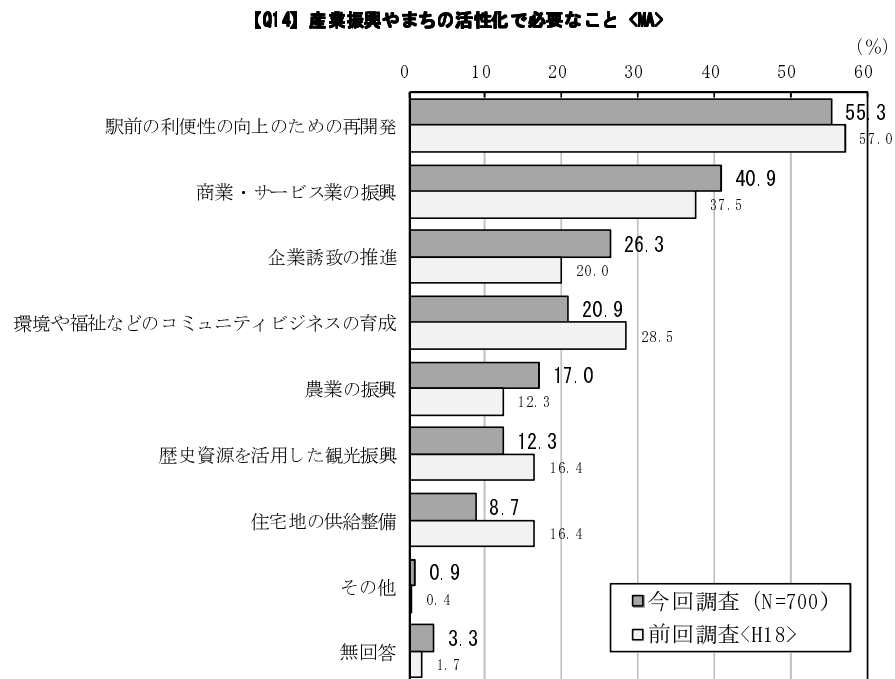
問 14 産業振興やまちの活性化を図るために、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。
《2つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

最も多いのは「駅前の利便性の向上のための再開発」55.3%、次いで「商業・サービス業の振興」40.9%、「企業誘致の推進」26.3%、「環境や福祉などのコミュニティビジネスの育成」20.9%などの順となっています。

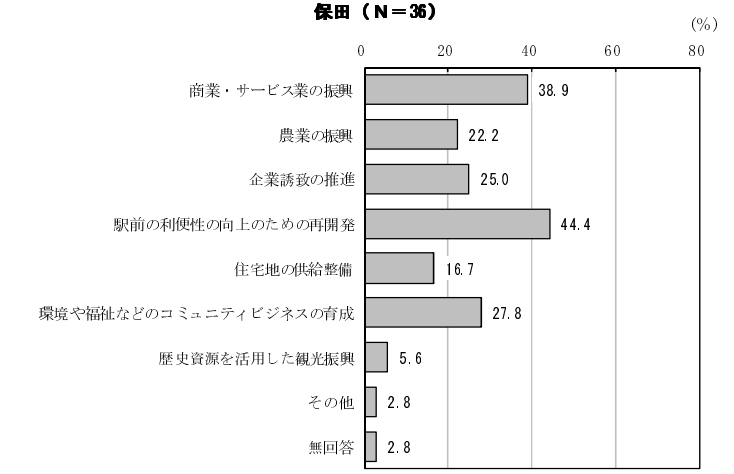
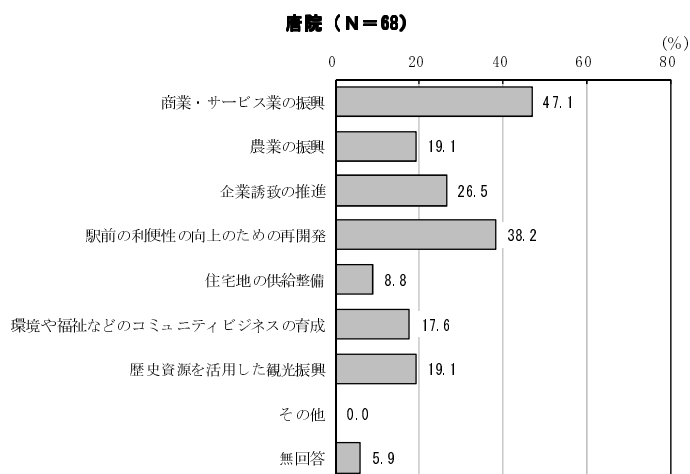
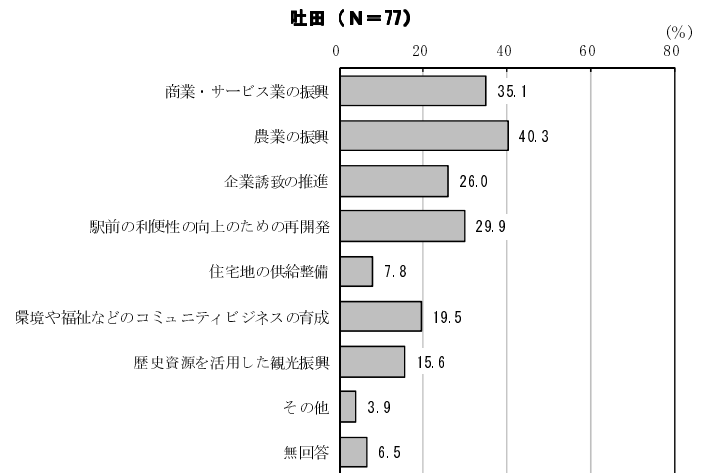
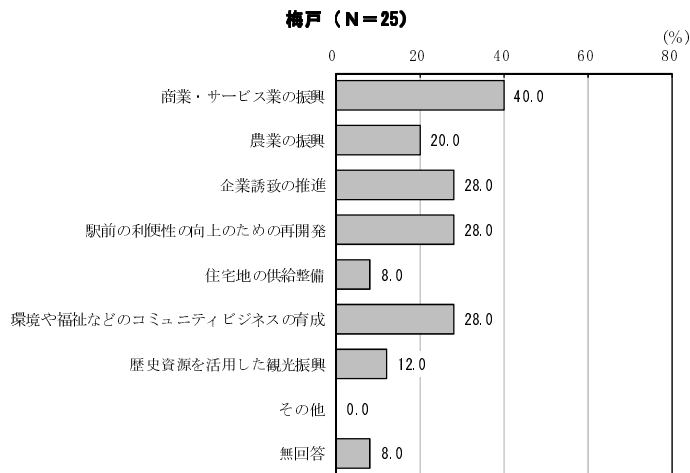
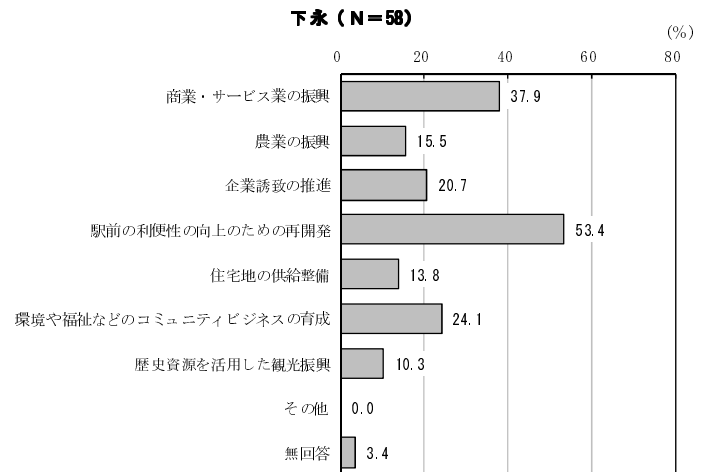
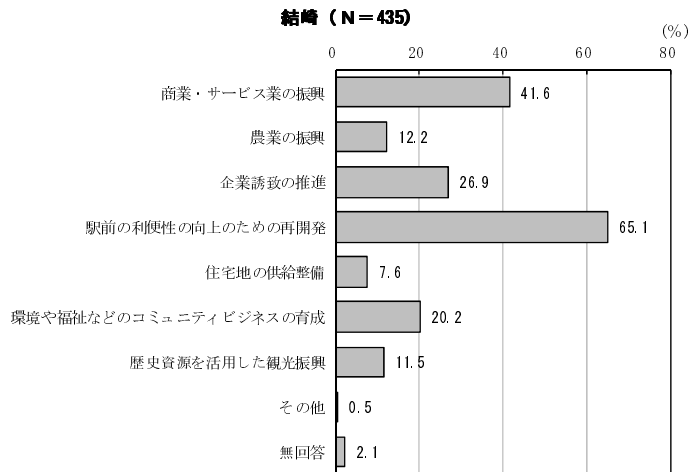
前回調査と比較すると、上位2項目は同じ順ですが、「企業誘致の推進」が前回より6.3ポイント増加して3位に上昇しています。



【居住地区別】

居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
駅前の利便性の向上	—	梅戸、吐田、唐院、保田
農業の振興	吐田	—



(7) 行財政改革の推進で必要なこと

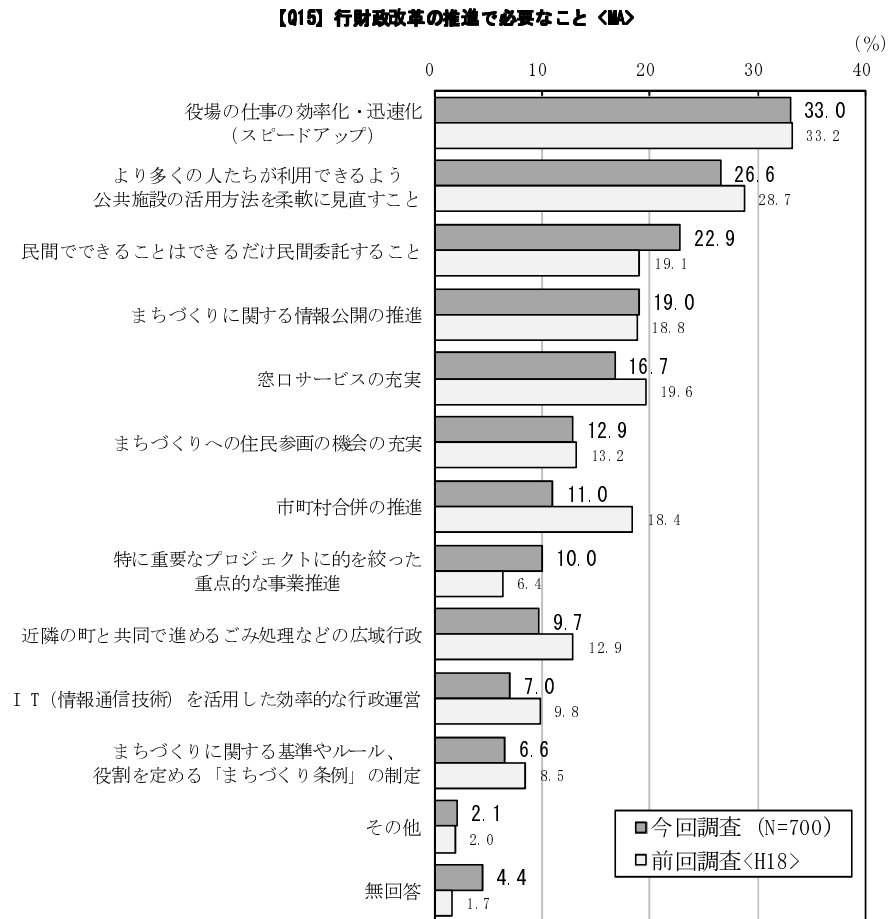
問 15 行財政改革を推進するために、とくに必要と思われることは次のうちどれですか。《2つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「役場の仕事の効率化・迅速化（スピードアップ）」が最も多く 33.0%、次いで「より多くの人たちが利用できるよう公共施設の活用方法を柔軟に見直すこと」26.6%、「民間でできることはできるだけ民間委託すること」22.9%などの順となっています。

前回調査と比較すると、上位2項目は同じ順ですが、「民間でできることはできるだけ民間委託すること」が前回より 3.8 ポイント増加して3位に上昇しています。

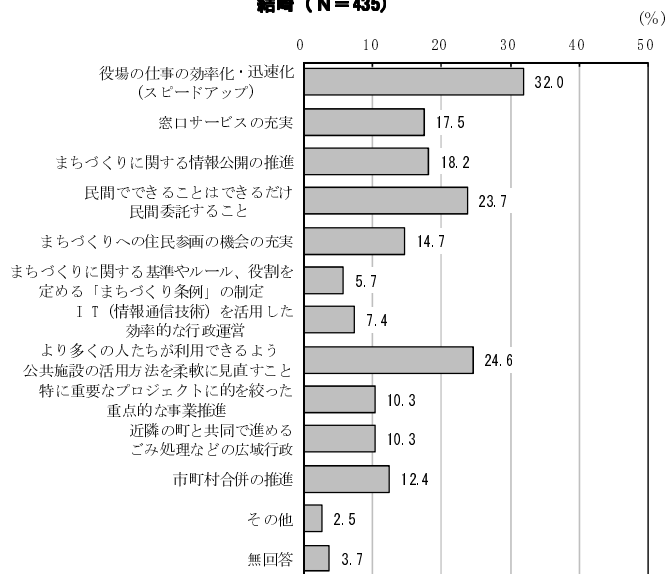


【居住地区別】

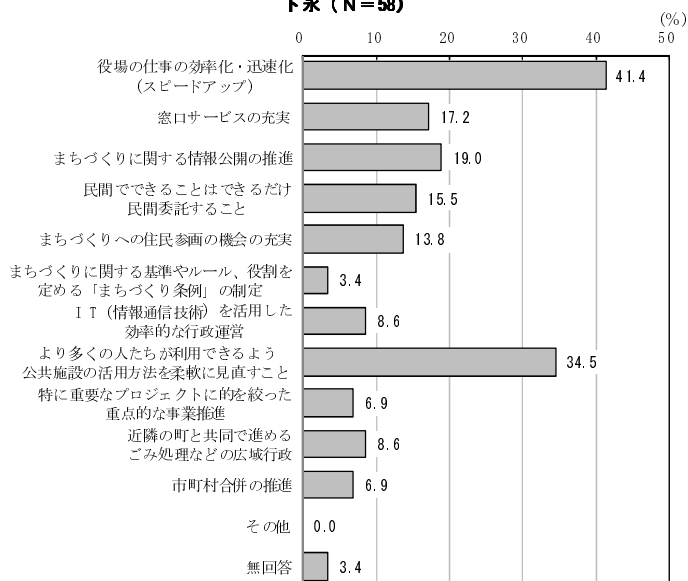
居住地区別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
役場の仕事の効率化・迅速化	—	梅戸
公共施設の活用方法	—	梅戸

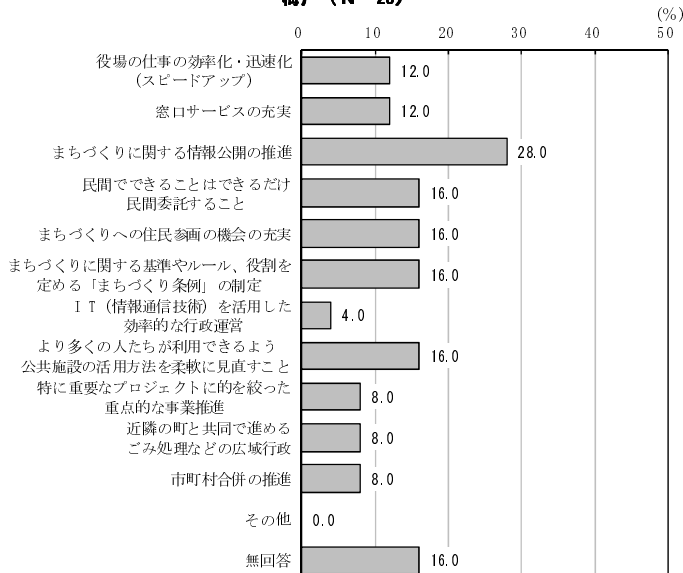
結崎 (N=435)



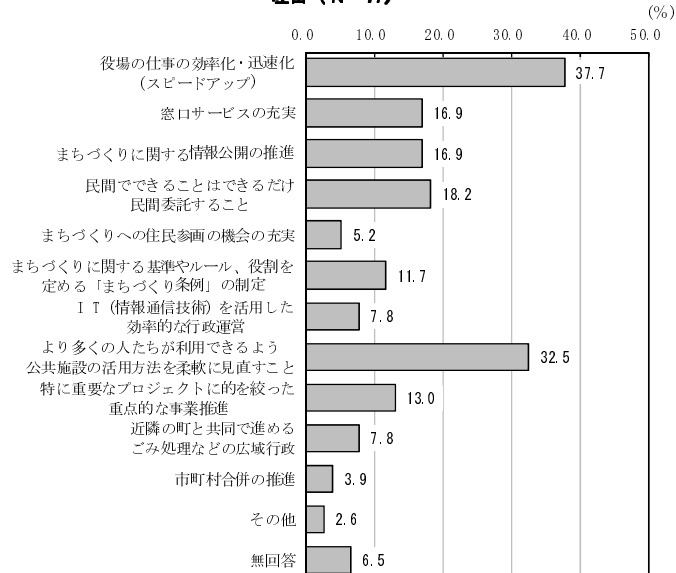
下永 (N=58)



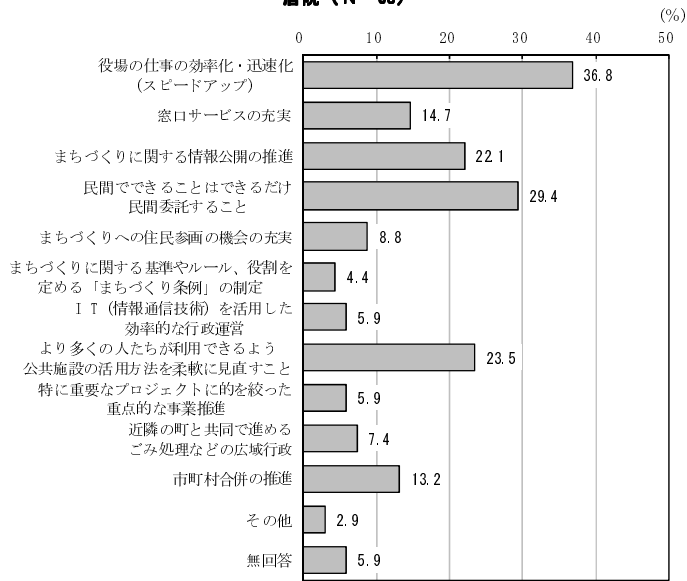
梅戸 (N=25)



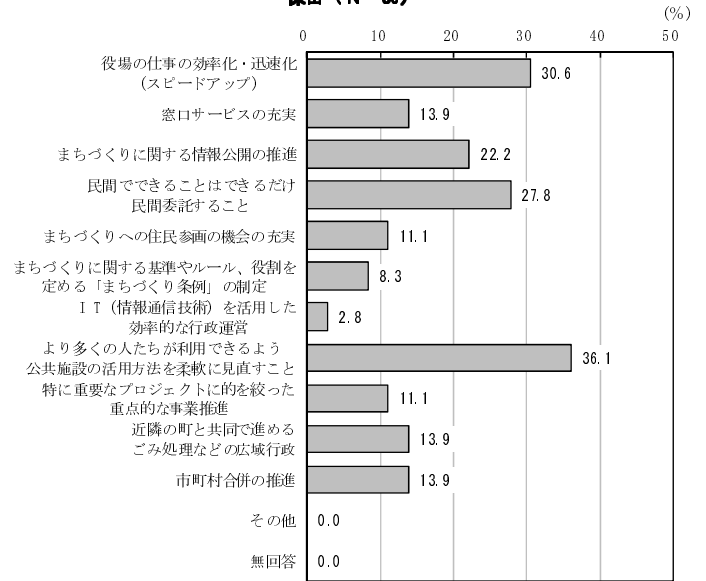
吐田 (N=77)



唐院 (N=68)



保田 (N=36)



5 住民参加について

(1) 住みよいまちにするためにできること

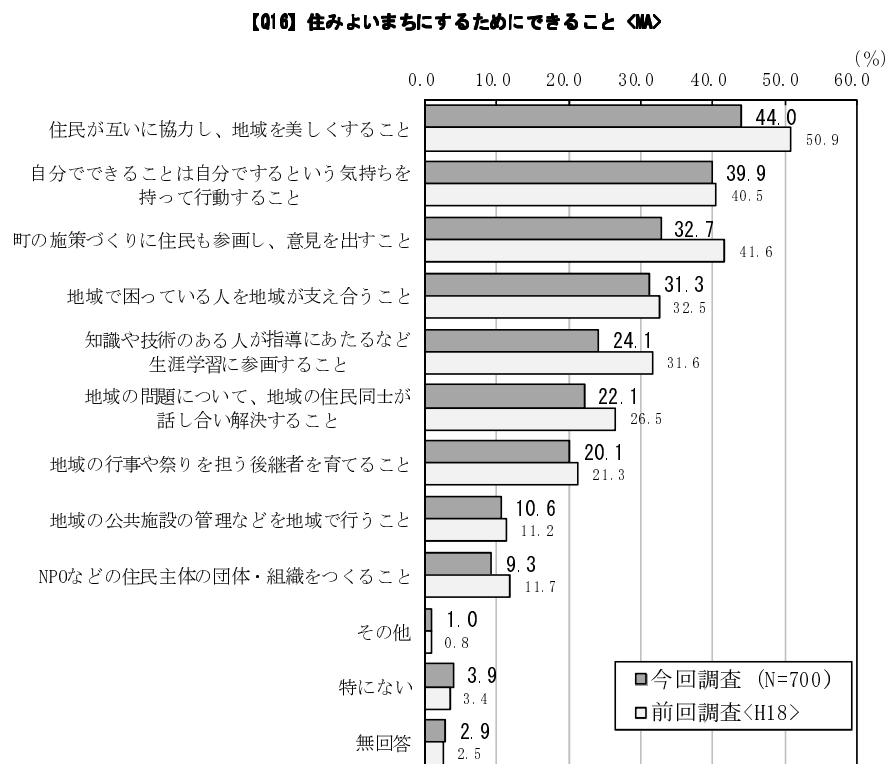
問 16 住みよいまちづくりのためには、住民の皆さんの主体的な活動が必要です。川西町をもっと住みよいまちにするために、住民の皆さんができることはどのようなことだと思いますか。《3つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「住民が互いに協力し、地域を美しくすること」が最も多く 44.0%、次いで「自分でできることは自分ですするという気持ちを持って行動すること」39.9%、「町の施策づくりに住民も参画し、意見を出すこと」32.7%、「地域で困っている人を地域が支え合うこと」31.3%などの順となっています。

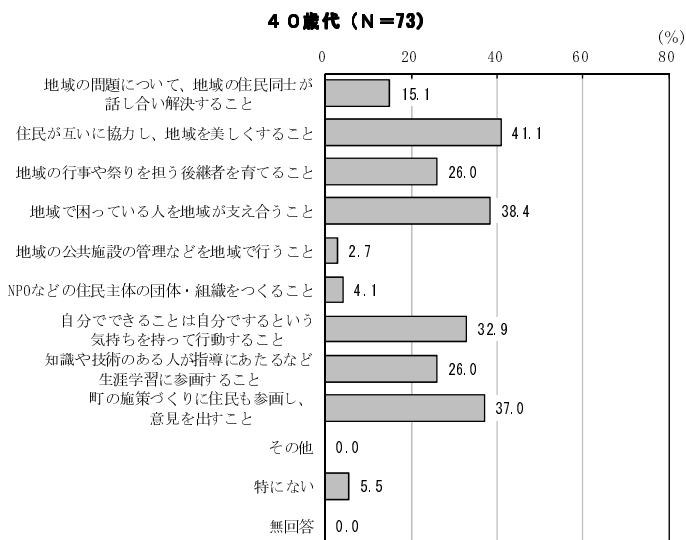
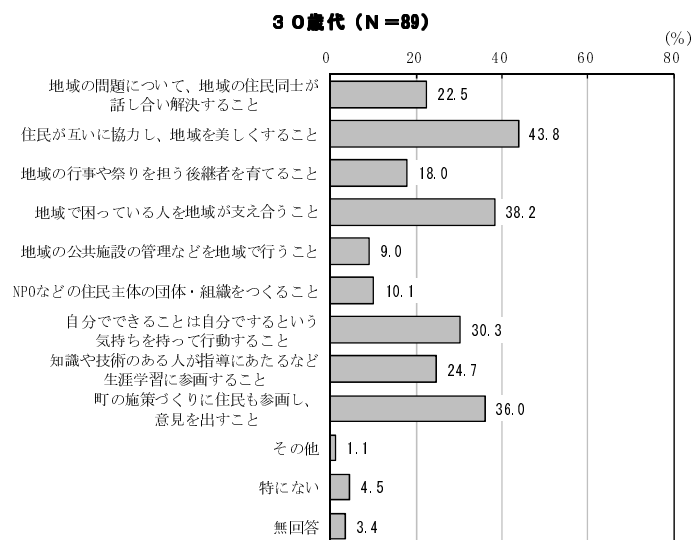
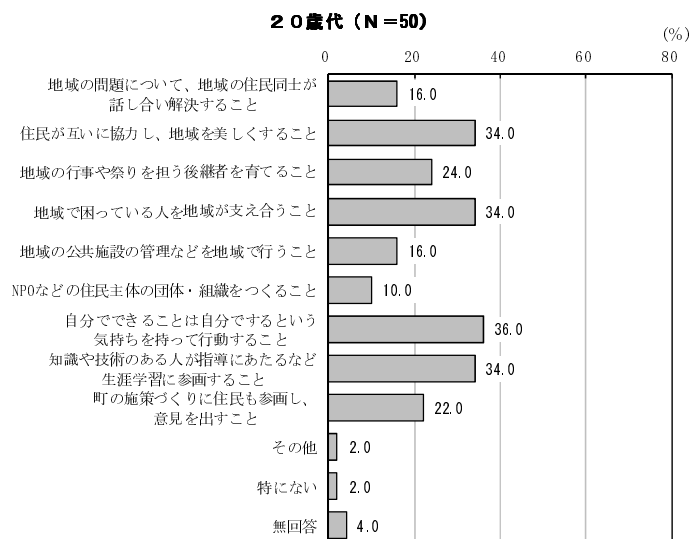
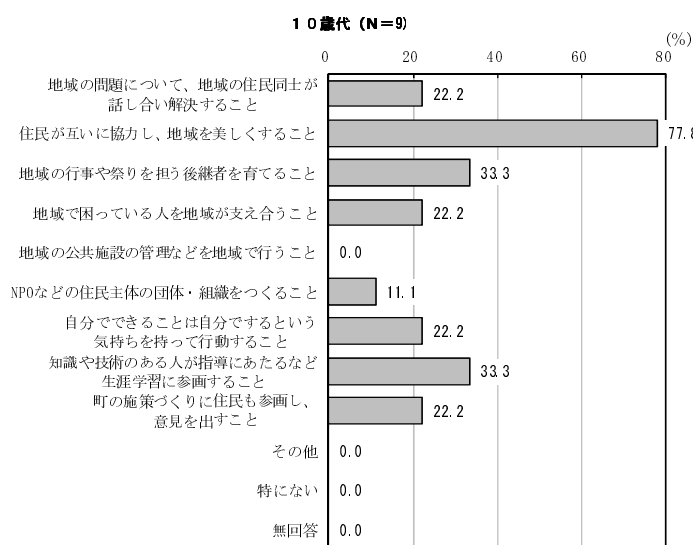
前回調査と比較すると、前回 2 位の「町の施策づくりに住民も参画し、意見を出すこと」への回答が 8.9 ポイント減少し 3 位となっています。



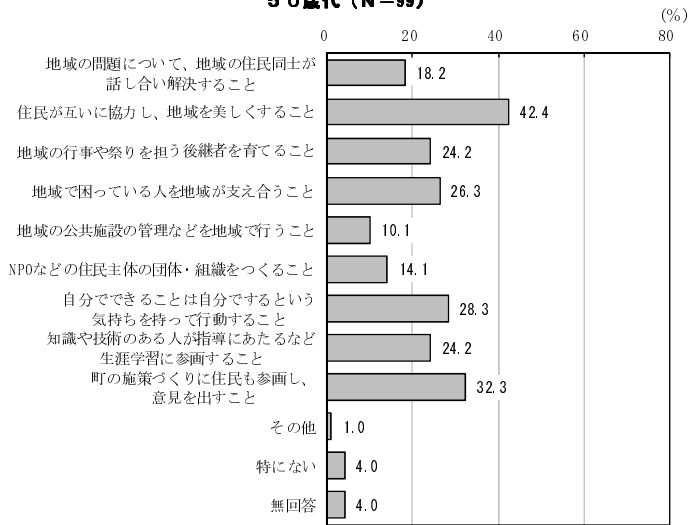
【年齢別】

年齢別にみると次のような違いがあります。

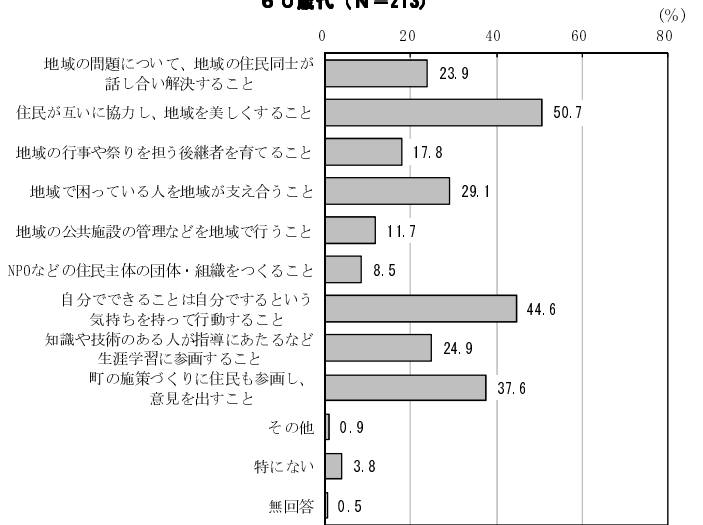
項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
住民が互いに協力	10歳代	20歳代
自分でできることは自分でする	70歳以上	10歳代、50歳代
町の施策づくり	—	10歳代、20歳代



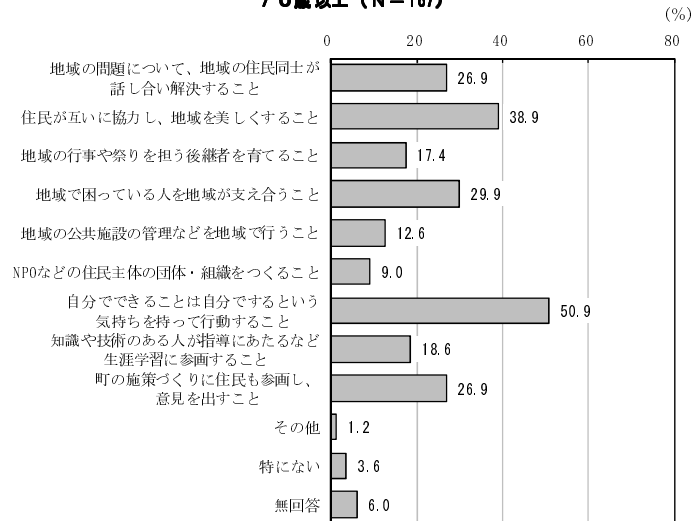
50歳代 (N=99)



60歳代 (N=213)



70歳以上 (N=167)



(2) 参加できること

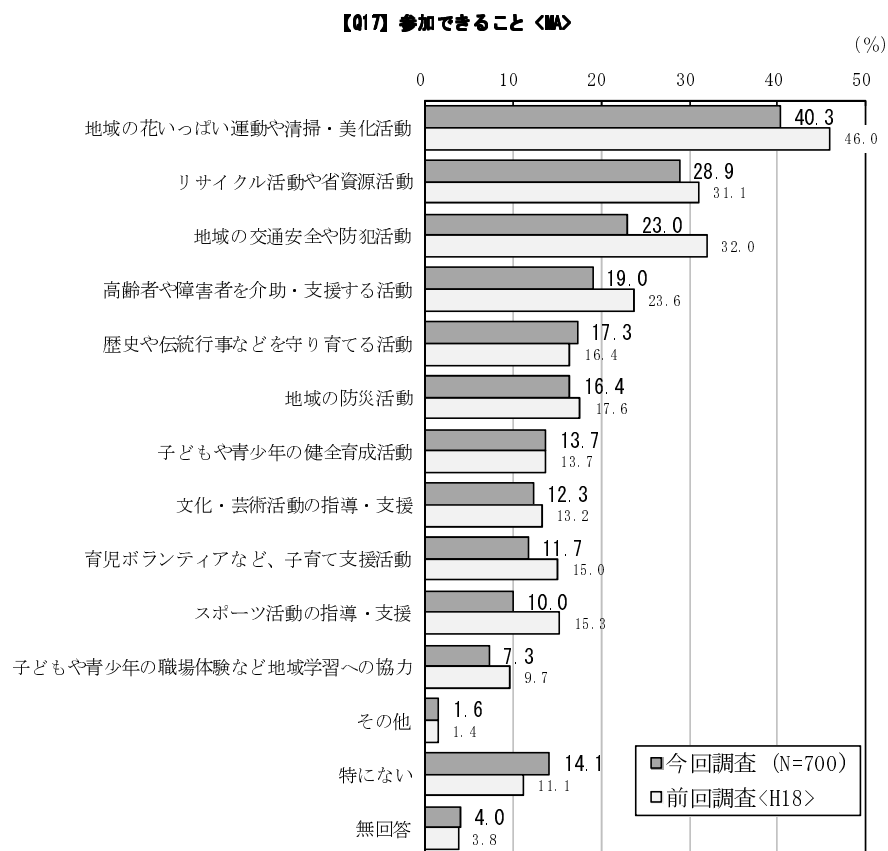
問 17 あなたが『何かに参加する』とすれば、どのようなことができますか。《3つまで選んでください》

全体数=700

【全体・前回調査との比較】

「地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動」が最も多く 40.3%、次いで「リサイクル活動や省資源活動」28.9%、「地域の交通安全や防犯活動」23.0%などの順となっています。

前回調査と比較すると、ほぼ同様の傾向でした。

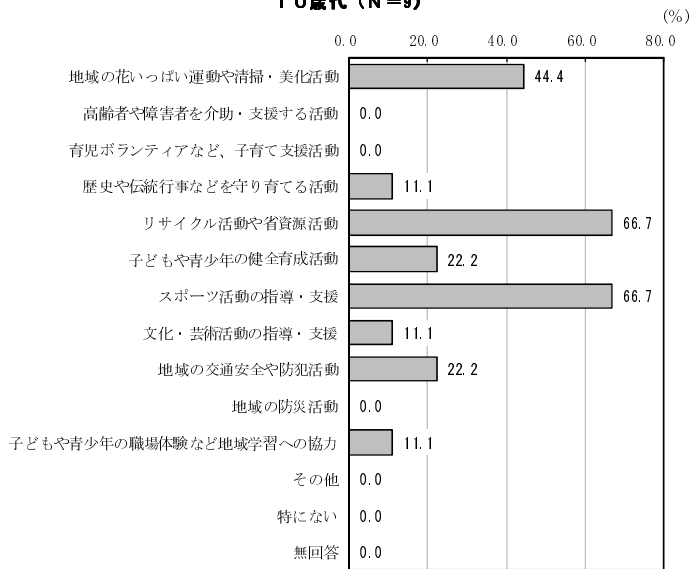


【年齢別】

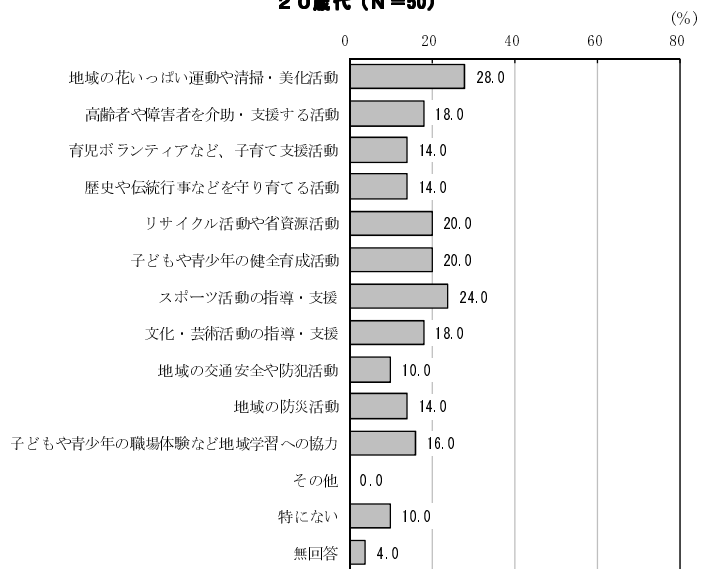
年齢別にみると次のような違いがあります。

項目	10ポイント以上全体平均を上回っている地域	10ポイント以上全体平均を下回っている地域
地域の花いっぱい運動や清掃・美化活動	—	20歳代
リサイクル活動や省資源活動	10歳代	70歳以上
地域の交通安全や防犯活動	—	20歳代

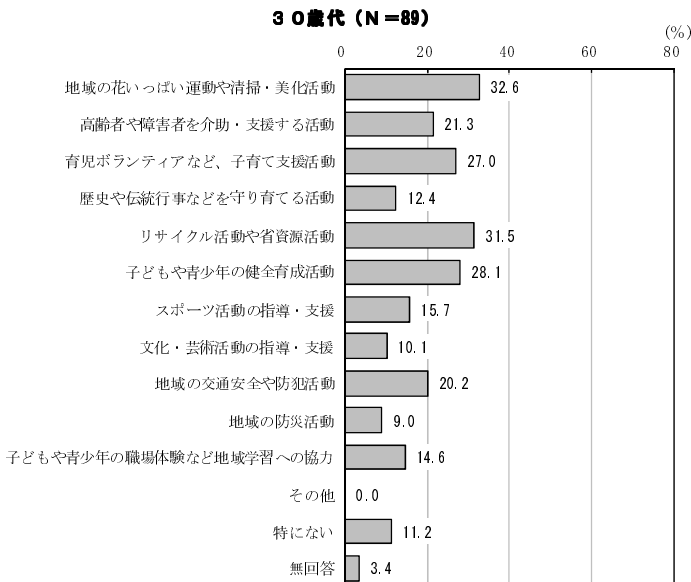
10歳代 (N=9)



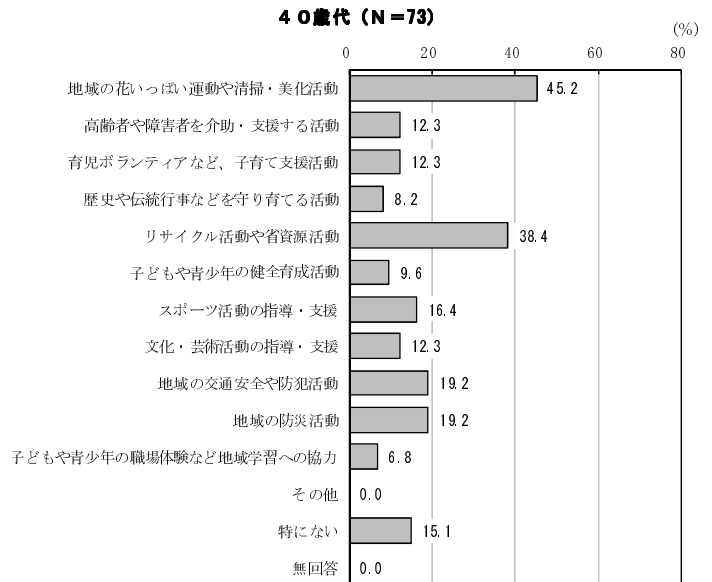
20歳代 (N=50)



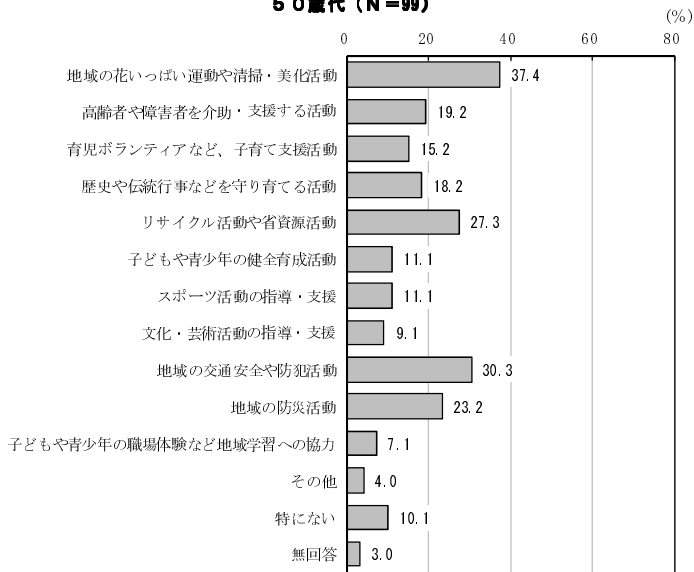
30歳代 (N=89)



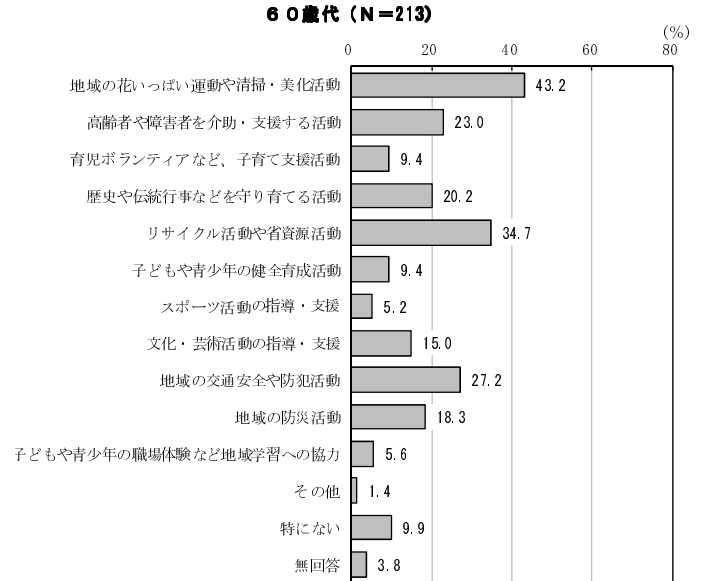
40歳代 (N=73)



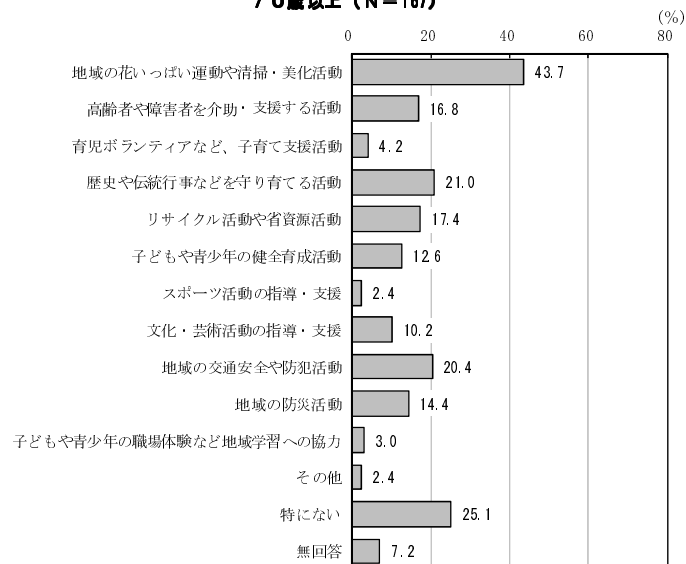
50歳代 (N=99)



60歳代 (N=213)



70歳以上 (N=167)



6 地域公共交通のあり方について

(1) 一週間のうち何日外出するか

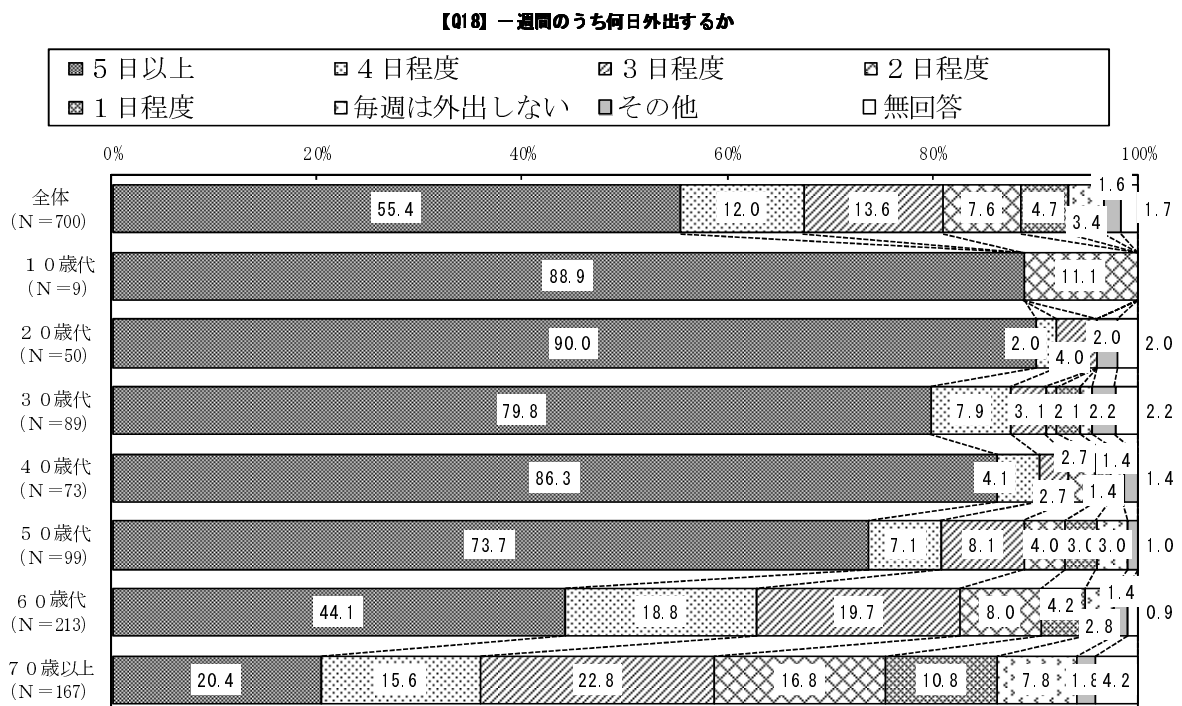
問 18 あなたは一週間のおおよそ何日外出（通勤・通学含む）しますか。下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・年齢別】

「5日以上」が最も多く55.4%、次いで「3日程度」13.6%、「4日程度」12.0%などの順となっています。

年齢別にみると「5日以上」が10歳代～40歳代で約80%以上をしめています。



(2) 外出時に利用できる自家用の交通手段

問 19 あなたが外出時（通勤・通学含む）に利用できる自家用の主な交通手段について、下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

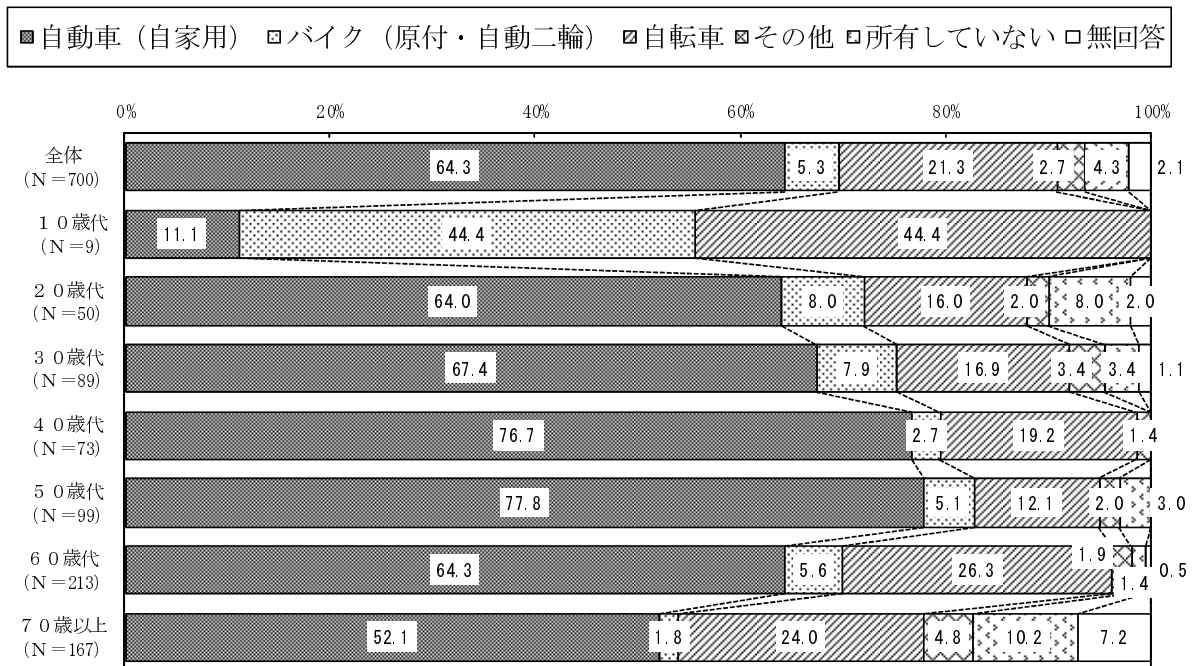
【全体・年齢別】

「自動車（自家用）」が最も多く64.3%、次いで「自転車」21.3%、「バイク（原付・自動二輪）」5.3%の順となっています。

一方、「所有していない」は4.3%となっています。

年齢別にみると「自動車（自家用）」が40歳代～50歳代で約80%をしめ、10歳代では「バイク（原付・自動二輪）」と「自転車」40%以上となっています。

【Q19】外出時に利用できる自家用の交通手段



(3) 外出の目的

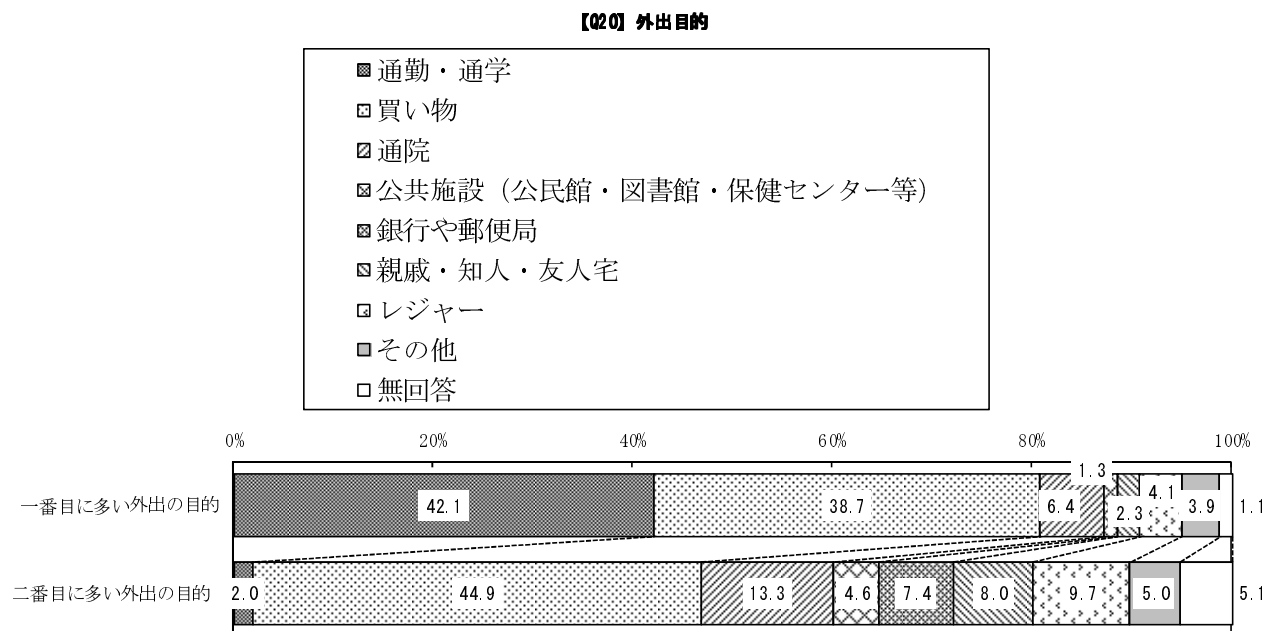
問 20 あなたの外出目的についてお答えください。下記のうちから該当する番号にそれぞれ1つずつ○をつけてください。

全体数=700

【全体】

一番目に多い外出の目的は、「通勤・通学」が最も多く42.1%、次いで「買い物」38.7%などの順となっています。

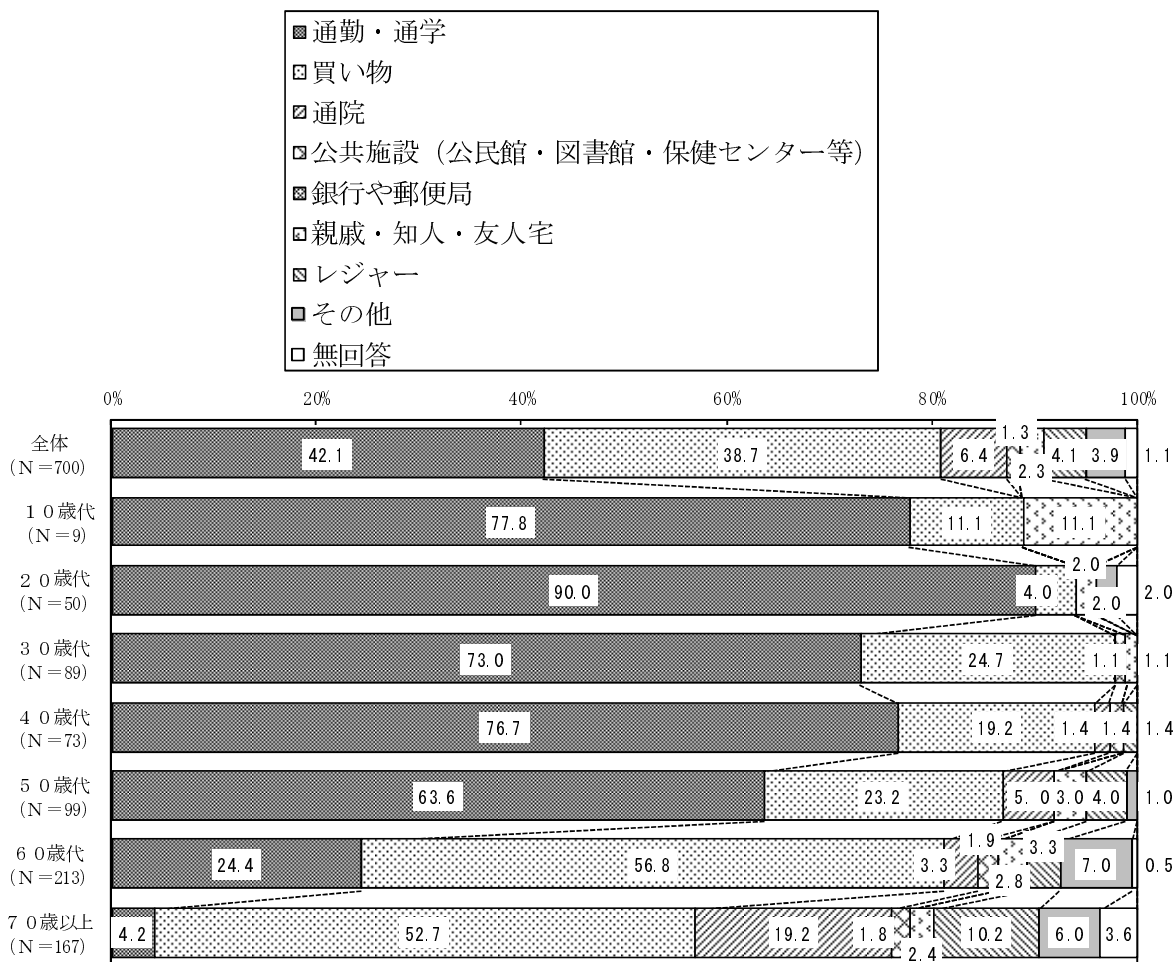
二番目に多い外出の目的は、「買い物」が最も多く44.9%、次いで「通院」13.3%などの順となっています。



【年齢別】

一番目に多い外出目的を年齢別にみると「通勤・通学」が10歳代～40歳代で70%以上をしめ、「買い物」は60歳以上で50%となっています。

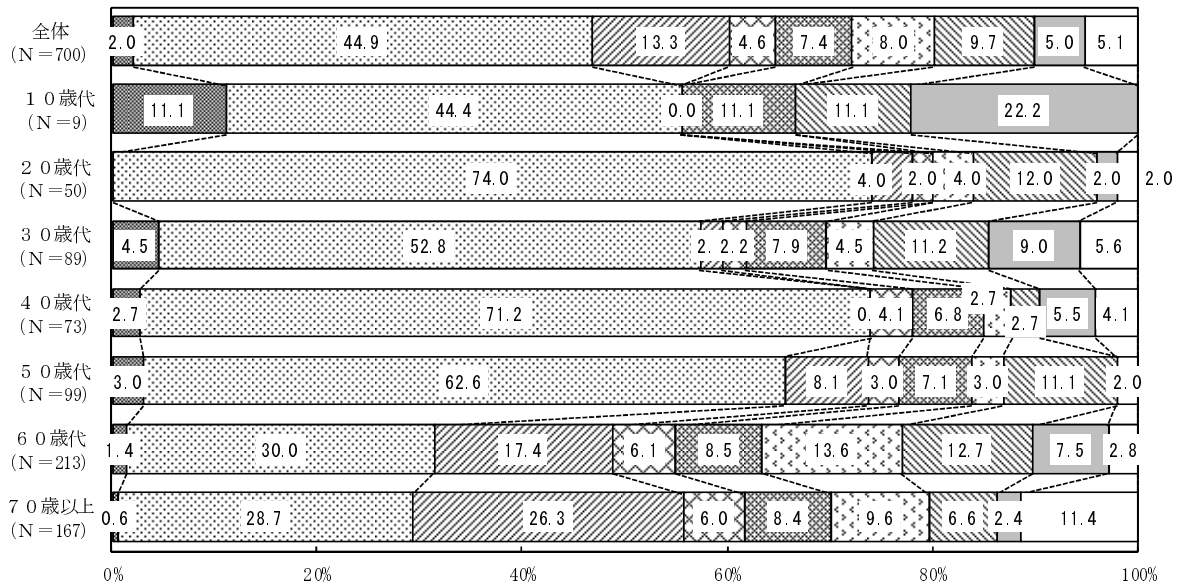
一番目に多い外出目的



二番目に多い外出目的を年齢別にみると「買い物」が20歳代~50歳代で50%以上をしめ、「通院」は70歳以上で20%以上となっています。

二番目に多い外出目的

- 通勤・通学
- 買い物
- ▨ 通院
- ▩ 公共施設（公民館・図書館・保健センター等）
- ▧ 銀行や郵便局
- ▦ 親戚・知人・友人宅
- ▥ レジャー
- ▤ その他
- 無回答



(4) 外出の目的地

問 21 あなたの外出（通勤・通学含む）の目的地についてお答えください。下記のうちから該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

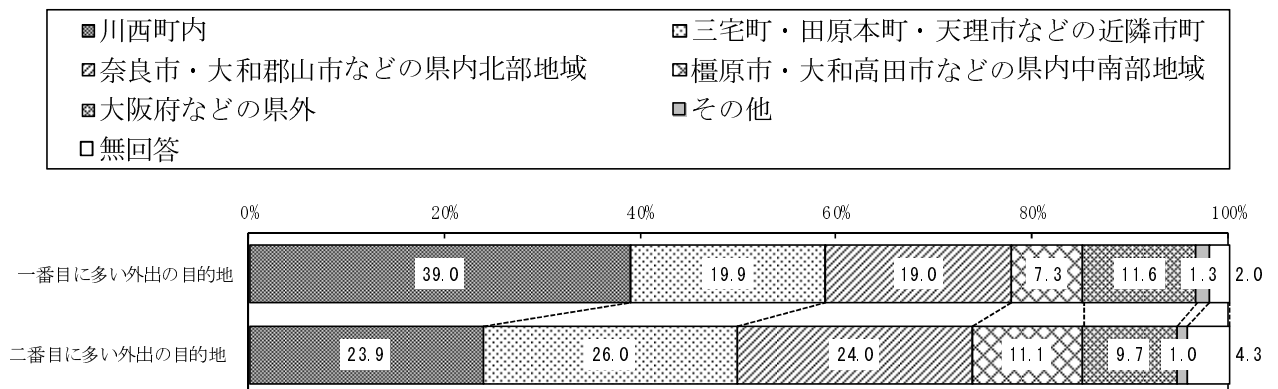
全体数=700

【全体】

一番目に多い外出の目的地は、「川西町内」が最も多く 39.0%、次いで「三宅町・田原本町・天理市などの近隣市町」19.9%、「奈良市・大和郡山市などの県内北部地域」19.0%などの順となっています。

二番目に多い外出の目的地は、「三宅町・田原本町・天理市などの近隣市町」が最も多く 26.0%、次いで「川西町内」23.9%、「奈良市・大和郡山市などの県内北部地域」24.0%などの順となっています。

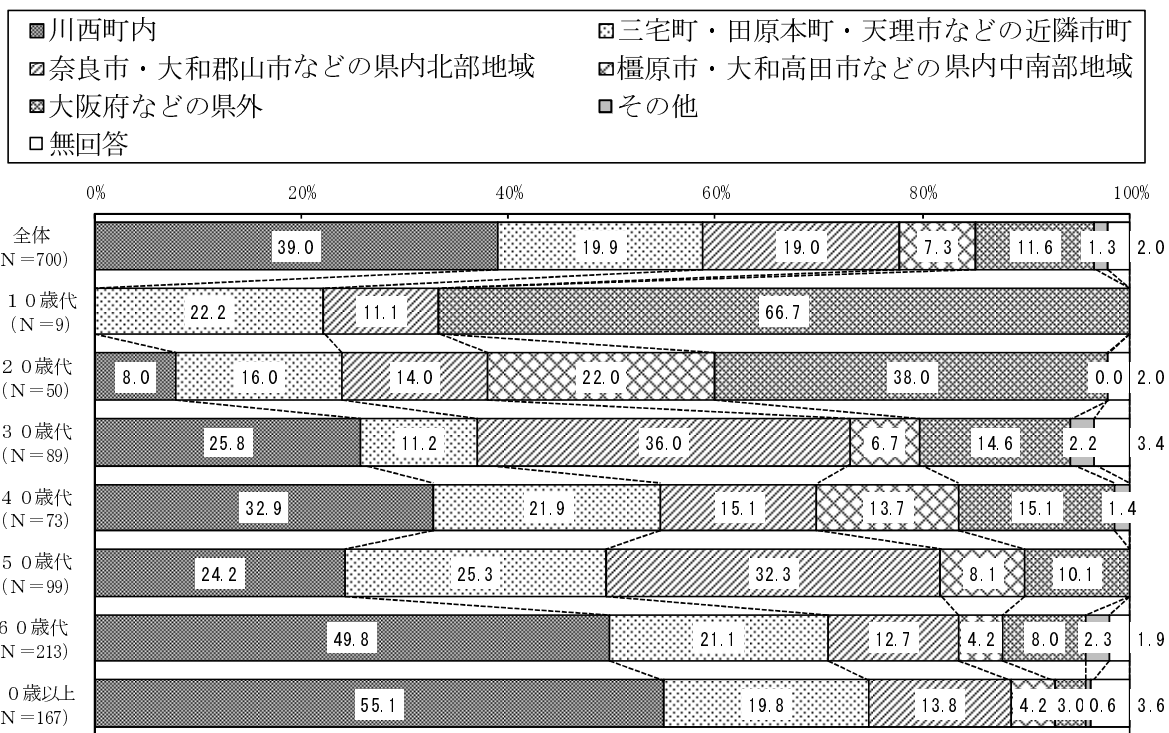
【Q21】外出の目的地



【年齢別】

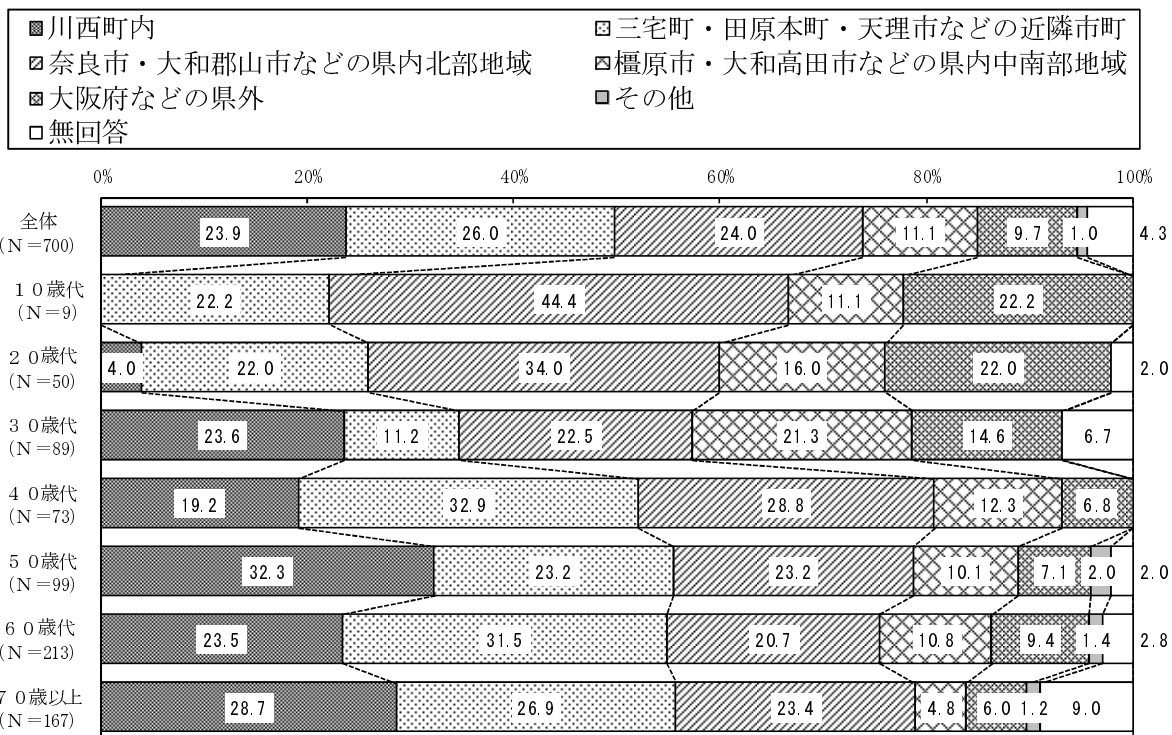
一番目に多い外出の目的地を年齢別にみると「川西町」が60歳代以上で約50%をしめ、「奈良市・大和郡山市などの県内北部」は30歳代で30%台、「橿原市・大和高田市などの県中南部地域」は20歳代で20%台、「大阪府などの県外」は10歳代で60%台となっています。

一番目に多い外出の目的地



二番目に多い外出の目的地を年齢別にみると、10歳代~20歳代で「奈良市・大和郡山市などの県内北部」約40%、「大阪府などの県外」で約20%台となっています。

二番目に多い外出の目的地



(5) 外出の交通手段

問 22 あなたの外出（通勤・通学含む）の交通手段についてお答えください。下記のうちから該当する番号に、それぞれ1つずつ○をつけてください。

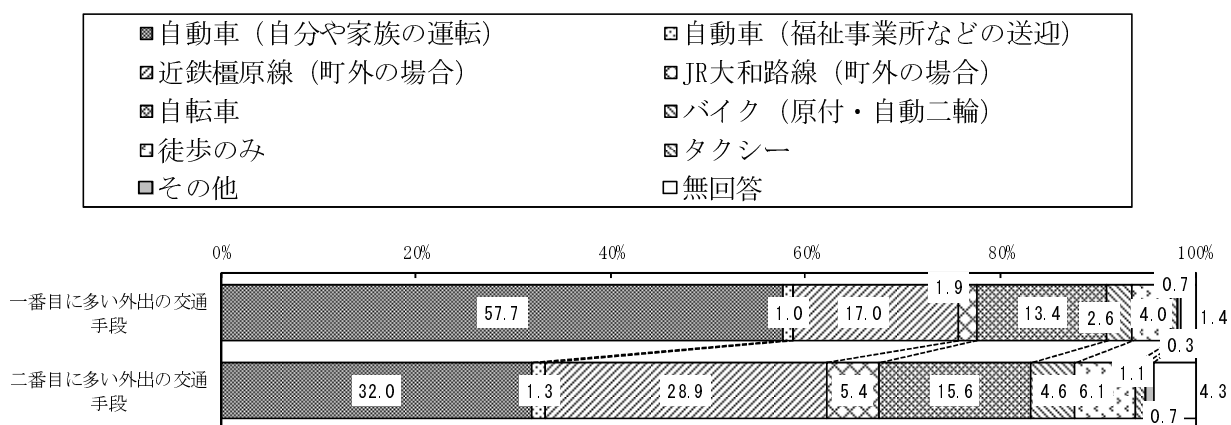
全体数=700

【全体】

一番目に多い外出の交通手段は、「自動車（自分や家族の運転）」が最も多く 57.7%、次いで「近鉄橿原線（町外の場合）」17.0%、「自転車」13.4%などの順となっています。

二番目に多い外出の交通手段は、「自動車（自分や家族の運転）」が最も多く 32.0%、次いで「近鉄橿原線（町外の場合）」28.9%、「自転車」15.6%などの順となっています。

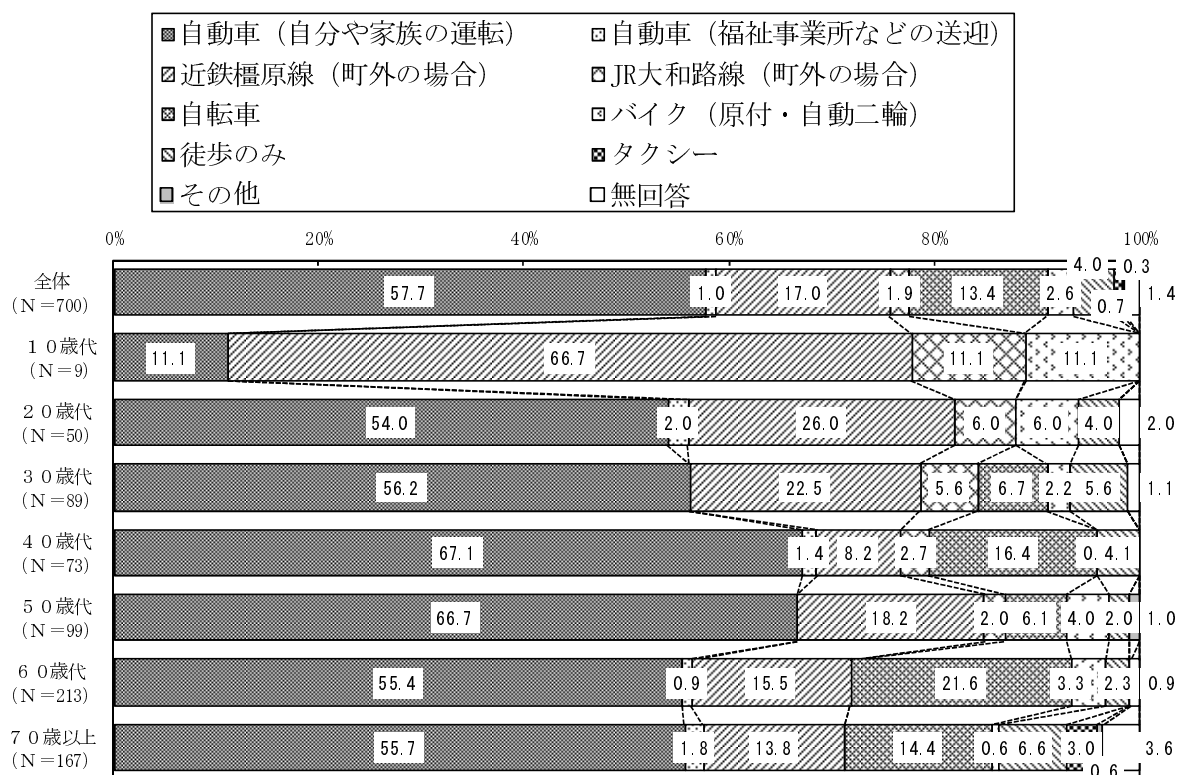
【Q22】 外出の交通手段



【年齢別】

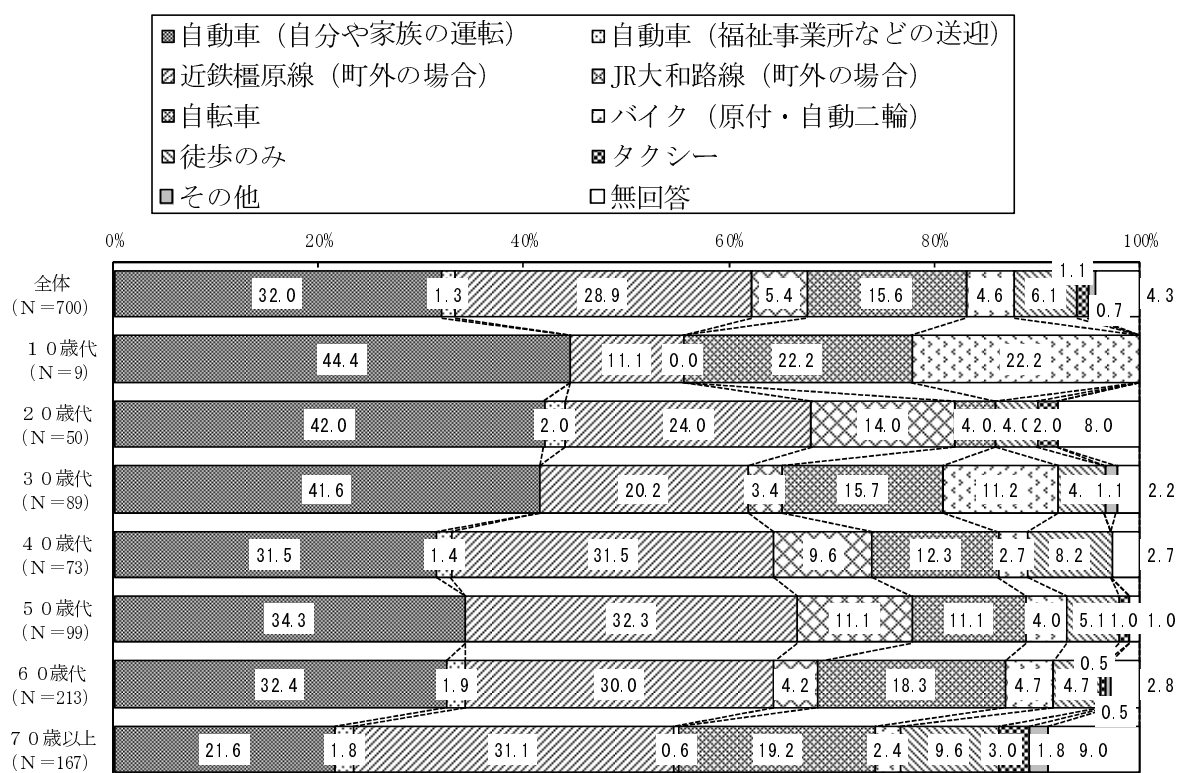
一番目に多い外出の交通手段を年齢別にみると、「近鉄橿原線（町外の場合）」が10歳代で60%以上をしめています。

一番目に多い外出の交通手段



二番目に多い外出の交通手段を年齢別にみると、「バイク（原付・自動二輪）」が10歳代で20%以上をしめています。

二番目に多い外出の交通手段



(6) 川西町内の公共交通のあり方について

問 23 川西町内の公共交通のあり方について、あなたはどのようにお考えですか。
 下記のうちから該当する番号に1つだけ○をつけてください。

全体数=700

【全体・年齢別】

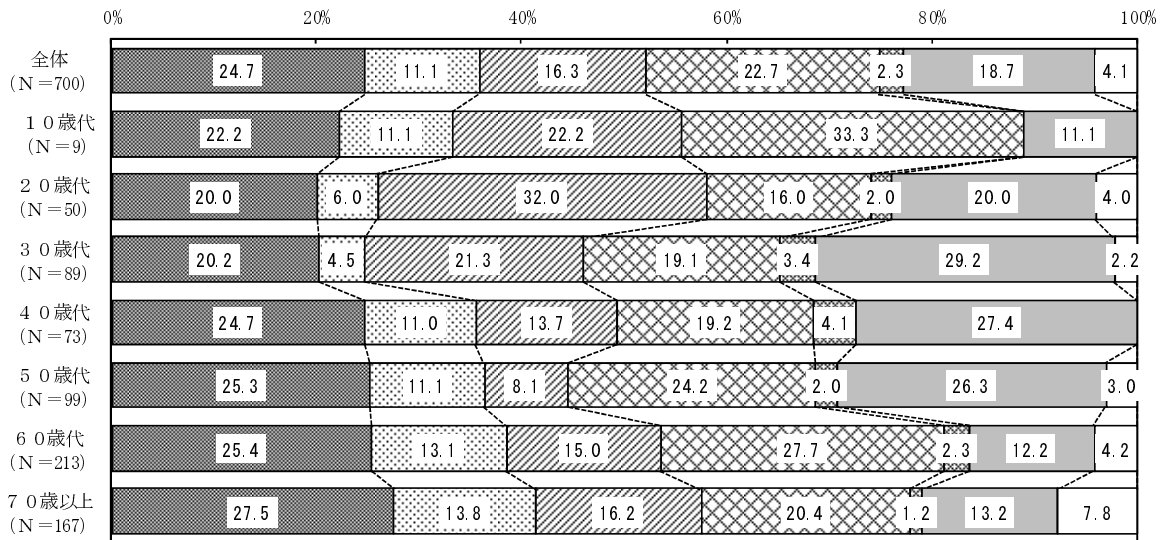
「町内を循環する町営のコミュニティバス（有料）があって欲しい」24.7%、「町内での移動に利用できるデマンドタクシー（有料）があって欲しい」11.1%、「民間の路線バス乗り入れを促進すべき」16.3%となっています。

一方、「公共交通は狭い川西町では必要ない」は22.7%となっています。

年齢別にみると「民間の路線バス乗り入れを促進すべき」が20歳代で30%以上をしめています。「公共交通は狭い川西町では必要ない」は10歳代で30%以上となっています。

【Q23】川西町内の交通のあり方

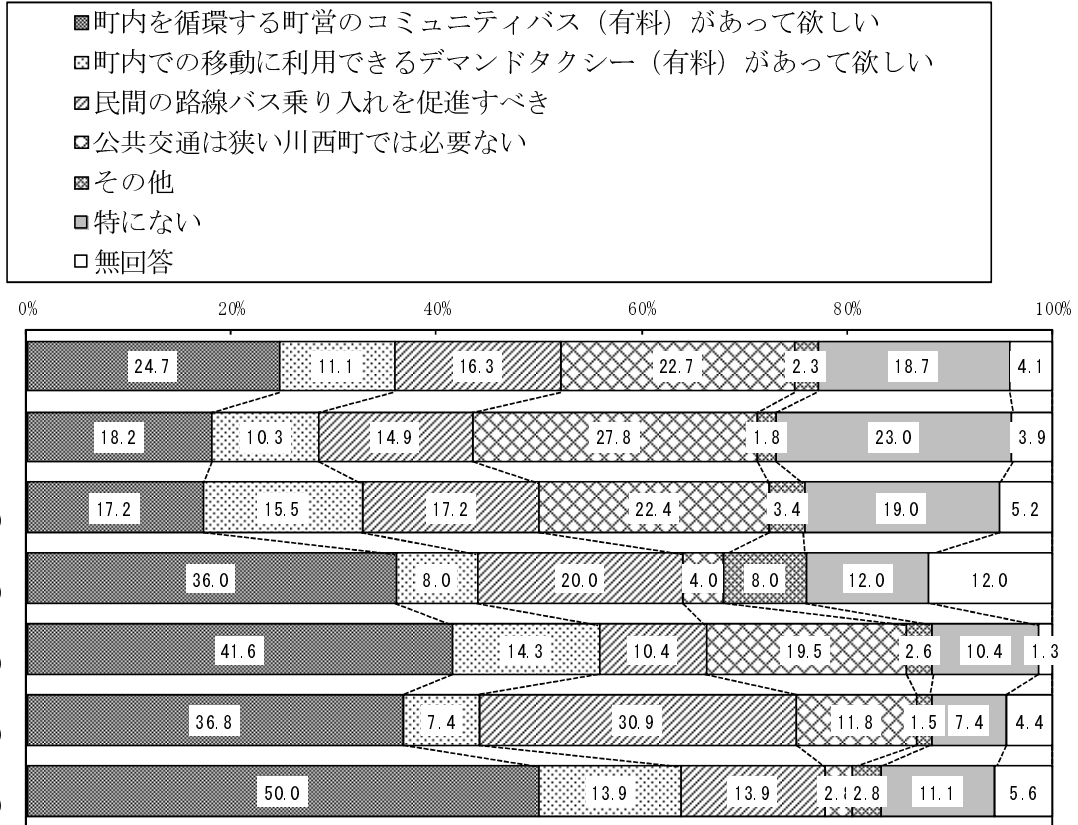
- 町内を循環する町営のコミュニティバス（有料）があって欲しい
- ▨町内での移動に利用できるデマンドタクシー（有料）があって欲しい
- ▩民間の路線バス乗り入れを促進すべき
- 公共交通は狭い川西町では必要ない
- ▩その他
- 特にない
- 無回答



【居住地区別】

居住地区別にみると「町内を循環する町営のコミュニティバス(有料)があって欲しい」が梅戸、吐田、唐院、保田で35%以上をしめ、「民間の路線バス乗り入れを促進すべき」は唐院で約30%となっています。

【Q23】川西町内の交通のあり方



(7) コミュニティバスなどの利用

問 24 問 23 で「1. コミュニティバスがあってもいい」「2. デマンドタクシーがあってもいい」のいずれかを選んだ方にお聞きします。あなたは町内を移動するためのコミュニティバスなどが、運行されれば利用されますか（有料）。下記のうちから該当する番号に1つだけ ○をつけてください。

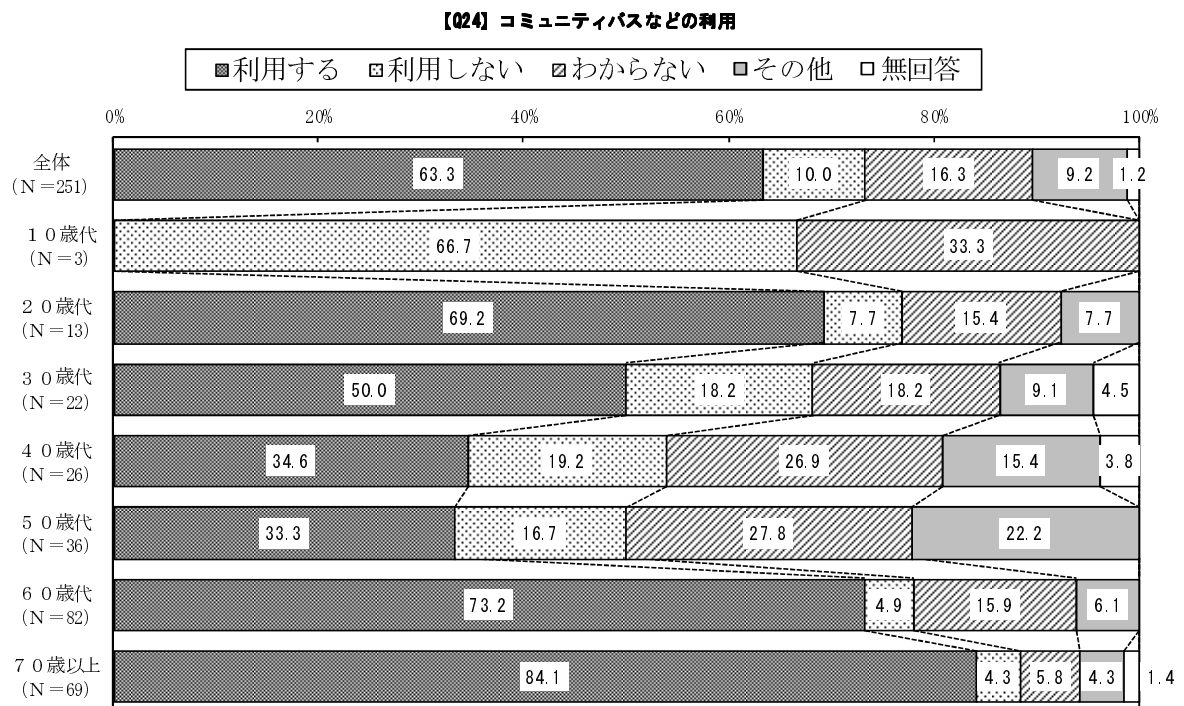
全体数=251

【全体・年齢別】

「利用する」63.3%、「利用しない」10.0%となっています。

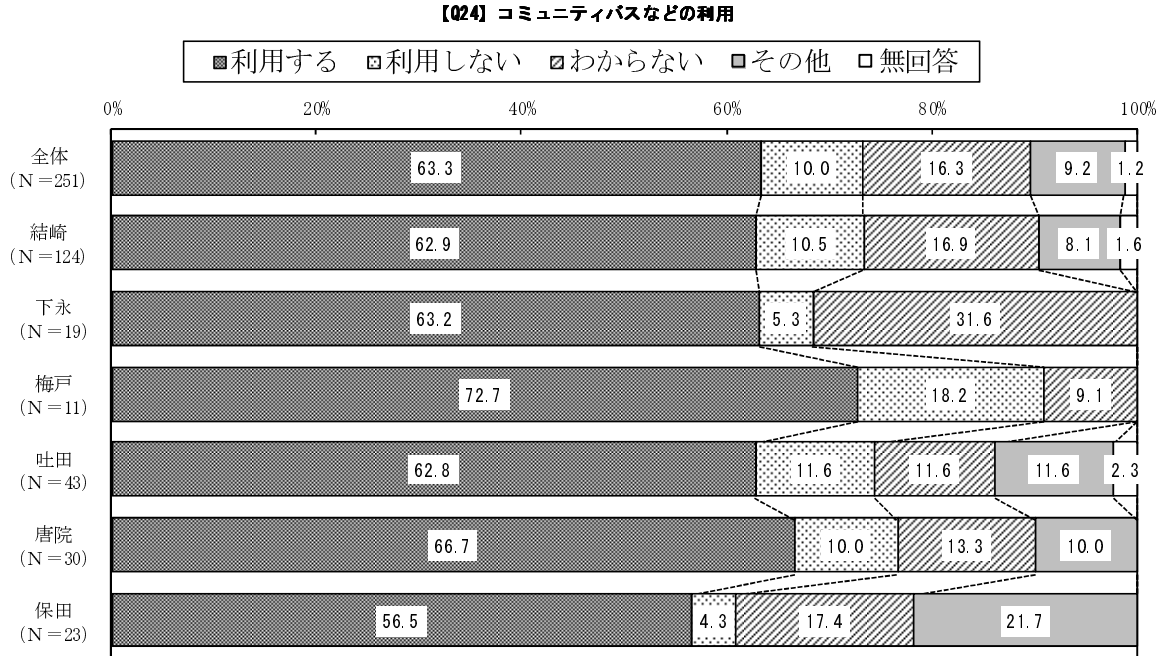
一方、「わからない」が16.3%となっています。

年齢別にみると「利用する」が60歳以上で70%以上をしめています。



【居住地区別】

居住地区別にみると「利用する」が梅戸で70%以上と平均を上回り、保田平均より低い結果となっています。



(8) 個人負担について

問 25 問 24で「1. 利用する」を選んだ方にお聞きします。コミュニティバスやデマンドタクシーを利用する場合、個人の負担が必要ですが、どの程度の料金であれば利用しますか。下記のうちから該当する番号にそれぞれ1つずつ〇をつけてください。

【参考：民間バスの初乗り運賃は 150 円程度、バス停間の距離は 500m 程度。3km 圏のタクシー料金は 1,200 円程度】

コミュニティバスの場合

全体数=159

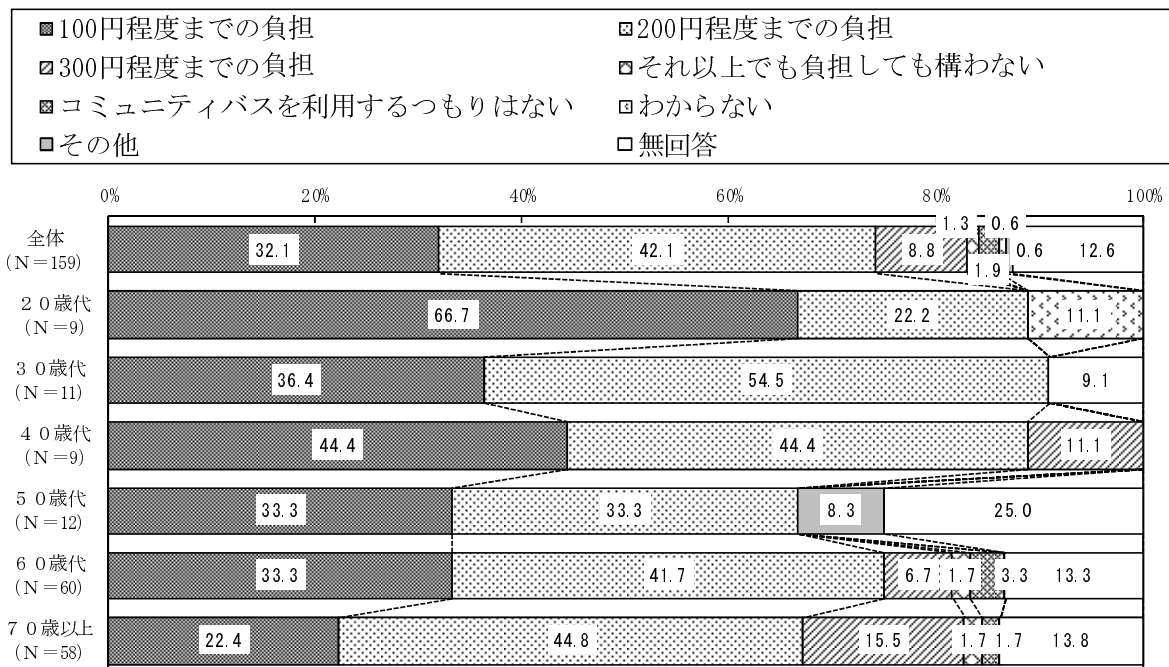
【全体・年齢別】

「200 円程度までの負担」が最も多く 42.1%、次いで「100 円程度までの負担」32.1%などの順となっています。

一方、「コミュニティバスを利用するつもりはない」は 1.9%となっています。

年齢別にみると「100 円程度までの負担」が 20 歳代で約 70%をしめています。

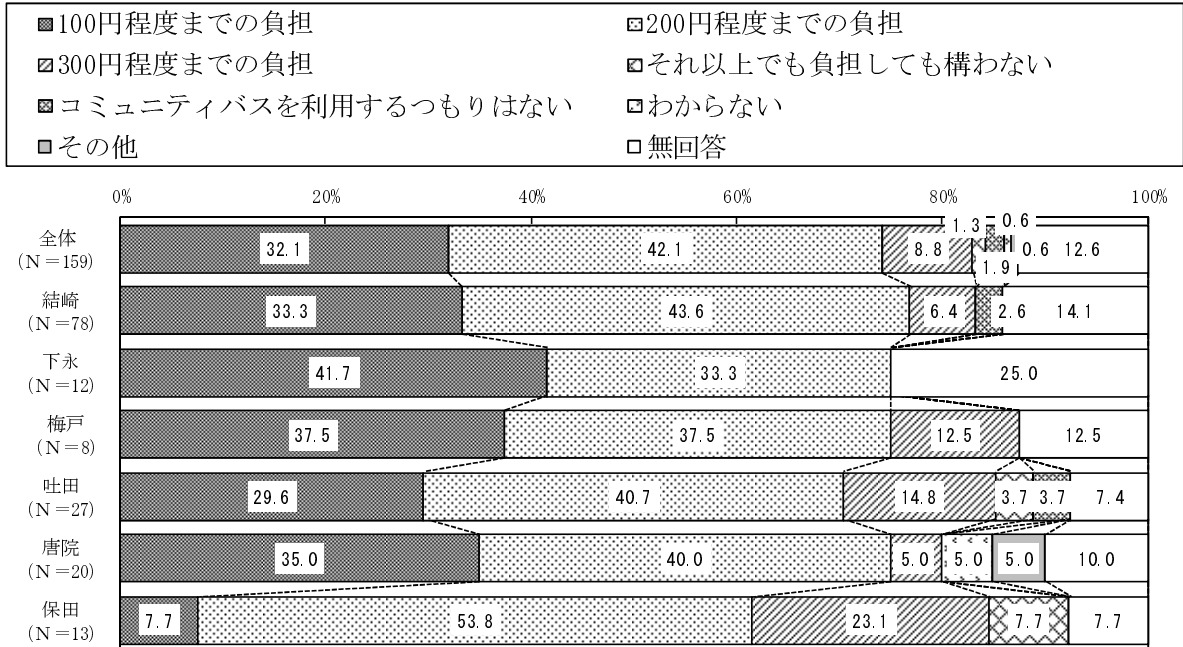
コミュニティバスの個人負担



【居住地区別】

居住地区別にみると保田で「200円程度までの負担」が50%以上、「300円程度までの負担」が20%以上をしめています。

コミュニティバスの個人負担



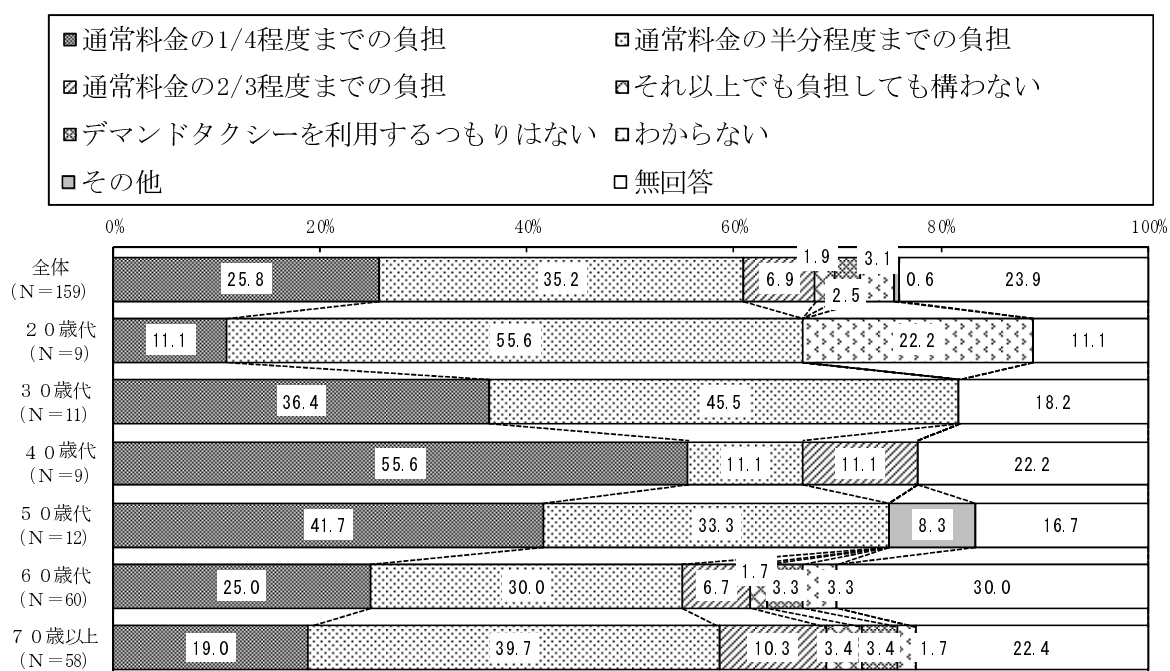
【全体・年齢別】

「通常料金の半分程度までの負担」が最も多く 35.2%、次いで「通常料金の 1/4 程度までの負担」 25.8%などの順となっています。

一方、「デマンドタクシーを利用するつもりはない」は 2.5%となっています。

年齢別にみると「通常料金の 1/4 程度までの負担」が 40 歳代～50 歳代で 40%以上をしめ、「通常料金の半分程度までの負担」が 20 歳代で 50%以上となっています。

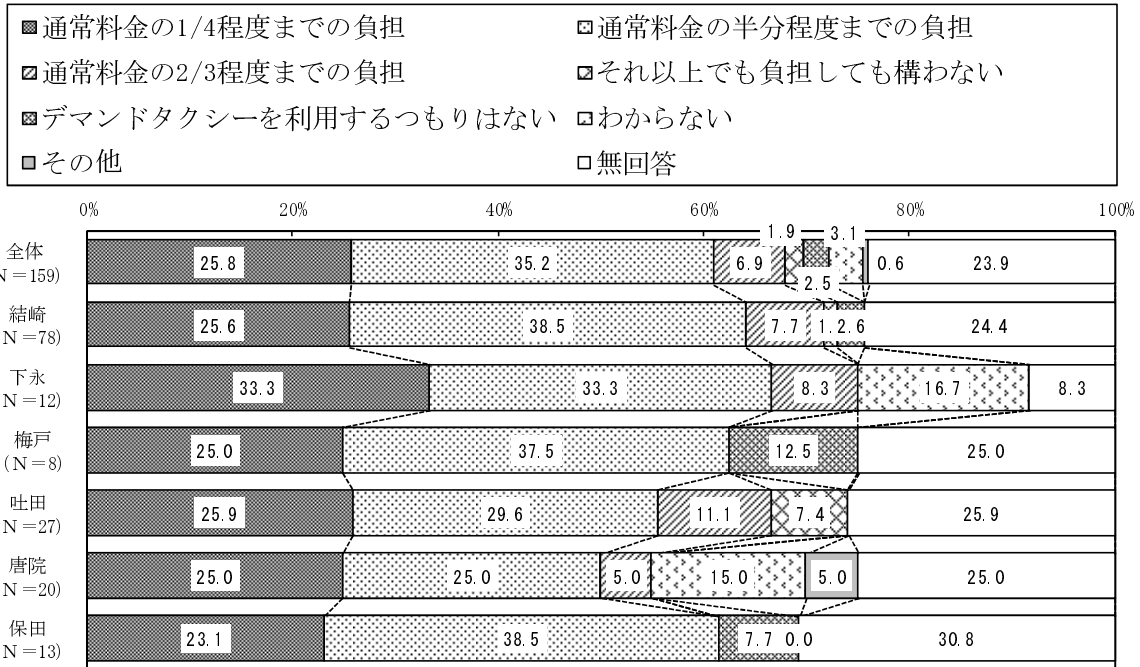
デマンドタクシーの個人負担



【居住地区別】

居住地区別にみると「通常料金の1/4程度までの負担」が下永で30%以上をしめ、「通常料金の半分程度までの負担」が結崎、梅戸、保田で30%以上となっています。

デマンドタクシーの個人負担



7 自由意見

問 26 最後に、川西町のまちづくりや公共交通のあり方について、何かご意見がありましたらご自由にお書きください。(例) 近隣の市町村へ行く場合の交通手段等

全体数=

回答 700 件中 266 件の自由意見を頂いており、関心の高さが伺える結果となっています。